

平成30年度

岩手県農業研究センター 年報

令和元年10月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 6
(4) 委員会等の運営	I - 9
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ 飼料生産委員会	
(5) その他会議	I - 12
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 県内で開催された関係学会	
ク 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 連携プロジェクトによる研究推進	II - 3

3 研究室・課の動き	II- 4
(1) プロジェクト推進室	II- 4
(2) 企画管理部	II- 4
(3) 技術部	II- 5
(4) 環境部	II- 8
(5) 病害虫防除部	II- 9
(6) 畜産研究所	II- 10
(7) 県北農業研究所	II- 12
4 平成30年度試験研究課題	II- 14
(1) 細目課題分類	II- 14
(2) 試験研究課題一覧	II- 15
(3) 平成31年度試験研究を要望された課題とその措置一覧	II- 21
5 共同研究等の推進	II- 23
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業	II- 23
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II- 23
(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	II- 24
(4) 革新的技術開発・緊急展開事業	II- 24
(5) 研究成果最適展開支援事業	II- 25
(6) その他独法等からの委託	II- 25
(7) 民間委託試験	II- 26
(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II- 27
(9) 他の公設試との共同研究	II- 27
(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会	II- 27
(11) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)	II- 27
(12) その他共同研究	II- 28
(13) 産学官連携	II- 28
6 現地試験の実施	II- 29
III 試験研究の成果	
1 試験研究成果	III- 1
(1) 平成30年度成果数	III- 1
(2) 平成30年度成果名一覧	III- 2
2 追跡評価	III- 5
(1) 評価視点	III- 5
(2) 追跡評価の調査方法	III- 5
(3) 追跡評価の結果	III- 5
3 東北農業試験研究成果	III- 7
(1) 研究成果数	III- 7
(2) 研究成果名	III- 7
IV 試験研究成果の発表	
1 試験成績書等刊行物	IV- 1
2 研究レポート	IV- 2
3 岩手県農業研究センター研究報告	IV- 4
4 学会等研究報告	IV- 4
(1) 学術論文	IV- 4
(2) 学会発表	IV- 6

5 雑誌等掲載	IV- 10
(1) 専門雑誌等	IV- 10
(2) 月刊農業普及	IV- 10
(3) 岩手の畜産	IV- 11
(4) その他の雑誌等	IV- 11
(5) ホームページ掲載	IV- 12
6 新聞等掲載	IV- 13
7 テレビ・ラジオ放送	IV- 15
(1) テレビ	IV- 15
(2) ラジオ	IV- 15
8 指導資料等掲載	IV- 16
9 図書資料収集・提供	IV- 18
10 ホームページ	IV- 18
V 指導・啓発活動	
1 技術伝達研修等への対応	V- 1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V- 4
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V- 14
4 春季一般公開及び参観デー	V- 14
5 技術セミナー等の開催	V- 14
6 一日子供農業研究員	V- 14
7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者	V- 15
8 研修生の受け入れ	V- 16
(1) 海外研修	V- 16
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)	V- 16
(3) 短期研修生	V- 16
(4) 体験学習の受け入れ	V- 16
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ インターンシップ等に対応したもの	
9 協議会、委員会等委員	V- 18
VI 職員研修	
1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)	VI- 1
(3) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(5) 農林水産関係研究者研修	VI- 1
(6) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 11
(1) 岩手県総務部人事課主催研修	VI- 11
(2) 岩手県農林水産部主催研修	VI- 13
(3) 所内研修	VI- 14
5 所内セミナー等	VI- 15

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種	VII- 1
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	VII- 1
(2) その他原々種種子の生産	VII- 1
2 作物の原種の採種	VII- 2
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	VII- 2
(2) その他原種種子の生産	VII- 2
3 種苗等の配布	VII- 3
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	VII- 3
(2) その他種苗の配布	VII- 3
4 県有種雄牛の精液の供給	VII- 4
(1) 黒毛和種	VII- 4
(2) 日本短角種	VII- 4
5 種豚、種鶏等の配布	VII- 5
(1) 豚の配布	VII- 5
(2) 種鶏等の配布	VII- 5
6 寄託放牧	VII- 5
(1) 牛	VII- 5
(2) 馬	VII- 5

VIII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算	VIII- 1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII- 2
(1) 建物・用地の面積	VIII- 2
(2) 飼養家畜頭数	VIII- 2
3 種苗登録、特許等	VIII- 3
(1) 種苗登録	VIII- 3
(2) 特許、実用新案	VIII- 5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII- 6
4 表彰	VIII- 7
5 職員名簿	VIII- 10

IX 東日本大震災津波への対応

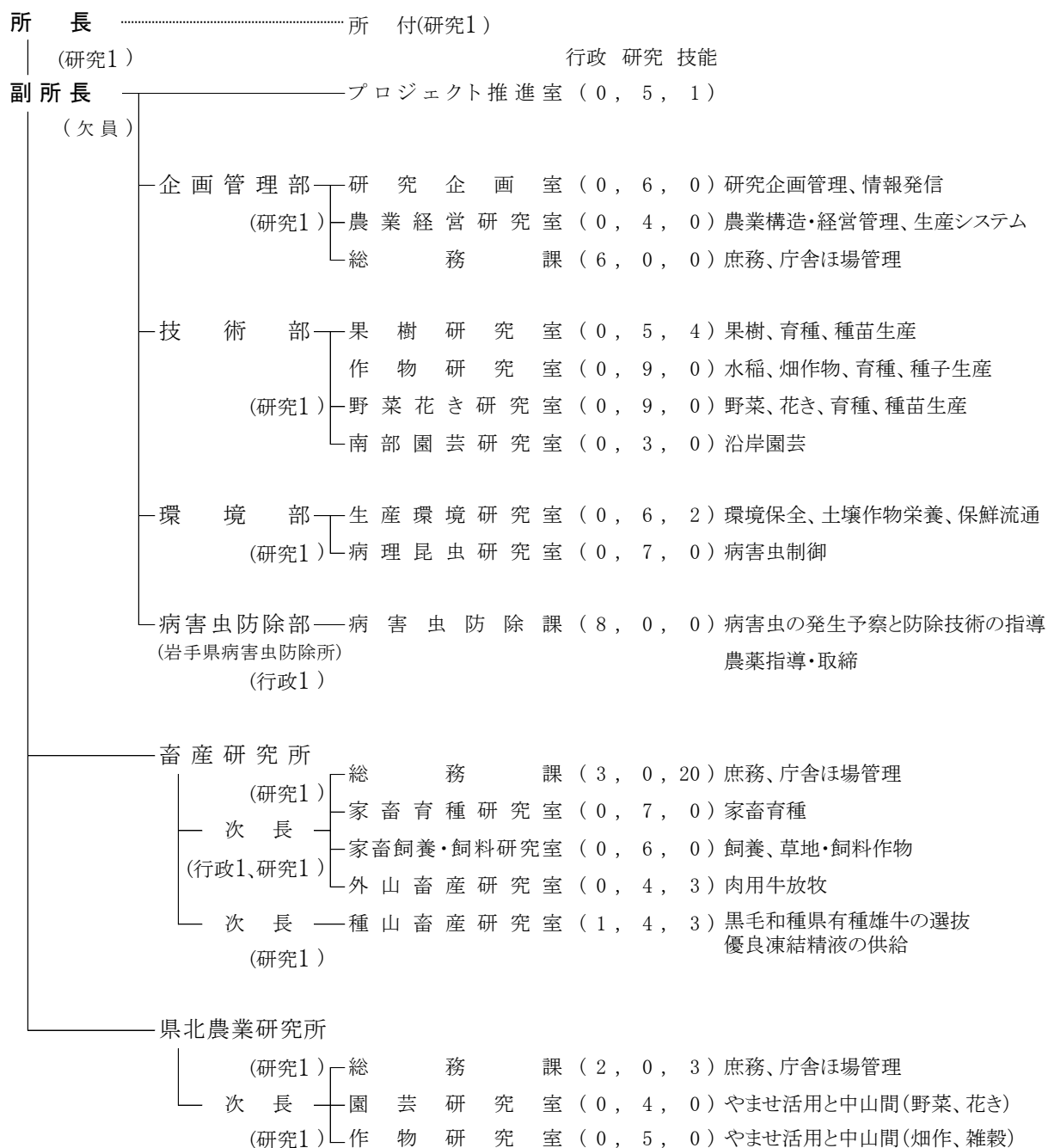
1 研修会、セミナーの開催	IX- 1
2 復興支援業務の実施	IX- 1

X 沿革	X- 1
------	------

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	56	3	15	4	4	11	93
技能	7	0	20	3	3	3	36
合計	78	3	39	7	8	16	151

※1 欠員1名(副所長 1)

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜花き)	畜産部会
開催日		H30.8.2(木)	H30.8.1(水)	H30.8.1(水)	H30.8.6(月)
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	-	-	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-	○
	農業大学校	-	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

b 協議事項

- (a) 平成31年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 平成30・31年度新規試験研究課題案について

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		H30.9.13(木)	H30.9.14(金)	H30.9.12(水)
参集 範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局岩手支局	-	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	-	○
	岩手県農業共済組合	○	○	-
	岩手県農産物改良種苗センター	-	-	-
	岩手県植物防疫協会	○	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	-
	岩手県農業公社	-	-	○
	岩手県農業機械協会	-	-	-
	岩手県畜産協会	-	-	○

b 協議事項等

- (a) 平成30・31年度新規試験研究課題案について

(ア) 第1・2回評価調整会議

- a 開催日 第1回 平成30年8月29日(水) 13:00～
- 第2回 平成30年9月25日(火) 13:00～

b 協議事項等

- (a) 平成31年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 平成30・31年度新規試験研究課題案について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

イ 試験研究成果の採択
(ア)第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜・花き)	畜産部会
開催日		H30.12.6(木)	H30.12.7(金)	H30.12.10(月)	H30.12.12(水)
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	-	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-	○
	農業大学校	-	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

b 協議事項

- (a)平成30年度試験研究成果(案)について
(b)その他

(イ)第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜・花き)	畜産部会
開催日		H31.1.9(水)	H30.1.10(水)	H31.1.11(金)	H31.1.15(火)
参 集 範 囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○	○	-
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○	-
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	-
	岩手県農業公社	○	-	-	○
	岩手県農業機械協会	-	-	-	-
	岩手県畜産協会	-	-	-	○

b 協議事項

- (a)平成30年度試験研究成果(案)について
(b)その他

(ウ)第3・4回評価調整会議

- a 開催日 第3回 平成30年12月17日(月) 10:00～12:00
第4回 平成31年1月21日(月) 13:00～

b 協議事項

- (a)平成30年度試験研究成果(案)について
(b)岩手県農業研究センター次期試験研究推進計画について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		H31.3.1(金)	H31.2.28(木)	H31.3.4(月)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	-	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 平成31年度試験研究課題(新規、変更課題)の試験設計について
- (b) 平成30年度終了課題の報告について
- (c) 平成31年度新規試験研究課題(案)について
- (d) 試験研究を要望された課題とその措置について(A2区分の結果)
- (e) 岩手県農業研究センター次期試験研究推進計画(骨子案)について

(イ) 第5回評価調整会議

a 開催日 平成31年3月18日(月) 13:00～

b 協議事項

- (a) 試験研究評価について
- (b) 平成31年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 平成30年度追跡調査の結果について
- (d) 岩手県農業研究センター次期試験研究推進計画(案)について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア) 第1回

a 開催日 平成31年2月1日(金) 15:00～

b 報告・協議事項

- (a) 農業研究センターにおける技術開発について
- (b) 生工研センターにおける技術開発について
- (c) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
- (d) その他

c 参集範囲

(公財)岩手生物工学研究センター
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部・准教授	○	○
	大谷 隆二	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 研究領域長	○	-
	高橋 章朗	岩手県農業農村指導士(花巻市) 有限会社アグリスト 社長	○	-
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅原・代表(雫石町)	-	○
	高橋 一樹	全農岩手県本部米穀部・次長	○	-
農産 (畑作)	高橋 茂	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 水田作研究領域(大仙研究拠点)領域長	○	-
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役	○	○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・教授	-	○
	阿部 和幸	農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 リンゴ育種ユニット ユニット長	-	○
	宇都宮 邦明	岩手県果樹協会	-	-
	富山 司	岩手県農業農村指導士	-	○
	高野 寛子	岩手県農業農村指導士	-	○
園芸 (野菜)	由比 進	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター・教授	-	-
	永坂 厚	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 病害虫グループ 主任研究員	○	○
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市江刺区)	○	○
	高村 亮一	岩手県農業農村指導士(岩手町)	-	○
	鈴木 公	全農岩手県本部園芸部・次長	○	○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門 栽培生理ユニット長	-	○
	高橋 俊一	(株)T&G/バイオーナーサリー・会長兼CEO	-	○
	阿部 潤	八幡平市花き研究開発センター・主任技師	-	○
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士	-	○
畜産	山田 明央	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	○	○
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程・教授	-	○
	林 伸彦	全農岩手県本部畜産酪農部・次長	○	○
	松田 正勝	(独)家畜改良センター岩手牧場・場長	○	○
	菊池 忠孝	地域戦略プロジェクト研究実証農家	○	-
	保科 俊穂	岩手県農業農村指導士	-	○
	寺地 輝美	岩手県FSFB研究会会長	○	○
			15 名	22 名

(2) 機関評価委員会

ア 開催日・場所 平成30年10月4日(木) 岩手県農業研究センター 県北農業研究所(軽米町)

イ 議題 (ア) 視察調査(センター本部施設)

(イ) 平成29年度までの機関評価への対応状況説明、意見交換

(ウ) 委員講評

ウ 機関評価委員

(ア) 外部評価(6人) 大谷 隆二 氏(東北農業研究センター企画部長)

高畑 義人 氏(岩手大学農学部教授)

新田 義修 氏(岩手県立大学地域連携本部副本部長)

高橋 明 氏(やまに農産株式会社 常務取締役)

照井 司 氏(全農県本部副本部長)

鎌田 公一 氏(岩手県工業技術センター理事)

(イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
30.4.6(金)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)連携プロジェクトによる研究推進について 2 連絡・報告事項 (1)平成30年度業務方針(案)について (2)平成30年度当初予算(試験研究費)について (3)平成30年度競争的研究資金応募課題等について (4)報道機関等への情報提供について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)4～5月の行事予定
30.4.6(金)	大会議室	(全体会議) ○第1部 次長、室課長、室課員(実務担当者) (1) 試験研究推進に係る留意事項 ・諸規定Q&A、外部資金研究(応募手続き、経理、不正防止、研究倫理)等 (2) 経理事務等に係る留意事項 ・物品購入、旅費、契約事務、物品管理、事務ミスが多い事項 等 (3) その他の留意事項 ・情報セキュリティ、苦情対応、労働安全 等 ○第2部 全職員 (1) 機関評価について (2) 平成29年度機関評価結果及び対応方針 (3) 平成30年度業務方針について ア 組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上、組織運営課題 イ 各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病虫害防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室 (4) その他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
30.5.28(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成30年度機関評価の進め方について (2)試験研究推進会議のあり方について (3)試験研究推進計画について (4)連携プロジェクトによる研究推進について(先端プロ立ち上げ) (5)追跡評価について 2 連絡・報告事項 (1)知事への業務報告について (2)平成30年度競争的資金方簿課題採否状況について (3)外部資金の経理処理チェックの実施について (4)「第61回東北農業試験研究発表会」発表課題応募状況について (5)県民向けイベントへの対応について (6)第1回スキルアップ研修会の開催について (7)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (8)各部長・研究所長からの情報提供 等 (9)6～7月の行事予定
30.7.24(火)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)試験研究推進会議の持ち方について (2)平成30年度追跡評価の実施について (3)諸規程の見直しに向けて(参観デー等企画運営委員会設置要綱) 2 連絡・報告事項 (1)平成31年度県単試験研究予算の確保に向けて (2)平成30年度機関評価の実施について(機関評価委員会) (3)いわてスマート農業祭NEO 等 (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (5)平成30年度職員表彰について (6)雲南省農業シンポジウムへの対応について (7)雲南省農業シンポジウムへの対応について (8)8～9月の行事予定
30.9.25(火)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(内部評価結果、対応状況)について (2)若手研究員の育成(博士号取得希望者等への組織的育成)について (3)農研ホームページデザインの改良について (4)業務方針(先端プロ分追加)について (5)職員意識調査の実施について 2 連絡・報告事項 (1)研究報告第18号の編集について (2)県単試験研究費の確保に向けた取組状況について (3)参観デーの実績について (4)外部資金研究への応募状況について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)10～11月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
30.11.26(月)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)研究報告の冊子化について (2)内部検討会議後の評価調整会議の開催について (3)次期試験研究推進計画について先端プロ成果発表会の開催について 2 連絡・報告事項 (1)職員意識調査の結果について (2)機関評価の実施状況について (3)平成31年度当初予算要求の概要について (4)外部資金研究内部監査結果並びに経理確認(本部)について (5)農林水産省が行う経理調査について (6)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (7)農業農村指導士協会との意見交換会について (8)各部長・研究所長からの情報提供 等 (9)12～1月の行事予定
31.1.21(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(総括評価)案について (2)職員意識調査の結果を踏まえた対応について (3)若手研究員の育成(博士号取得希望者等への組織的育成)について (4)農林水産部長表彰について (5)次期試験研究推進計画について 2 連絡・報告事項 (1)農業技術開発会議(2/1)への対応について (2)第3回内部検討会議(設計等)の開催について (3)年報及び研究報告の作成について (4)外部資金研究の実施に向けた動向について (5)平成31年度依頼研究員の候補者の推薦について (6)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (7)各部長・研究所長からの情報提供 等 (8)2～3月の行事予定
31.3.18(月)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成30年度業務方針(案)について (2)機関評価(総括評価)案について (3)平成31年度業務方針(案)について (4)組織再編に伴う諸規程の見直しについて (5)平成31年度農業研究センター全体会議の開催について (6)平成31年度参観デー(本部)の開催(案)について 2 連絡・報告事項 (1)平成31年度依頼研究員の候補者の推薦について (2)外部資金研究の実施に向けた動向について (3)センター・ホームページのデザイン改良について (4)組織再編に伴うファイル共有サーバフォルダの設定変更等について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)3～4月の行事予定

(4) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
30.5.14	本部ほ場管理委員会	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について
30.9.13	本部ほ場管理委員会	○水稲刈り取り作業計画について ○堆肥利用について

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
30.9.25	特別会議室	研究報告第18号の編集について

(イ)幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
30.3.17	本部特別会議室	平成30年度参観デーの開催方針について
30.7.24	本部特別会議室	参観デー等運営委員会設置要綱の見直しについて
30.9.25	本部特別会議室	平成30年度参観デーの開催実績について
31.3.18	本部特別会議室	平成31年度参観デーの開催方針について

(イ)幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
30.6.20	本部2階中会議室	(1) 平成30年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア 平成29年度の開催状況・反省点について イ 平成30年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
30.7.11	本部1階中会議室	(1) 平成30年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア イベント実施計画について イ 今後のスケジュール及び依頼事項について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
30.8.8	本部1階中会議室	(1) 平成30年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア イベント実施計画について イ 協賛会等について ウ 動員計画について(準備期間の一部変更) エ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他

開催月日	場所	内 容
30.8.22	本部1階中会議室	(1) 平成30年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画(マニュアル等)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
30.9.26	本部1階中会議室	(1) 平成30年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デーの実施結果と反省点について (2) 次年度の開催について (3) その他

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
30.8.6	セミナー室	(1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
30.4.10	(書面協議)	(1) イチゴ品種「盛岡36号(仮称)」の勤務発明審査について
31.1.21	本部特別会議室	(1) 「リンドウ疎植栽培法(仮称)」の勤務発明審査について
31.3.8	(書面協議)	(1) 「農業用排水装置およびその制御方法」の勤務発明審査について

オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
30.5.23	農業科学博物館	(1) 農業科学博物館入館者の状況について (2) 平成29年度事業報告について (3) 平成30年度事業計画について (4) その他

カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
30.4.12	本部1階小会議室	(1) 平成29年度環境美化事業報告について (2) 平成30年度環境美化事業計画(案)について (3) その他

キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
30.6.12	本部特別会議室	(1) 平成29年度事業実績について (2) 平成30年度事業計画について (3) その他
31.2.6	本部特別会議室	(1) 平成30年度定期健康診断結果について (2) 平成30年度事業実施状況について (3) その他

ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
30.5.31	E地区畑圃場	小麦原種・原原種ほ場検査(第1期)
30.7.2	E地区畑圃場	小麦原種・原原種ほ場検査(第2期)
30.7.19~20	(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所(青森県黒石市)、JA津軽みらい種子センター(青森県平川市)	平成30年度東北六県・新潟県主要農作物原種・原々種生産に係る情報交換会(当センター1名出席、全参加者22名) (1)各県生産状況(主要農作物種子法廃止後の種子生産体制等について)・意見交換 (2)所内及び現地視察
30.8.1 30.8.6 30.8.17	県北農研、紫波町及びE地区水田圃場	水稻原種・原原種ほ場検査(第1期)
30.8.6	E地区畑圃場	大豆原種・原原種ほ場検査(第1期)
30.8.28 30.9.4 30.9.12	県北農研、紫波町及びE地区水田圃場	水稻原種・原原種ほ場検査(第2期)
30.10.16 30.10.26	E地区畑圃場	大豆原種・原原種ほ場検査(第2期)
31.3.6	2階第2小会議室	水稻原種・原原種生産物検査
31.3.18	特別会議室	(1)生産・出荷実績および生産計画・課題について (2)種子の保菌状況調査について (3)岩手県農業研究センター原種等生産管理委員会設置要領の改正について

ケ 飼料生産委員会

開催月日	場所	内 容
30.4.26	畜産研究所中会議室	(1)平成29年度粗飼料供給実績について (2)平成30年度粗飼料需要量と供給予定について (3)粗飼料生産の収穫時作業協力体制について

(5) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
30.6.21	東京都港区 (三会堂ビル 9階 石垣記念ホール)	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 平成30年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 平成30年度研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
30.7.19 ～7.20	秋田県男鹿市、秋田市 (秋田地方総合庁舎 他)	1 協議・検討事項(7/20) (1) 人材育成の状況、課題、解決方策について (2) 試験研究の運営、企画について 2 現地調査(7/19) (1) 園芸メガ団地(小菊)(男鹿市) (2) 小玉醸造株式会社(潟上市) (3) 農事組合法人「山ゆり」(経営体強化プロ実施経営体 五城目町)

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
30.6.18	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成29年度事業報告及び収支決算について (2)平成30年度事業計画及び収支予算について (3)平成30年度会費の額及び徴収方法について 2 畜産研究功労者表彰

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
30.9.12～14	宮城県遠刈田温泉	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究について 3 国・独立行政法人に対する提案について 4 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 5 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 6 意見交換の内容についての企画案について 7 その他(次期開催地について)

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
30.8.31	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
30.10.30～31	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
30.12.18～19	北上市 (農業研究センター)	2019年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催): チェック結果の検討
31.2.5	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】		
30.8.30～31	岩手県北上市、紫波町、花巻市ほか (岩手県農業研究センター)	○東北地域水稲品種・系統立毛検討会 1 現地見学 2 立毛調査 3 室内検討
31.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○稲栽培研究会 1 研究会「ICTを活用した水稲栽培技術」 2 研究成果情報候補課題の検討 3 技術適課題の検討
31.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○稲品種検討会 1 成果情報(稲品種)の検討 2 品種の作付動向と要望される品種 3 配付系統の試作結果と配付計画の検討 4 技術的課題の提案と検討 5 特性比較連絡試験の検討 6 育種関係情報交換
31.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○直播研究会 研究会「水稲直播栽培における播種技術の最近の動向」 1 高速高精度汎用播種機を用いた水稲の乾田直播栽培 2 水稲無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培 3 宮城県における直播技術の普及状況について 4 総合討論
31.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○稲課題検討会
31.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○作物生産推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2020」候補の選定 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「作物生産分野におけるスマート農業研究の現状と課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
30.8.28～29	青森県黒石市 (地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 (現地:藤崎町、つがる市)	○畑作物栽培研究会 研究会「東北地域の大豆多収阻害要因とその解決策」 ・大豆低収要因実態調査3カ年の調査結果 ・大豆用茎葉処理除草剤フルチアセットメチル乳剤の雑草種別効果と初期薬害 ・東北農政局情勢報告、生育状況及び試験概要報告 ・総合討議 現地検討会(雑草対策圃場、黒根腐病対策技術検証圃場)
30.8.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○東北地域麦・なたね品種・系統検討会 1 各県の麦・なたね作概況 2 各県における品種の改廃ほか 3 各県における有望品種・系統の成績検討 4 育成地の試験経過及び配付計画 5 冬作に関する情報交換

開催月日	場 所	内 容
31.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物栽培研究会 1 行政部局からの情報提供 2 検討会「ダイズシストセンチュウの発生状況と対策技術の検討」 3 話題提供 「ダイズシストセンチュウの対策技術と抵抗性品種育成の取り組み」 各県におけるセンチュウの被害状況及び対策状況 4 栽培状況と研究実施状況 5 総合討議 6 成果情報候補課題の検討 7 畑作物の雑草防除に関する情報交換会
31.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物品種検討会 1 研究成果情報(畑作物品種関係)の検討 2 畑作物品種・系統の検討 (1)奨励品種改廃・採用予定及び有望品種・系統(各県) (2)大豆の有望品種・系統(育成地)、配付計画
31.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物課題検討会
31.2.8	仙台市 (仙台合庁)	○東北ソバ研究会 1 基調報告「そばの育種の現在と未来」「そば生産における生産技術向上・低コスト化・6次産業化への取り組み」「国産そばの需要について」 2 情勢報告 3 各県のそば振興の現状と課題等について 4 意見交換
【農業生産基盤推進部会】		
30.7.27	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会(夏期) ICT技術に関する経営的評価
31.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○作業技術研究会 重点検討事項「東北地域でのスマート農業技術の現場への適用に向けた現状と課題」 1 株式会社スカイマティクスサービスのご案内 2 農林水産業分野への取組とスマート農業の現状 3 総合討論 ○作業技術研究会検討会 ・平成30年度研究成果情報の検討
31.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○農業経営研究会 1 平成30年度重点検討事項「作物生産分野におけるスマート農業研究の現状と課題」 2 平成30年度研究成果情報の紹介 3 現場段階での重要な技術的課題 4 次年度重点検討事項および共同研究課題の提案 5 各県の主要研究課題の検討 6 夏期研究会の次年度開催計画
31.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○流通加工研究会 1 情勢報告 2 重点検討事項「スマートフードチェーンの推進に向けた流通加工研究の課題」 3 試験研究「研究成果情報」の検討ほか

開催月日	場 所	内 容
【生産環境推進部会】		
30.7.4～5	青森県青森市 他 (ウェディングプラザアラ スカ 他)	○ 土壌肥料研究会(夏期) 検討課題：水田作への露地野菜導入に向けた技術開発の展開方向及び水稲作における硫黄欠乏症の発生実態と対策 特別講演：気象変化が農業現場に与える影響と生産者の適応 現地検討会：JA全農青森土壌分析センター視察ほか
30.8.23～24	岩手県北上市、一関市 (岩手県農業研究センター 他)	○ 病虫害研究会(夏期) 1 現地検討会 2 研究会 検討課題：東北地域における新興・再興病虫害の防除対策
31.1.24～25	盛岡市 (アイーナ)	○ 土壌肥料研究会 話題提供「リモートセンシング技術の実利用化に向けた土壌肥料分野の役割と今後の課題」 1 「東北地域におけるスマート農業の推進に土壌肥料分野が果たす役割」の議論 2 成果情報候補の検討 3 各県の研究課題・研究成果に関する情報交換
31.1.24～25	盛岡市 (アイーナ)	○ 病虫害分科会 病害研究会 1 平成30年度研究成果情報の検討 2 平成30年度試験研究成績の検討 3 重要検討事項「スマート農業の推進に向けた病虫害研究の展開」について
		○ 病虫害分科会 虫害研究会 1 平成30年度研究成果情報の検討 2 平成28年度試験研究成績の検討 3 重要検討事項「東北地域のスマート農業の推進に対応した生産環境分野の技術開発の方向」について
31.1.25	盛岡市 (アイーナ)	○ 農業気象研究会 1 重要検討事項 「スマート農業の推進における気象データの有効活用について」の議論 2 研究成果情報候補の検討 3 試験研究成績の検討
31.1.25	盛岡市 (アイーナ)	○ 生産環境推進部会 本会議 1 重点検討事項 「東北地域のスマート農業の推進に対応した生産環境分野の技術開発の方向」の検討 2 研究成果情報の検討

開催月日	場 所	内 容
【畜産飼料作推進部会】		
30.8.29～30	秋田市 (秋田市にぎわい交流館)	○夏期研究会 1 分科会 大家畜分科会(性選別精液を用いた効率的な後継牛生産) 中小家畜分科会(中小家畜におけるゲノム育種価の取り組み、他 飼料作分科会(飼料作における雑草および病害虫の発生状況とその対策技 術) 2 全体会議 ①分科会の報告 3 シンポジウム 「耕畜連携による飼料の生産・流通・利用の促進」
31.1.23～24	盛岡市 (アイーナ会議室)	畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 東北地域におけるスマート農業(畜産)の推進と技術開発の方向 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および最新農業技術・品種2018候補の選定 4 平成30年度主要新規試験計画の検討 5 今後の推進会議の運営について 6 外部委員による講評
31.1.24	盛岡市 (アイーナ会議室)	東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 大家畜分科会・飼料作分科会 大消費地へ向けた牛肉生産と販売戦略
		東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 中小家畜分科会 豚の肉質及び飼料利用性に関する育種改良に関して
【野菜花き推進部会】		
30.7.24～25	岩手県北上市、盛岡市	○野菜研究会(夏期) 1 検討課題 東北地域での施設園芸における複合環境制御技術 2 話題提供 「韓国の施設園芸の現状」及び「つくば植物工場での取り組み」 東京型統合環境制御生産システムの概要 岩手県における環境制御技術の普及に向けた取り組みについて 3 現地研修 岩手県農業研究センター環境制御温室(北上市成田) (株)いわて若江農園トマト栽培圃場(盛岡市太田) ※小集会「東北イチゴ共同育種検討会」
30.10.17～18	宮城県石巻市、仙台市	○花き研究会(夏期) 1 現地見学会 (株)宮城リスタ大川(石巻市) 亀山晴央氏生産圃場(〃) 2 話題提供 「長野県における花き生産流通、試験研究の現状」 3 検討課題 各県における技術開発の現況紹介と討議 推進会議重点検討事項の提案、連絡事項等
31.1.31～2.1	盛岡市 (アイーナ会議室)	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項(野菜花き共通) 野菜・花きにおけるスマート農業の推進と技術開発の方向について 2 研究成果情報候補課題の検討・採択 3 「最新農業技術・品種2019」候補の選定 4 技術的課題(現場ニーズ)の検討 ※小集会「東北イチゴ共同育種検討会」

開催月日	場 所	内 容
【果樹推進部会】		
30.7.5～6	青森県青森市、弘前市	○果樹研究会(夏期) 1 話題提供 1)加工用りんご収穫機械化の未来 2)果樹園における自動化機械開発(AIプロ)の現状と樹形開発との連携 2 現地検討 1)おうとう新品種「ジュノハート」栽培圃場 2)最新鋭の選果施設(JA弘前市) 3)新たなシードル用のりんご栽培に取り組む生産者圃場(弘前市) 2 鳥獣害対策研究方向に関する検討
31.1.22～23	盛岡市 (いわて県民情報交流センター(アイーナ))	○果樹推進部会 1 重点検討事項:東北果樹におけるスマート農業推進に向けた研究の展開 特別講演:リンゴのスマート農業の推進に向けた研究事例 2 平成30年度成果情報 3 最新農業技術・品種2019候補選出 4 現場段階での重要な技術的課題 5 主要新規試験研究計画の概要 6 その他
31.2.5～6	つくば市	○落葉果樹研究会 1 全体会議 果樹生産におけるICT活用の展望 1)農業におけるICT活用 2)野菜生産、さらには果樹生産に情報をいかに貢献させるか 3)カンキツ園地の気象予測に基づく新しい病害虫の発生予察 4)深層学習を用いた果樹の生育診断技術の開発 5)総合討議 2 栽培・土壌肥料分科会 ナシ、カキ、クリ、核果類、ブドウ、土壌肥料、流通利用
31.2.7～8	盛岡市 (サンセール盛岡)	寒冷地果樹研究会 1 全体会議 リンゴ輸出の新たな展開を考える 2 分科会 栽培)リンゴの‘半わい化’栽培の現状と課題 病害)最近問題となっているリンゴ病害～黒星病を中心に～ 虫害)ハダニ類の化学合成農薬に代わる防除対策の現状と研究方向
【研究戦略会議】		
30.10.25	仙台市 (仙台合同庁舎)	出席者:企画管理部長 1 平成31年度予算概算要求の概要説明 2 農業データ連携基盤(WAGRI)及びスマート農業技術の現場への実装について 3 戦略目標(重点検討事項)に係る検討 4 「国の施策で対応すべき技術的課題」の候補選定 5 研究成果の普及・実用化に係る検討 6 「最新農業技術・品種2019」の候補選定 7 東北農業研究センターと各県普及組織等との連携強化に係る検討
【本会議】		
31.2.15	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 テーマ:東北地域におけるスマート農業の推進と技術開発の方向 3 その他

キ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
31.2.21～22	盛岡市 岩手教育会館	第72回北日本病害虫研究発表会

ク 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
		(活動なし)

Ⅱ 試験研究の推進

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要

岩手県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（平成 22 年 3 月）。

農業研究センターでは、技術開発基本方針に基づき、平成 30 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（平成 22 年 3 月、研究期間を平成 26 年度までとして策定。平成 24 年 3 月、期間を 30 年度まで延長し改訂）。

技術開発基本方針の 6 つの農業技術開発の方向に即し、17 分野 50 の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

平成 30 年度の試験研究にあたっては、以下の 3 つの基本方針に沿って、新規 28、継続 77、合計 105（小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている）の研究課題に取り組んだ。

1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
- ・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果活用・PR 強化

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に改組し（平成 25 年 7 月 1 日）、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で 37 課題（うち新規 16 課題）、畜産部門で 9 課題（うち新規 3 課題）、合計 46 課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「社会実装促進業務委託事業」、「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」並びに「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」の 3 課題については代表機関として取り組んだ。

畜産分野では、黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期間を含めた飼料給与体系の確立、転作田におけるフェストロリウムの適応性確認や泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術開発などに取り組んだ。

知的財産では、いちご「そよかの（盛岡 36 号）」を品種登録出願した（農研機構東北農業研究センターおよび秋田県との共同出願）。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、62 の研究成果（普及区分 6、指導区分 37、行政区分 7、研究区分 12）にとりまとめ公表した。

機関評価委員会（外部評価）については、11 月 9 日に本部を会場として開催し、前年度までの評価委員会における意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

2 トピックス

(1)特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	(該当なし)	—
種苗登録	りんどう いわて EB-2 号【登録番号 27159、登録年月日 2019/1/23】 ・8月中旬咲きの切り花用青色品種	技術部 野菜花き研究室
	同 いわて MB-2 号【登録番号 27160、登録年月日 2019/1/23】 ・8月中下旬咲きの切り花用青色品種	
	いちご そよかの(盛岡 36 号)【出願番号 33721、登録出願 2019/2/19】 ・露地・半促成栽培に適する一季成り性品種	技術部 南部園芸研究室 【東北イチゴ共同育種:農研機構東北農研セ、秋田県、岩手県共同出願】

(2)表彰等受賞状況

ア 県職員表彰(事績顕著者)

環境部病理昆虫研究室 岩館康哉主査専門研究員は、他機関の3名とともにホップの安定生産に向けた農薬登録を推進し、効率的な病害虫防除体系を確立するとともに、その技術を普及し本県農業の振興に貢献したことにより表彰された(平成30年11月2日)。

イ 平成30年度農林水産部長職員表彰

環境部病理昆虫研究室 岩館康哉主査専門研究員は、農業改良普及センターの2名とともに「ナス果実小陥没症の被害防止対策の早期提示」により、生産者の経済的損失の軽減と生産意欲の向上に大きく貢献したとして表彰された(平成30年11月16日)。

病害虫防除部 名久井一樹主任主査及び遠藤歩美主査は、農業普及技術課及び盛岡農業改良普及センター職員2名とともに、「国内初となるカナダ向けりんご輸出への取組」が、カナダ向けのりんご輸出に向けた一連の対応を迅速かつ性格に行い、国内で初めてカナダへのりんごの輸出を実現させ本県農産物の新たな輸出体制を確立するとともに、岩手県産りんごの認知度向上に大きく貢献したとして表彰された(平成31年3月28日)。

家畜育種研究室 佐々木康仁専門研究員及び細川泰子首席専門研究員兼室長が、飼料用米を活用したパークシャー種のブランド化に向けた黒豚生産者との連携強化の取組においてグループ表彰を受けた。(平成30年11月16日)

環山畜産研究室は、肉用牛産肉能力「現場後代検定」において本県歴代最高成績となった「菊勝久」号を作出し、今後の県内家畜市場の活性化および農家所得向上への貢献が期待されるとして機関表彰を受けた(平成31年3月28日)。

ウ 平成30年度若手農林水産研究者表彰

環境部病理昆虫研究室 岩館康哉主査専門研究員は、これまで取り組んできた露地きゅうり生産に深刻な被害をもたらす難防除土壌病害「ホモプシス根腐病」の効果的な土壌消毒手法や、転炉スラグ(石灰肥料)を活用した新たな被害軽減技術の開発、農業改良普及センターと一体となった現地実証先行型の取組による総合防除対策の構築と迅速な成果普及により、本病被害の拡大防止と軽減に貢献したとして、農林水産省農林水産技術会議会長から表彰された(平成30年11月21日)。

エ 平成30年度畜産研究功労者表彰

畜産研究所 熊谷光洋次長兼環山畜産研究室長が長年にわたる受精卵移植技術や育種改良・飼養管理技術の研究に従事してきた功績が認められ、全国畜産関係場所長会より畜産研究功労者表彰を受賞した(平成30年6月18日)。

オ 平成30年度日本植物病理学会東北部会「地域貢献賞」

病害虫防除部 猫塚修一主任主査は、「寒冷地の園芸作物に発生する糸状菌・ウイルス病の生態と防除法に関する研究」によって、各種病害の発生生態に基づく防除適期の解明と防除技術の提示を行い、農業生産の安定化に貢献したとして表彰された(平成30年9月28日)。

カ 第 11 回北日本病害虫研究会賞(研究報文部門)

病害虫防除部 猫塚修一主任主査は、盛岡農業改良改良普及センター及び一関農林振興センター職員(いずれも前・病害虫防除部職員)とともに、「北日本病害虫研究会報第 68 号」に掲載された報文「側部型斑点米の発生に関するリスク要因分析」について、過去の経験に基づく発生要因を、統計手法を用いて関連付けを行ったことが高く評価され表彰された(平成 31 年 2 月 21 日)。

(3)連携プロジェクトによる研究推進

ア 連携プロジェクト**

(**多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	リンドウこぶ症 連携プロジェクト [H21～]	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター ・(一社)岩手県植物防疫協会
	りんご JM7 台木 利用樹衰弱症 状対策プロジェクト [H29～]	◎りんご JM7 台木利用樹衰弱症状に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・農研機構果樹茶業研究部門 ・中央農業改良普及センター ・奥州農業改良普及センター ・一関農業改良普及センター ・(一社)岩手県植物防疫協会
	先端技術実装・実証加速プロジェクト [H30～32]	◎展示圃の設置運営及び研修会の開催、普及組織・行政機関との連携(社会実装) ◎復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化(実証研究) ◎きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系(実証研究)	プロジェクト推進室 企画管理部 技術部 環境部	・中央農業改良普及センター

(イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
リンドウこぶ症対策	りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路を探索し、こぶ症の発生原因を解明するため連携プロジェクトを継続。 ○第 1 回チーム会議(H30.5.11)	○第 1 回チーム会議 平成 29 年度試験成績および平成 30 年度試験計画の確認。
りんご JM7 台木利用樹衰弱症状対策	りんごのわい性台木 JM7 を使用した樹における急性衰弱・枯死症状の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを設置。生工研、農研機構との連携を図る。 ○第 1 回チーム会議(H30.5.9)	○第 1 回チーム会議 平成 29 年度試験成績および平成 30 年度試験計画の確認。 現地への情報発信などの対応を検討。
先端技術実装・実証加速	復興に向けた現地の農業振興における技術的・経営的ニーズに対応し、新たな実証試験を通じた技術の導入・開発と、その成果について沿岸地域への波及を図り、復興を加速するための取り組みを進める。 ○第 1 回チーム会議(H30.10.1) ○第 2 回チーム会議(H30.12.25)	○第 1 回チーム会議 平成 30 年度社会実装委託事業計画、上半期の進捗状況及び下半期のスケジュールの確認。 ○第 2 回チーム会議 平成 30 年度社会実装委託事業第 3 四半期までの進捗状況及び実績見込の確認。

3 研究室・課の動き

(1)プロジェクト推進室

水田農業の担い手である大規模経営体や集落営農等の意欲と能力のある農業経営体を支援し、その収益性・所得の向上や将来を見据えた地域営農の確立に寄与する技術開発に取り組んだ。水稻高密度播種苗移植栽培体系などの生産性の高い水田農業技術の開発や、これまで普及を進めてきた湛水直播技術など、開発された技術の社会実装や導入支援にも取り組んだ。また、沿岸南部地域において「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を前期(2013～2017年)に引き続き新たに2018年度からも同事業における「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」の課題を立ち上げ、再度3年間の沿岸地域農業の復興支援に取り組むこととした。

業務推進にあたっては、本県の地域特性に合致した技術の現地実証試験や、普及組織等のビジネスパートナー及び所内他部等との目的の共有化と密接な連携によって、顧客ニーズに即した現場解決型技術の体系化を図った。

<岩手県における水稻高密度播種苗移植栽培体系の確立>

県内で普及の兆しを見せている水稻高密度播種苗移植栽培の体系確立に向けた課題を遂行し、育苗に係る部分の骨子を策定した。育苗にかかる資材費を現状の30%低減し、育苗管理に係る労働時間を現状の40%低減するという目標を達成するための十分なデータ蓄積がなされた。

<県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築>

委託プロジェクト研究「水田輪作における大豆・麦類の多収阻害要因の解明と安定多収化技術の確立(代表機関:(独)中央農業総合研究センター、H27～31)」において、4年目の現地試験に取り組んだ。水田転換畑における大豆の難防除雑草に対し、ディスク式除草機による機械除草と除草剤の組み合わせによる効果的な除草体系の構築を目的としているが、より効果的な除草剤を主体とし、機械除草で適時に補完する体系を最終年に例示する目処が立った。

<東北の水田地域への春まきタマネギを核とした野菜作の導入と実証>

経営体強化プロジェクト「寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証」(代表機関:(独)東北農業研究センター、H29～H31)において、春まきタマネギの転換畑における安定生産のための排水対策を、2年目の地下かんがい実証の中で取り組み、マニュアル作成に向けてのデータ蓄積がなされた。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究)に代表機関として参画し、震災からの復旧における第2ステージにおける課題解決や、経営の安定化をねらいとした実証研究への取り組みを開始した。水田基盤の補正や難防除雑草対策に、ICTを活用したスマート農業技術を織り交ぜながら、本年度は2年目の本格実証開始に向けて、十分に研究基盤を整えた。

(2)企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、中央普及センターとの作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会について、10月4日に県北農業研究所の研究ほ場等の視察後、前年度までの評価意見への対応状況や試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

平成25年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、職員に対して研究資金等の事務手続きや経理事務研修を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、70件(前年77件)であった。ホームページは、年間445万件(前年453万件)の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間70件(前年79件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数293回、フォロー一増加数188名、同じくFacebookでは投稿数191回、フォロワー増加数48名であった。

センターの取組を広く知らせるため、参観デーや一日子供農業研究員を開催した。

参観デーは、9月8日に生物工学研究センター及び中央農業改良普及センターと合同で開催し、来場者数は約1,500人であった。また、一日子供農業研究員は8月7日に、「身近な自然にはどんな昆虫がいるかな？昆虫標本を作ってみよう！」をテーマとして開催し、北上市及び花巻市の小学生20名が参加した。

<専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定、平成27年3月改定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、国が主催する研修に研究員1名を派遣した。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

「元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示」の研究課題については、水路・農道等地域資源の保全管理方策のポイントを明らかにした。「地域特性を活かした収益性の高い農業経営モデルの提示」の研究課題では、法人化していない集落営農組織の課題や取組方向を明らかにした。

<外部環境の変化に対応できる持続可能な地域営農システムの構築支援>

本県大規模水田作経営の存立地区における取組実態を整理したうえで、水路・農道等地域資源の保全管理方策について提示した。(研究成果:指導区分 大規模水田作経営の存立地区の取組実態からみた水路・農道等の保全管理方策)

<地域特性を活かした収益性の高い農業経営モデルの提示>

県内の集落営農組織に行ったアンケート結果から、法人化に至っていない組織の課題や今後の取組方向を提示した。(研究成果:指導区分 集落営農組織の課題と法人化に向けた取組方向)

<開発技術の経営的評価による効率的な研究推進>

「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証」では、大規模及び中規模の技術体系を構築するとともに経済性評価及び経営モデルにおける導入効果を明らかにした。「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」生育管理支援システムの導入実証では、実証経営体の導入目的、目標等について整理し、主なクラウド型生産管理支援システムの情報収集と試験導入するシステムを検討した。

<営農計画作成支援情報の提供>

生産技術体系調査手順等の提案により生産技術体系データ作成に必要な積算内訳表、積算内訳データの収集を行った。胆沢平野土地改良区、農研機構等とともに地区版の農業技術体系データベース・システムの構築・運用を行った。

農業技術体系DBへのデータ登録拡大に向け、農研機構等とともに、他県(茨城県、愛媛県)の経営指標データから、技術体系データ作成・DB登録手順を整理した。先端技術等の開発技術に係る作業時間等を随時整理するとともに、前年整理検討した課題に基づき生産技術体系2020の品目・修正対応方針を提示した。

(3)技術部

果樹研究室

果樹は、りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開

研究」を導入し、りんご、ゆず、ぶどうの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市に実証圃場を設置するなどし、被災地復興支援に取り組んでいる。

以上の取り組みから、今年度は以下の4つの研究成果を公表した。

- (1) ぶどう「シャインマスカット」の短梢栽培において、1m 当たり新梢本数 8 本、1 新梢当たり着房数 0.8 房とすることで、糖度 17 度以上、収量 1.6t/10a を安定生産できることを明らかにした。
- (2) りんご「ふじ」の着色系統において、蜜入りが良好な 7 系統の果実品質を明らかにした。中でも、「宮美ふじ」の着色が良好であった。
- (3) ポット養成フェザー苗の苗木養成時にかん水を行うことで、生育を向上できることを明らかにした。
- (4) りんご「大夢」に対して、満開後 165 日～175 日の果実に鮮度保持剤を処理することで、冷蔵 3 ヶ月間まで食味を確保できることを明らかにした。

作物研究室

<水稲育種チーム>

(水稲品種)

水稲の奨励品種決定調査では、本調査において粳 10 系統(うち非主食用米 2)を供試し、現地調査では粳を 13 か所で検討した。

31 年度の本調査に早生で「ふ系 246 号」、「岩手 123 号」、中生で「岩手 124 号」、「岩手 128 号」、「岩手 133 号」、晩生で、「岩手 129 号」、「岩手 136 号」、「東北 227 号」、「福島 46 号」を供試する(試験研究成果書(行-01)、(行-02)、(行-03))。

(水稲育種)

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んでいる。生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手 137 号」(早生の晩、「金色の風」と同じ極良食味遺伝子を持つ、やや低アミロースの良質良食味系統)、「岩手 138 号」(早生の晩、イネ初期伸長性 QTL “*qPHS3-2*”を有する良質良食味系統)、「岩手 139 号」(晩性の早、栽培特性に優れた良質良の多収系統)、「岩手 140 号」(晩生の中、千粒重が重い良質良食味の極多収系統)を選抜した(行-04)。

平成 30 年度からイノベーション創出強化研究推進事業「水稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成」(H27-29「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明)の後継課題)に取り組む、(公財)岩手生物工学研究センターなどと連携し、収量性関与遺伝子を集積した系統の育成に取り組んでいる。

<作物栽培・種子チーム>

水稲・畑作物(麦類・大豆)栽培試験、品種選定、作柄解析、主要農作物(水稲・小麦・大麦・大豆)原種・原々種生産に取り組んでいる。

(水稲栽培)

平成 28 年度に奨励品種に採用された水稲品種「金色の風」について、高品質・良食味米生産に向けた収量構成要素等を明らかにした(試験研究成果書(指-04))。この内容は平成 31 年度「金色の風栽培マニュアル」に反映された。

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病害虫(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、次年度以降の技術対策指導に供した(試験研究成果書(指-03))。

(麦類)

麦類奨励品種決定調査では、小麦 3 系統、大麦 5 系統を供試した。

供試 5 年目の「東北 232 号」については、昨年行った加工適性試験及び試食会の評価が高く有望と判断した。あわせて、実規模での評価を行うため、平成 29 年秋、奥州市において 50a の試験圃を設置(東北農研試験圃)し、生産物は実需者による製粉及び加工適性試験に供試、平成 31 年 3 月に試食会を実施したところ、上々の評価であった。「東北 232 号」は平成 31 年 2 月に品種名「ナンブキラリ」として出願公表された。「ナンブキラリ」の推進に関して、関係機関との協議が必要である。

麦の栽培技術に関する研究では、水稲作業と競合せずタンパク質含有率の確保が可能となる追肥技術について明らかにした。(試験研究成果書(指-07))。

また、平成 30 年 3 月、5 月に発生した浸水・冠水被害について実態を取りまとめた。「平成 30 年一関遊水地における小麦の浸水・冠水被害の実態」(指-06)

麦類耐寒雪性特性検定について、(独)次世代作物開発研究センター委託試験として実施した。小麦および大麦をそれぞれ 65、43 品種・系統を供試した。

(大豆)

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆 3 系統、極小粒大豆 1 系統を供試した。

農林水産省委託プロジェクトの「実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発」(バリュープロ(大豆))において、晩播密植栽培による大規模現地試験を実施した。品種比較では、収量性やタンパク含量、べと粒発生程度から、東北 181 号が有望であると考えられた。また立枯性病害抵抗性検定試験に、30 品種・系統を供試し、黒根腐病抵抗性評価法の確立と抵抗性基準品種の策定を目指している。

(種子生産)

水稻種子生産(主要品種)では、原々種はうち 4 品種、もち 1 品種、原種はうち 9 品種、もち 2 品種約 22tを生産した。小麦は原種 3 品種を 8t生産した。大豆原種 1 品種、小豆原種 1 品種を 2,250kg 生産(調整中のため見込み)した。

(食料生産地域再生のための先端技術展開事業 (先端プロ実証研究))

「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」のうち、生育モデルを利用した収量向上技術の実証については東北農研と連携し、主要 4 品種について生育ステージを予測するためのパラメータ作成に取り組んだ。

難防除雑草コウキヤガラ蔓延防止対策実証については、コウキヤガラの発生程度別に圃場毎の収量及び土中の塊茎量を調査した結果、発生が最も多い圃場で 3 割程度減収し、コウキヤガラの発生が多いほど塊茎量も多いことを明らかにした。また、コウキヤガラの発生が目立たない圃場でも塊茎は存在し、防除に注意が必要であることも明らかにした。

野菜花き研究室

野菜花き研究室では、「農林水産技術立県いわて」の確立のため、以下の基本方針に沿って野菜および花きの 2 チーム体制で試験研究に取り組んでいる。(1) 顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発、(2)消費ニーズ及び将来の動向を見越した本県に適する花き(リンドウ)新品種の選抜・育成、(3)生産の安定に直結する優良な原種苗等の正確かつ安定的な供給

<野菜チーム>

野菜は、中核的な経営体が周年雇用により規模拡大を図れる生産性の高い技術や、園芸施設におけるICTを活用した省力的環境制御技術等、園芸分野のスマート農業化の推進に向けた革新技術の開発に向け関連産業と連携して取り組んだ。

また、本年度から、新規課題「大規模水田経営における簡易地下水水位制御と良質苗・病害虫防除を核とした春まきたまねぎの安定生産技術の開発と実証」に新たに参画し、岩手県に適する品種の選定について検討した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- (1) トロ箱養液栽培システムでの養液栽培用肥料による夏秋トマトの収量性と肥料選択の基準(指導)

また、研究成果を基に今年度は以下の栽培マニュアルを取りまとめた。

- (1) 寒冷地中小規模施設における複合環境制御技術の導入手引き

<花きチーム>

花きは、日本一の生産量を誇るリンドウに重点をおき、新品種の開発、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種の開発については、切り花向け品種は 8 月盆および 9 月彼岸の最需要期に切れ目のない出荷を可能とする青色品種のラインナップを揃えるため、複数品種の開発に取り組んでいる。花色、花型、草姿などの品質の揃いに優れたものを開発し、品質の低下が見られる既存品種に置き換えていく過程にあり、本年度は有望な F₁ 系統の特性検定を実施した。また、鉢物向け品種は、平成 28 年から「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(実用技術開発ステージ)(本年度からイノベーション創出強化研究推進事業に変更)」(代表機関: (公財)岩手生物工学研究センター)に参画し、八重咲きなどの新奇性の高いオリジナル品種開発に取り組んでおり、有望な個体が作出され、特性評価中である。

種苗の安定生産・供給については、これまでに開発した県品種の原々種の維持、原種増殖と種苗センターへの供給等に取り組んだ。本年も、採種用親株を種苗センターに計画どおり供給するとともに、採種技術等について指導した。

安定生産技術の開発については、育成品種の生態的特性や株養成技術等について検討した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- (1) 鉢花向け青色リンドウ品種「Bzc-1」の育成(普及)
- (2) リンドウ種子の長期貯蔵技術(指導)
- (3) リンドウまだら退色症状の発生における品種間差異(指導)
- (4) リンドウの定植後ジベレリン処理による生育促進効果(指導)

南部園芸研究室

南部園芸研究室では平成 23 年 3 月 11 日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したが平成 26 年 1 月 6 日に再建し、陸前高田市で業務を再開した。夏季冷涼、冬季温暖な気象特性を生かした園芸産地の育成と被災した沿岸地域の農業復興を支援する技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

イチゴの品種比較試験については、東北農業研究センターと共同で実施しているものとして、四季成り性品種の夏秋どり作型、露地・半促成栽培に適した一季成り性品種の選定を行なっている。各系統の特性を明らかにするとともに、一季成り性品種では栽培特性に優れるそよかの(盛岡 36 号)が品種登録出願された。また、「革新的技術開発緊急展開事業」の共同研究において、種子繁殖型品種「よつぼし」の品種特性把握、岩手県に適した作型や栽培方法の検討を行った。

いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改善については、前作の残肥がある場合の施肥方法及び追肥方法について葉柄硝酸イオン濃度や追肥の作業時間を継続的に調査し、省力的で効果的な管理方法等について検討した。

四季成り性いちご品種の 2 年栽培技術の確立については、効率の高い高温対策となつあかり以外の品種への適応性の検討を行い、送風ファンによる気化熱冷却の効果が高いことが明らかになった。併せて、先端プロ社会実装において、「なつあかりの長期栽培」の横展開のために、関心のあるいちご栽培者を個別巡回し栽培技術の支援や長期栽培の PR を行った。

ICT を核とした施設野菜の高度化技術の確立については、先端プロ実証研究において「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」に取り組み、高断熱保温資材による保温技術と必要最小限の環境制御機器(自動換気、内張被覆、二酸化炭素施用、ミスト導入等)による増収効果の検討を行った。

(4) 環境部

生産環境研究室

生産環境研究室では、①土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発、②高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立を柱とした研究課題に取り組んだ。さらに、年度途中から国庫委託事業の「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」において、津波被災復旧農地における地カムラ診断及び対策技術について取り組むこととなり、マルチスペクトルカメラ搭載ドローンによる生育ムラの評価手法の検討について陸前高田市小友地区にて実施した。

土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発としては、国庫委託事業「収益力向上のための研究開発事業」の構成機関として、雨よけトマトにおける土壌中の可給態窒素を評価した窒素の適正施肥体系確立に取り組む、前年度まで農研場内において確認していた可給態窒素の簡易評価法を用いた窒素の減肥体系の現地試験に取り組んだ。

補給型施肥基準の実証調査としてりんどう及びびりんごについて取り組んでいたが、この 2 品目について処理 5 年目であつても生育への影響はみられないことを確認し、成果にとりまとめた。あわせて、りんどうについては新しい品種について早晩性毎の適正な窒素施肥量についても成果にとりまとめた。

高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立としては、技術部作物研究室と連携して「金色の風」の収量構成要素と栄養診断基準をとりまとめるとともに、「金色の風」「銀河のしずく」それぞれの品種に適する追肥省略型肥料について、場内試験のみでなく普及センターと連携した現地実証結果もふまえ成果とした。

また、国庫委託事業「花き振興(品質)コンソーシアム品質保持期間延長技術の開発」の構成機関として平成 28 年度から参画し、リンドウ切花の需要時期に出荷時期をあわせるための低温管理手法の開発についても低温管理時の湿式管理手法の体系についてとりまとめるとともに、各品種におけるエチレン感受性と品質保持剤の効果についてもとりまとめた。

当研究室で長期にわたって継続している土壌モニタリング調査については、8 巡目のとりまとめの年度となっており、水田、畑それぞれの特徴について研究成果としてまとめ、水田では養分の蓄積傾向がとまり、交換性カリがやや減少傾向であること、畑地では飼料用トウモロコシ畑でリンやカリの養分の蓄積が顕著であることが確認された。

以下、H30 年度の研究成果タイトル(生産環境研究室主査分)

- 区分:指導 水稲品種「金色の風」の栄養診断基準
- 区分:指導 「金色の風」に適する肥効調節型肥料の配合
- 区分:指導 「銀河のしずく」に適する肥効調節型肥料の配合
- 区分:指導 県内水田土壌 35 年間の施肥管理と化学性の変化
- 区分:指導 県内畑土壌 35 年間の有機物施用と化学性の変化
- 区分:指導 りんごにおける補給型施肥基準の検証
- 区分:指導 リンドウの適正窒素施肥量
- 区分:指導 リンドウの補給型施肥による生育への影響
- 区分:指導 リンドウ切り花の出荷時期調整のための低温管理方法
- 区分:指導 リンドウ切り花のエチレン感受性と品質保持剤の効果

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術 (IPM) の開発に取り組んだ。

水稲分野では、高密度播種苗移植栽培体系における葉いもち・初期害虫の防除技術について、既存箱施用剤の効果や、適正な防除方法の検討を行い、知見を蓄積した。

畑作分野では、ダイズ紫斑病に対してジフェノコナゾール水和剤、ピリベンカルブ水和剤、新規防除薬剤ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤は、1 回散布でも十分な効果が得られることを示し、研究成果として取りまとめるとともに、県防除指針に掲載した。

野菜分野では、県内のピーマン産地において、トウガラシマイルドモットルウイルス (PMMoV) L₁ 打破系統によるモザイク病が蔓延しつつあることと、その原因及び対策について現地指導に向けて研究成果として取りまとめた。畑ワサビの害虫であるワサビルリイロサルゾウムシに対して、ダイアジノン粒剤、シアントラにリプロール粒剤が効果があることを確認し、農薬登録の適用拡大に向けデータを農薬メーカーに提供した。この他、ナス果実小陥没症に効果のある農薬の適用拡大や、キャベツの新たな防除体系の構築に向けた検討を行い、知見を蓄積した。

果樹分野では、慣行の防除によりモモシクイガの密度が通常に保たれているりんご園地においては、交信かく乱剤による追加防除により被害が発生しないが、廃園、管理不良等によりモモシクイガが多発しているりんご園の周辺園地では殺虫剤防除に加えて交信かく乱剤を設置してもモモシクイガの被害を防ぐことは困難であることを確認し、研究成果として取りまとめた。この他、りんご園地における下草管理とカブリダニ類等の土着天敵の関係性や、JM7 利用樹衰弱症状の発生要因の解明に係る調査・検討を行い、知見を蓄積した。

なお、試験研究で得られた知見については、学会等で積極的に発表を行い、北日本病害虫研究会で 5 件、日本植物病理学会において 2 件を本県の成果として PR した。

(5) 病害虫防除部

病害虫防除課

(病害虫発生予察)

水稲、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報 7 回、注意報 3 回、特殊報 3 回に加え、防除速報 (13 回) を発行した。これらの情報については、印刷物のほか、電子メールでの配信や、いわてアグリベンチャーネットへの掲載等により、病害虫防除員はじめ、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定期情報	7	月1回 : 3~8月、11月
	注意報	3	水稲 : 細菌病類 (H31 育苗)、きゅうり : 炭そ病、りんご : 褐斑病
	警報	0	
	特殊報	3	トマト : トマト黄化葉巻病 (TYLCV)、 ピーマン : ミナミキイロアザミウマ、PMMoV (P _{1,2,3,4} 型)
病害虫防除速報	—	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲 (5回) : 斑点米カメムシ類 (3回)、いもち病 (取置苗)、葉いもち (1回) ・ 小麦 (1回) : 赤かび病 ・ りんご (3回) : モニリア病、褐斑病、黒星病 ・ 野菜・花き類 (2回) : リンドウホソハマキ、ヨトウガ

(病害虫防除指導)

本県の病害虫等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、病害虫防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病害虫防除指導に取り組んだほか、病害虫防除実績検討会を開催し、主要病害虫の発生要因解析と次年度の防除対策について関係機関・団体と共有し、今後の地域防除体制の強化を図った。

さらに、植物防疫専門研修会の開催を通じて、普及指導員及び JA 営農指導員のほか、いわて型野菜トップモデル産地創造事業の参画経営体を対象に、果菜類に発生する病害虫の診断手法や防除対策の知識習得を支援した。

水稲の病害虫防除指導においては、各地方の病害虫防除員協議会および病害虫防除連絡協議会、JA 稲作部会等が中心となり、病害虫防除所が発行する発生予察情報を活用しながら、地域の一斉点検調査等の取組を行っており、これらに対し、技術的な助言・支援・指導を行ったほか、巡回調査地点の農家 87 件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについては、二戸、盛岡地域における黒星病の発生を受けて、近年の発生要因を解析しこれに基づく次年度の防除対策の指導を行うとともに、地域の防除暦作成にあたっては、普及センター担当者等とともに検討し、黒星病や褐斑

病に対する重点防除対策が図られるよう指導した。また、りんごの防除実績は、県内 80 の共同防除組合等から収集し、次年度の防除計画の改善に資した。

野菜・花きについては、果菜類の主産地を抱える普及センター職員等を対象に、ウイルス病の簡易診断キットを用いた検定法の指導を行ったほか、岩手県園芸産地改革戦略推進会議・技術対策部会において、きゅうり、ねぎ、りんごの病害について情報提供した。また、防除実績は、野菜では 19 件、りんごは 12 件の農家から収集し、次年度の防除計画に資した。

重要性が増してきている病害虫診断については、72 件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(59.7%)、次に花き(33.3%)、普通作物(5.6%)、果樹類(1.4%)の順であった。また、原因別では、病害が 45.9%、虫害が 2.7%、生理障害・薬害が 27.0%等であった。

(農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(6月20日、参加者208名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(301件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(1件)。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種の種雄牛造成では H29 直接検定牛 15 頭(平均 DG1.30kg)から、現場後代検定用 6 頭(選抜率 40%、平均 DG1.34kg)を選抜した。現場後代検定では H26 交配種雄牛 5 頭(「杉勝錦」、「民良藤」、「良辰錦」、「勝花幸」、「松福山」)の成績を公表した。

黒毛和種肥育牛では、肥育期間短縮試験の 2 回目試験が進行しており、試験区において 26 か月で良好な枝肉重量、肉質を確保している。3 日目試験を 15 頭(試験区 9 頭、対照区 6 頭)で開始した。日本短角種の一産取り肥育試験では、高栄養区、低栄養区とも子牛生産率は 100%、枝肉成績では慣行区と有意差が無かった。2 回目試験も実施中。

(養豚) パークシャー種肥育豚において、配合飼料中のそうこう類を全量飼料米(粳米・玄米)に代替し発育及び収益性が向上することが判明した。併せて、発育を落とさず背脂肪厚が適正となる栄養比を示した。

(養鶏) 飼料自給率の向上特産肉養鶏の差別化を図るため、地域産の飼料用米 SGS 及び国産とうもろこし子実を南部かしわに給与する飼養体系を現地試験(雫石町)にて実証した。

<家畜工学>

(遺伝子解析) ゲノムワイド連関解析により、日本短角種繁殖雌牛の双子生産率に関連する可能性がある SNP を検出した。

(受精卵移植) ホルスタイン種経産牛への性選別精液の深部人工授精において、活動量増加持続時間が 7~17 時間の牛を選定し、活動量の増加から 12~17 時間後の授精で受胎率の向上が期待でき、乳蛋白質率が 2.8%未満及び MUN が 8 mg/dl 未満では活動量増加持続時間が短く、受胎率も低いことを明らかにした。

家畜飼養・飼料研究室

<飼養>

泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発について、第 1 期試験の慣行区 2 頭、短縮 CP 強化区 2 頭および、第 2 期試験の慣行区 2 頭、短縮区 2 頭の飼養試験を終了し、第 3 期試験の短縮 CP 強化区 2 頭、短縮区 CP・TDN 強化区 2 頭の飼養試験を開始した。2 産分娩後の受胎までの日数は慣行区に比べて短縮区及び短縮 CP 強化区で短い傾向があり、また、乾乳期短縮により 305 日実乳量は減少するが、栄養強化することで慣行区と比べて乳量が多くなる傾向があった。

大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した省力牛群管理技術の確立について、分娩前に反芻減少が見られた牛に補助飼料としてグリセリンを経口給与すると、疾病治療牛頭数は 26%(13/50 頭)に抑えられ、グリセリン給与には、採食量減少(反芻時間減少)によるエネルギー不足を補う効果があったことが示唆された。

トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発について、国産トウモロコシ配合給与区の産乳成績は、輸入トウモロコシ配合給与区に比較して、有意に乳蛋白質率が低く、BUN が高かった。泌乳最盛期の牛において、圧ペントウモロコシの代替としてトウモロコシ子実サイレージの給与は、MUN と乾物摂取量に有意な差が生じた。

<飼料>

外部支援組織の運営効率化支援システムの確立について、延べ 68 圃場、91.6ha の飼料用トウモロコシ収穫作業における自走式ハーベスタの平均稼働率は 71.0%、作業効率 0.803ha/h、稼働効率 1.13ha/h であり、飼料用トウモロコシ収穫作業の運搬作業が制限要因であった実証農家に対し運搬能力を増強した結果、自走式ハーベスタの稼働率が 74.0→78.1%に、

作業効率は 0.83→0.94ha/h に改善した。

外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発について、不耕起栽培2年目における乾物収量は堆肥施用量に応じて増加する傾向にあった。また、不耕起栽培前年に 15t/10a 堆肥を施用した区は、不耕起栽培 3 年間で 6,000kg/10a を超える乾物収量が得られ、不耕起栽培の堆肥施用技術として有効であった。

転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立について、「東北 1 号」及び「那系 1 号」の年間 TDN 収量は、利用 2 年間合計で対照品種「アキミドリⅡ」を上回る傾向にあった。また、放牧利用において、「東北 1 号」は追播 2 年後も播種当年と変わらず被度が維持された。成果は、「フェストロリウム東北 1 号栽培マニュアル改訂版 2.0」に掲載し関係機関に配布する予定。

フェストロリウム追播技術の確立について、播種量 3kg/10a 及び堆肥施用が生育は良好であり、播種機械は作溝式の牧草播種機に加えディスクハローも有効であった。

二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較について、RM85 の 4 品種は台風により倒伏したこともあり、9 月上旬に黄熟中期に達した品種がなかった。

チモシー極早生新系統の特性確認について、供試4品種の初期生育は、発芽状況が標準品種よりも良好であり、早生の検定品種(サミット)は発芽良否及び定着時草勢が標準品種と同等以下であった。

採草地におけるワルナスビ防除体系の確立について、MDBA を散布した区の掃除刈り時点のワルナスビの乾物重は 7.2～15.0g/m²、牧草割合は 97% 超であり、1 番草後に MDBA を散布した区は 7 月中旬にワルナスビが OG の草高を超えた。また、1 番草後に MDBA 散布 400ml/10a 区と 2 番草後 100ml 区のワルナスビ結実数は、1 番草後 100ml 区より少ない傾向であった。

近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立について、イネ科主体牧草用の蛋白質画分の検量線を作成し、易分解性蛋白質(A 画分)を除き、品質評価に利用可能な推定精度であることを確認した。

<牧草の放射線対策>

除染草地の更新時における施肥量の検討について、土壌中交換性カリ含量は、耕起直後においてケイ酸カリ 3 区よりも「鶏糞焼却灰 20 区」及び「塩化カリ 20 区」が高い傾向が見られ、牧草定着後は全ての区で同程度の水準となった。土壌中 137Cs は試験区間の差が認められなかった。

耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立について、緩効性カリ肥料の割合を変えた場合の牧草中 RCs 濃度及び土壌中交換性カリ含量の影響を確認した。

外山畜産研究室

<子牛の生産状況>

外山畜産研究室では繁殖雌牛 99 頭(黒毛和種 50 頭、日本短角種 49 頭)を飼養している。黒毛和種では、生産された子牛のうち 35 頭を 1 頭当たり平均 605 千円で販売した。

同様に日本短角種の子牛は 37 頭を出荷し、1 頭当たり平均価格は 335 千円であった。

また、家畜育種研究室で実施する肥育試験等の供試牛として、黒毛和種の繁殖雌牛や日本短角種の子牛を提供した。

<成果の発信状況>

福島第一原発の事故により利用を自粛していた放牧地のうち、除染作業ができなかった急傾斜の放牧地は、未利用の状態が続いた結果生産性が大きく低下した。これら荒廃した放牧地の利用再開に適用する技術として、昨年度、電気牧柵を用いた小牧区の集約放牧による蹄耕法の効果を実証したところであるが、本年度は、県営小石川牧野において現地実証を行い、その成果を「蹄耕法を取り入れた耕起困難草地の更新技術マニュアル」として取りまとめ、関係機関に配布した。

<寄託放牧の状況>

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5 月 21 日から 10 月 18 日まで 150 日間放牧を実施し、近隣の生産者 4 戸から繁殖牛 42 頭と子牛 31 頭を受入れた。

また、馬については 5 月 15 日から 10 月 12 日まで 150 日間放牧を実施し、雌馬 8 頭、雄馬 1 頭、子馬 4 頭の合計 13 頭を受入れた。これらの馬は、6 月に行われた「チャグチャグ馬コ」で行進した馬たちであり、200 年以上にわたって行われる伝統行事を支援する意義を感じながら、適切な管理に努めた。

種山畜産研究室

黒毛和種改良事業の一環として県内産黒毛和種種雄牛候補 11 頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等 2 頭計 13 頭の直接検定を実施。今年度から現場後代検定牛の選抜要素の一つにゲノム育種価が加わり、平成 29 年度

直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補として「花智」、「星乃栄」、「八重金幸」、「菊百合福」を選抜した。平成28年度に現場後代検定を開始した「森安秀」「平栄福」「平成舞鶴」「茂平桜」「菊勝久」から「平栄福」「菊勝久」の2頭が基幹種雄牛に選抜された。このうちの「菊勝久」調査牛の枝肉成績はこれまで検定を実施した県有種雄牛の中で最も優れ、10月以降の凍結精液販売本数が急増し年度における販売本数も首位となった。

2022年に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会に向けた取組として総合評価群「肉牛の部」出品牛を生産するために「暁雲」と「美津福勝」の性判別精液委託生産を行い、次いで当室は産子の枝肉成績が高い雌牛5頭に「美津福勝」を交配し、移植用受精卵46個を回収した。

内水面水産技術センターとの公設試連携研究・公設試可能性調査において「ニジマス精子凍結保存」に取り組み、当室施設を利用しCASによるニジマス精子評価とガラス化保存を実施。保存精液の交配で正常稚魚までの発育に成功した。

<成果の発信状況>

黒毛和種における枝肉肉質が価格に及ぼす経済効果として、枝肉重量が2,137円/kg及びBMSNo.が57,505円/単位と影響が大きいことが示された。また、販売月及び性の母数効果を明らかにした。

(7) 県北農業研究所

園芸研究室

県北・沿岸地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、露地の主要品目であるキャベツについては、産地の農業改良普及センターからの要望課題に対応して、10月収穫に適する春系品種の選定と、10月収穫に適した栽植密度や・施肥量等の栽培法について継続して検討した。また、JA全農いわてからの要望課題に対応して、加工・業務用途向け寒玉キャベツ栽培法の確立に向けた研究を進め、加工・業務用に適した品種の選定と定植晩限の把握、ならびに定植晩限での収量確保に向けた栽培法の検討を行い、今年度の試験研究成果として取りまとめた。

たまねぎ春まき栽培技術については、「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証」について「経営体強化プロ」に参画して取り組み、今年度は岩手県に適合する品種・作型とアザミウマを主体とする病害虫防除技術の検討、全自動移植機に対応した448穴ポット育苗技術等について検討した。アザミウマを主体とする病害虫防除技術については、ネギアザミウマの要防除水準を検討するとともに、本種を対象とした適切な防除回数について、今年度の試験研究成果として取りまとめた。また、春まき以外の作型では、秋まきたまねぎの栽培についても検討を進めており、今年度、秋まきたまねぎ栽培に適合する品種と栽培上の留意点について試験研究成果として取りまとめた。

中山間地域における土地生産性の高い高収益品目の導入を図るため、今年度から新たにたまねぎ新作型の開発に関する研究を開始した。新たたまねぎやサラダ用など高単価が期待できる初冬(11~12月)や春(4~5月)の収穫を可能とする作型として、セット球を用いた初冬どり作型やハウスでの春どり作型について、今年度は栽培に適合する品種の選定や育苗条件の検討、定植時期等について検討を行った。

水稻育苗プールを利用したみずな、こまつな、ミニチンゲンサイ等葉菜類の水耕栽培の試験を継続し、栽培品目の拡大に関する検討や冬期間の栽培についての検討を行い、品目についてはリーフレタスの栽培が可能であり、冬期間の栽培については保温資材と水中ヒーターを利用することで冬期のこまつなの栽培が可能であることを明らかにした。

これらの研究の過程で、ほうれんそうでは園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会や、普及センターやJAの研修会に積極的に参画し、成果作成に役立てるとともに迅速な普及を図った。また、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの野菜担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決策について共有を図った。

作物研究室

先端技術を活用した農産物の高付加価値化を図る新品種育成と革新的な技術体系を確立に向けては、「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」において、あわEMS突然変異集団(M₆、交雑集団(F₉))及び広島県立大のあわ遺伝資源の形質評価と選抜等を行った。突然変異系統及び交配系統より短稈で穂の抽出長が短い多収な4系統を有望系統として選抜した(H30研究成果)。

また、雑穀の原種生産を実施し、あわ1系統、ひえ1系統を採種した。なお、ひえの黒穂病は露地栽培に比べて雨除け栽培で著しく多発した。

その他、雑穀の新たな利活用に向けて「いわて農林水産物機能性活用研究会」へ参画し、(公財)岩手生物工学研究センターと協働して雑穀の機能性成分(ルテインほか)に関する研究を支援した。また、INSいわて雑穀研究会を通じて雑穀に関する情報提供を随時行った。

中山間地域における生産性・収益性の高い組織営農技術の開発と土地利用型品目の導入に向けて、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試系統の特性を把握した。水稻糯品種めんこもち、及び、飼料用品種たわわっこについて安定栽培に向けた栽培法をとりまとめた(H30 研究成果)。水稻の作況調査を行い、本部作物研究室と連名で平成 30 年産の作柄要因について解析した(H30 研究成果)。その他、水稻品種「かけはし」の原種生産を行った。

「県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成」では、場内で 200g～300g/箱の高密度播種苗の栽培試験を実施した。高密度播種苗はいずれの播種量でも 14 日間の育苗期間ではマット強度が 3.0kgf を下回り、マット強度が劣った。また慣行中苗と比較して出穂期で 4 日、成熟期は 11 日遅れた。収量は 96～97%程度、等級検査では差が認められなかった。

「大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築」では、条間・株間除草機と除草剤を組み合わせた除草体系を検討し、除草機と大豆バサグラン液剤を組み合わせることで除草効果が高まることを確認した。

また、薬用作物とうき、せんきゅう)の除草体系において、慣行の手取り中心の除草体系(とうき 4 回、せんきゅう 6 回)のうち 1～2 回をレーキ式条間・株間除草機を利用することで除草作業の省力化が可能であることを明らかにした(H30 研究成果)。

条間・株間除草機の適用可否判断指標の作成に向けては、作物や雑草の主要草種についてフォースゲージによる引抜抵抗値を調査し、生育量に伴う引抜抵抗値の増加程度により 4 つのタイプ別に分類し、指標活用に向けた方向性を示した(H30 研究成果)。

「トウキの生産拡大のための技術開発」を継続実施し、とうき種子が嫌光性である可能性があることを再確認したが、黒遮光幕被覆による土壌の乾燥によりトウキの発芽数が慣行より劣る事例が見られた。また、新たな資材としてアルミ蒸着フィルムを検討し、とうき発芽率の向上と雑草抑制効果に優れることを確認した。振動式掘取機はとうき苗の掘取労力軽減に有効であることを再確認し、作業角度や作業機の振動数など作業条件について検討した。

その他、研究課題や地域課題、その解決策について共有を目的に、八幡平、久慈、二戸の各農業改良普及センターに赴きラウンドテーブルを開催したほか、各種研修会等への参加も積極的に行った。特に、二戸農業改良普及センターが取組んだ雑穀生産機械化体系導入実証事業(地域経営推進費)では、雑穀の育苗から移植、生育期間を通じて支援し、実証を通じて研究成果の普及に努めた。

4 平成30年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		農業構造・経営管理	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	作業技術	生産環境	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	畜産環境	県北農業振興	震災復興
プロジェクト推進室	7	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
企画管理部	10	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
農業経営研究室	10	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
技術部	101	0	31	10	24	13	8	1	0	2	1	0	0	0	0	0	5	6
果樹研究室	25	0	0	0	24	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
作物研究室	50	0	31	10	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5	1
野菜花き研究室	21	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
南部園芸研究室	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境部	32	0	0	0	2	0	1	0	3	12	14	0	0	0	0	0	0	0
生産環境研究室	15	0	0	0	1	0	1	0	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0
病理昆虫研究室	17	0	0	0	1	0	0	0	0	2	14	0	0	0	0	0	0	0
畜産研究所	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10	3	12	0	0	0
家畜育種研究室	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	3	0	0	0	0
家畜飼養・飼料研究室	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	9	0	0	0
外山畜産研究室	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0
種山畜産研究室	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
県北農業研究所	19	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0
園芸研究室	10	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
作物研究室	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0
総計	198	7	31	10	26	16	9	10	3	14	16	4	10	3	12	0	19	8

※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上

2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上

3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

- 凡 例
- ・主査: 小課題の主査研究室
 - ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
 - ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
 - ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
 - ・予算区分: 国庫補助;国庫補助事業、国庫委託;国庫委託事業、独法委託;独法委託事業、民間委託;民間委託事業
令達;令達予算研究、県単研究;県単予算予算、県単採種;主要農作物採種管理費
 - ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【プロジェクト推進室】						
プロジェクト		(H28-15-2000)水田土壌基盤管理技術(排水対策、地下灌漑)の確立	H29	H31	独法委託	プロジェクト推進室/野菜花き
プロジェクト		(H28-15-3000)経営規模に対応する省力機械化技術の評価と体系化	H29	H31	独法委託	プロジェクト推進室/農業経営/野菜花き
プロジェクト	1	(H29-06)ドローンを利用した栽培管理技術に関する基礎研究	H29	H31	独法委託	プロジェクト推進室
プロジェクト	2	(H29-07)高機動畦畔草刈機の現地適応性	H29	H30	独法委託	プロジェクト推進室
プロジェクト	3	(H30-01)岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培体系の確立	H30	H32	県単独/民間委託	プロジェクト推進室/技術部作物/病理昆虫/県北作物
プロジェクト		(H30-01-3000)本田初期の病害虫防除方法の確立	H30	H32	県単	病理昆虫/プロジェクト推進室
プロジェクト	4	(H30-02)岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	H30	H33	県単/令達	プロジェクト推進室
プロジェクト		(H30-02-1000)地下水位制御システムによる土壌水分制御技術の確立	H30	H32	令達	プロジェクト推進室
プロジェクト	5	(H30-25)復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究	H30	H32	国庫委託	プロジェクト推進室/作物(技術)/生産環境/農業経営
プロジェクト		(H30-25-3000)ICTを活用した効率的な水管理技術の実証	H30	H32	国庫委託	プロジェクト推進室
【農業経営研究室】						
農業経営	6	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	H21	H30	県単	農業経営
農業経営	7	(H27-02)元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示	H27	H30	県単	農業経営
農業経営		(H28-15-4000)現地実証による経営評価および導入マニュアルの作成	H29	H31	独法委託等	農業経営/プロジェクト推進室/野菜花き/園芸(県北)
農業経営	8	(H30-03)集落営農組織における園芸作導入条件の解明	H30	H32	県単	農業経営
農業経営	9	(H30-07)雇用型園芸経営における作業工程管理手法の提示	H30	H32	県単	農業経営
農業経営		(H30-25-4000)経営モデルの構築	H30	H32	国庫委託	農業経営
【技術部果樹研究室】						
果樹	10	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹		(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	11	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	H14	H30	令達	果樹
果樹		(830-2000)国内外導入品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	12	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	H14	H30	令達	果樹
果樹		(837-1000)国内外導入品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	13	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	H30	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	H30	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	H30	民間委託	果樹
果樹	14	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	H30	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	H30	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	H30	県単	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	H30	県単	果樹
果樹	15	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	H30	令達	果樹
果樹	16	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	H21	H30	令達	果樹
果樹	17	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	H23	H33	県単	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	H23	H33	県単	果樹

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	H23	H33	県単	果樹
果樹	18	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	H40	県単・独法等委託	果樹
果樹		(H26-15-1000)早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	H40	県単	果樹
果樹		(H26-15-2000)均質なフェザー一苗を確保するための育成技術及び幼木管理技術の確立	H28	H31	独法等委託	果樹
果樹	19	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	H33	県単/独法等委託	果樹/病理昆虫研究室
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態把握	H27	H30	県単/独法等委託	果樹
果樹		(H27-24-2000)病害による「JM7」台木利用樹衰弱症状の対策	H28	H33	県単	果樹/病理昆虫研究室
果樹	20	(H30-17)生食用ぶどう品種の育成・選抜と栽培技術の確立	H30	H34	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-17-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	H34	県単	果樹
果樹		(H30-17-2000)系統適応性検定試験	H30	H34	独法委託	果樹
果樹		(H30-17-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	H34	令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-17-4000)耐寒性品種の育成及び選抜	H30	H34	令達	果樹
果樹	21	(H30-18)醸造用ぶどう品種の選抜と栽培技術の確立	H30	H34	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-18-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	H34	県単/令達	果樹
果樹		(H30-18-2000)系統適応性検定試験	H30	H34	独法委託	果樹
果樹		(H30-18-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	H34	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-18-4000)優良品種の垣根栽培の実証	H30	H34	令達/独法委託	果樹
【技術部作物研究室】						
作物(技術)	22	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	H30	民間委託	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	H30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)	23	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	24	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	H30	県単	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)	25	(891)畑作物原々種・原種生産	H22	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)	26	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H19	H30	県単	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H23	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H19	H30	県単	作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	H23	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)	27	(H19-13)麦類の奨励品種決定調査及び有望系統特性調査	H26	H30	県単	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H26	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H26	H30	県単	作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)	28	(H22-rb01)主食用米等品種の育成(コシヒカリを超える米)	S59	H30	令達	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H22-rb01-1000)交配母本評価と交配	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-2000)初期世代養成	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-3000)個体選抜	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4000)系統選抜	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5000)生産力検定	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6000)特性検定試験	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-7000)DNAマーカー等先端技術利用	H16	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-8000)育成系統採種	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)	29	(H26-19)耐冷性やいもち病抵抗性を強化した東北オリジナル業務・加工用品種の開発(直播、耐冷性)	H26	H30	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-1000)直播適応性検定	H26	H30	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-2000)耐冷性検定	H26	H30	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)	30	(H26-21)実需者ニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26	H30	独法等委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-1000)東北・北陸地域に適した広域適応品種の開発と密植栽培技術の開発・有望系統の晩播密植栽培による大規模現地実証	H26	H30	独法等委託	作物(技術)

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)		(H26-21-2000)病害抵抗性を強化した安定多収大豆品種の開発を支える基盤技術の開発・有望系統の立枯性病害抵抗性評価	H26	H30	独法等委託	作物(技術)
作物(技術)	31	(H27-03)東北地域中北部やませ地帯向け耐倒伏性強の飼料用米品種の共同育成	H27	H31	令達	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-3000)個体選抜	H27	H31	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-4000)系統選抜	H27	H31	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-5000)生産力検定試験	H26	H31	独法委託	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-6000)特性検定試験	H27	H31	県単	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-8000)育成系統採種	H27	H31	県単	作物(技術)
作物(技術)	32	(H27-04)極良食味新品種の食味・品質の高位平準化に向けた栽培条件の解明	H27	H30	令達	作物(技術)/生産環境
作物(技術)		(H27-04-2000)極良食味新品種の食味特性を発揮するための施肥基準の策定	H27	H30	令達	生産環境
作物(技術)		(H27-04-3000)極良食味新品種の期待生育量の解明	H29	H30	令達	作物(技術)/生産環境
作物(技術)	33	(61)水稲原々種生産	S22	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)	34	(62)水稲原種生産	S29	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)	35	(803)水稲奨励品種決定調査	H14	H30	県単	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(803-1000)予備調査	H14	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)		(803-2000)本調査	H14	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)		(803-3000)現地調査	H14	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)		(803-4000)有望系統の栽培法	H14	H30	県単	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)	36	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	H30	県単	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(805-1000)水稲作況調査	H14	H30	県単	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	H30	県単	作物(技術)
作物(技術)	37	(H30-16)水稲の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とそれを活用したゲノム育種による安定・超多収系統の育成	H30	H32	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H30-16-1000)RILs※1の形質評価	H30	H32	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H30-16-2000)準同質遺伝子系統によるエピスタシス※2の実証	H30	H32	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H30-16-3000)超多収系統の育成	H30	H32	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	38	(H30-22)イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	H30	H34	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H30-25-2000)輪作・直播体系と組み合わせたコウキヤガラ防除技術の実証	H30	H32	国庫委託	作物(技術)/プロジェクト推進室
【技術部野菜花き研究室】						
野菜花き	39	(H28-11)リンドウまだら退色症状の発生原因および発生軽減条件の解明	H28	H30	県単	野菜花き/生産環境
野菜花き	40	(843)りんどうの生育・生態調査	H14	H30	県単	野菜花き
野菜花き	41	(H22-07)リンドウ栽培安定化技術の開発	H22	H31	県単	野菜花き/園芸(県北)
野菜花き		(H22-07-3000) 県育成早生品種の全茎収穫栽培における株養成技術の開発	H28	H31	県単	野菜花き
野菜花き	42	(H28-02)きゅうり省力・低コスト栽培技術の確立	H28	H32	県単	野菜花き
野菜花き		(H28-02-1000)作業が単純で省力的な栽培技術の確立	H28	H32	県単	野菜花き
野菜花き		(H28-02-2000)多雌花性品種を利用した省力栽培技術の確立	H28	H32	国庫委託/県単	野菜花き
野菜花き	43	(H30-06)産地を強化するリンドウの品種育成	H30	H34	令達	野菜花き
野菜花き		(H30-06-1000)親系統の育成	H30	H34	令達	野菜花き
野菜花き		(H30-06-2000)親系統の維持	H30	H34	令達	野菜花き
野菜花き		(H30-06-3000)青系切花物日需要品種群と新形質リンドウの育成	H30	H34	令達	野菜花き
野菜花き		(H30-06-4000)未受精胚珠培養等による純系リンドウの作出	H30	H34	令達	野菜花き
野菜花き		(H30-06-5000)鉢花用八重咲きリンドウの品種育成	H30	H34	独法委託	野菜花き
野菜花き	44	(H30-08)ICTを核とした施設野菜の高度化技術の確立	H30	H32	県単/国庫委託	野菜花き/南部園芸
野菜花き		(H30-08-1000)環境情報を活用した高生産技術の開発	H30	H32	県単/国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H30-08-2000)スマートデバイスを活用した高効率栽培管理技術の開発	H30	H32	県単/国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H30-08-3000)青系切花物日需要品種群と新形質リンドウの育成	H30	H34	令達	野菜花き
野菜花き		(H30-08-4000)ICTを核とした施設栽培の高度化実証	H30	H32	県単/国庫委託	野菜花き/南部園芸
野菜花き	45	(H30-27)きゅうり先端肥大症発生予測技術の開発	H30	H32	国庫委託	野菜花き

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【技術部南部園芸研究室】						
南部園芸	46	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-4000)種子繁殖型品種の特性把握と栽培法の確立	H28	H30	国庫委託	南部園芸
南部園芸	47	(H29-01)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	H31	県単	南部園芸
南部園芸	48	(H30-19)四季成り性いちご品種の2年栽培技術の確立	H30	H32	県単	南部園芸
【環境部生産環境研究室】						
生産環境	49	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	H35	県単	生産環境
生産環境	50	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	H32	県単	生産環境
生産環境		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	H32	県単	生産環境
生産環境		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	H32	県単	生産環境
生産環境	51	(H16-22)新肥料の実用化	H16	H37	民間委託	生産環境
生産環境	52	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	H32	国庫委託	生産環境
生産環境	53	(H26-02)補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌の蓄積養分量に及ぼす影響調査	H26	H30	県単研究	生産環境/果樹
生産環境	54	(H27-07)野菜・花きの鮮度保持技術の確立	H27	H31	県単/独法委託	生産環境
生産環境		(H27-07-2000)県産花きの鮮度保持技術の確立	H27	H31	県単・独法委託	生産環境
生産環境	55	(H27-08)雨よけトマトにおける新たな施肥基準の策定	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境		(H27-08-1000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境		(H27-08-2000)リン酸・カリ減肥基準の検証	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境	56	(H27-09)りんどう新品種適正施肥量の検証	H27	H31	県単	生産環境/野菜花き
生産環境	57	(H30-04)麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	H30	H33	県単	生産環境
生産環境		(H30-04-1000)麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	H30	H33	県単	生産環境
生産環境		(H30-04-2000)麦栽培における緑肥作物の効果	H30	H33	県単	生産環境
生産環境	58	(H30-26)省力的かつ実効性の高いコメ中無機ヒ素濃度低減技術の開発	H30	H34	独法等委託	生産環境
生産環境		(H30-26-1000)水田営農における地力・生産力向上技術の実証	H30	H32	国庫委託	生産環境/プロジェクト推進室/作物(技術)
【環境部病理昆虫研究室】						
病理昆虫	59	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	H30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	H9	H30	民間委託	作物(県北)/園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)環境部	H9	H30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)技術部	H16	H30	民間委託	果樹
病理昆虫	60	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	H30	令達	病理昆虫
病理昆虫	61	(H28-03)夏秋どりトマト栽培で問題となる青枯病の防除体系確立	H28	H30	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	62	(H28-13)二国間輸出解禁協議の加速化のための病害虫防除対策の確立	H28	H30	国庫委託	病理昆虫/果樹
病理昆虫		(H28-13-1000)輸出検疫に対応したモモシクイガ防除対策の確立	H28	H30	国庫委託	病理昆虫/果樹
病理昆虫	63	(H29-02)リンドウ黒斑病に有効な薬剤の探索	H29	H31	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	64	(H29-05)コナガを中心としたアブラナ科害虫防除体系の確立	H29	H33	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-1000)夏秋どりキャベツにおける灌注処理殺虫剤の防除効果	H29	H33	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-2000)コナガにおける薬剤感受性検定	H29	H33	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	65	(H29-08)AIを活用した病害虫早期診断技術の開発	H29	H33	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫		(H29-08-1000)トマトで発生する病害虫被害の検証	H29	H33	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫	66	(H30-05)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	H34	国庫補助	病理昆虫/果樹研
病理昆虫		(H30-05-1000)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	H34	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-05-2000)りんご園地における下草管理による生育への影響	H30	H34	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	67	(H30-10)地域特産物における新防除資材の実用化 畑ワサビの害虫	H30	H31	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-10-1000)畑わさびの害虫	H30	H31	国庫補助	病理昆虫

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
病理昆虫	68	(H30-28)トマトうどんこ病発生予測システムの実用化	H30	H34	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-1000)感染好適条件の解明	H30	H34	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-2000)ほ場における発病予測機能の検証	H30	H34	独法等委託	病理昆虫
【畜産研究所家畜育種研究室】						
家畜育種	69	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	H30	令達	家畜育種
家畜育種	70	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定)	H17	H30	令達	家畜育種
家畜育種	71	(H26-03)黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	H28	H32	県単/独法等委託	家畜育種
家畜育種	72	(H26-05)ゲノムワイド連鎖解析による肉用牛改良に有用なDNA マーカーの検出	H26	H30	県単	家畜育種
家畜育種	73	(H27-14)パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発	H27	H30	独法等委託	家畜育種
家畜育種	74	(H28-05)性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立	H28	H30	県単	家畜育種/家畜飼養・飼料
家畜育種	75	(H28-06)生産農場におけるパークシャー種種豚群の産肉能力向上と肥育期の飼料給与体系の確立	H28	H32	県単	家畜育種
家畜育種	76	(H29-03)雌肥育牛を有効活用した日本短角種の一産取り肥育技術の確立	H29	H32	県単	家畜育種、外山畜産
家畜育種	77	(H29-04)国産穀類を主体的に利用した特産肉用鶏の飼料給与技術の確立	H29	H30	独法等委託	家畜育種
家畜育種	78	(H30-13)種雄牛選抜におけるゲノム育種価の実用化	H30	H34	令達	家畜育種/種山畜産
【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	79	(H27-15)大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した個体管理省力化技術の確立	H27	H30	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	80	(H27-16)外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	H27	H30	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	81	(H27-17)近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立	H27	H31	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(H27-19)外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発	H27	H31	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(H27-20)子実トウモロコシサイレージの給与技術の開発	H27	H31	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(H28-07)転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立	H28	H30	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(H28-14)泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	H28	H32	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(H30-11)チモシー極早生新系統の特性確認	H30	H33	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(H30-12)採草地におけるワルナスビ防除体系の確立	H30	H33	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(H30-20)多年生ライグラス追播技術の確立	H30	H32	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(H30-21)二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較	H30	H32	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	90	(H30-23)除染後草地の再更新時における施肥量の検討	H30	H32	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	91	(H30-24)耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立	H30	H32	独法等委託	家畜飼養・飼料
【畜産研究所外山畜産研究室】						
外山畜産	92	(H28-09)黒毛和種育成牛における自給サイレージを活用したTMR給与技術の確立	H28	H31	県単	外山畜産/家畜飼養・飼料/家畜育種
外山畜産	93	(H28-10)耕起困難放牧地における蹄耕法を活用した草地更新技術の確立	H28	H30	独法等委託	外山畜産
外山畜産	94	(H30-14)ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地および粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	H30	H32	県単	外山畜産
外山畜産	95	(H30-15)BLEタグを用いた放牧地における牛群個体確認労力軽減技術の確立	H30	H32	県単	外山畜産
【畜産研究所種山畜産研究室】						
種山畜産	96	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	H30	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	97	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	H30	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	98	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	H30	県単	種山畜産

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【県北農業研究所園芸研究室】						
園芸(県北)	99	(H27-12)春系キャベツ産地力強化のための安定生産技術の確立	H27	H31	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	100	(H28-04)加工・業務用途向けの寒玉キャベツ栽培法の確立	H28	H30	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	101	(H28-15)水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証	H28	H30	独法等委託	園芸(県北)/農業経営/プロジェクト推進室/野菜花き
園芸(県北)		(H28-15-2000)水田土壌水分制御技術の確立	H29	H31	独法委託	プロジェクト推進室/野菜花き
園芸(県北)		(H28-15-3000)経営規模別の省力機械化技術の評価と体系化	H29	H31	独法委託	プロジェクト推進室/農業経営/野菜花き
園芸(県北)		(H28-15-4000)現地実証による経営評価及び導入マニュアルの作成	H29	H31	独法委託(国庫補助(補助))	農業経営プロジェクト推進室、野菜花き、園芸(県北)
園芸(県北)	102	(H30-09)中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギ新作型の開発	H30	H32	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H30-09-1000)タマネギ初冬どり新作型の開発	H30	H32	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H30-09-2000)ハウスを活用したタマネギ春どり新作型の開発	H30	H32	県単	園芸(県北)
【県北農業研究所作物研究室】						
作物(県北)	103	(H26-10)雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発	H26	H30	県単/民間委託/国庫委託	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-1000)機能性成分の高い雑穀品種育成	H26	H30	県単/民間委託/国庫委託	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-3000)作業能率の高い雑穀機械移植栽培法の確立	H27	H30	県単	作物(県北)
作物(県北)	104	(H26-11)県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成に向けた要素技術の開発と評価	H26	H30	県単	作物(県北)/園芸(県北)/農業経営
作物(県北)		(H26-11-1000)寒冷地組織営農における実需ニーズに対応する園芸生産技術の確立	H26	H30	県単研究	園芸(県北)
作物(県北)		(H26-11-2000)県北・沿岸地域における低コスト稲作技術のリスク評価	H26	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H26-11-2200)精密育苗技術の開発による移植水稻の低コスト化	H26	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)	105	(H27-23)大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)/プロジェクト
作物(県北)		(H27-23-1000)大豆難防除雑草の効果的な除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)/プロジェクト
作物(県北)		(H27-23-2000)薬用作物栽培における省力的な除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)	106	(H28-16)ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	H28	H32	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)		(H28-16-1000)ミヤマトウキにおける苗の安定生産技術及び省力栽培体系の確立	H28	H32	国庫委託	作物(県北)

(3)平成31年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室	措置区分
1	農産	1	JA全農いわて	直播栽培による良食味の主食用多収品種の育成	作物(技術)	B
2	農産	2	JA全農いわて	水田土壌の地力低下の実態と水稻の品質食味向上対策	生産環境	B,C, A1
3	農産	3	病害虫防除所	マルチコプター(通称:ドローン)による病害虫防除に係る適正要件の解明	○病理昆虫 農業経営	A2
4	農産	4	県産米戦略室	「金色の風」「銀河のしずく」の適地評価のための作期策定支援シート作成	作物(技術)	B
5	農産	5	大船渡農業改良普及センター	RTK-GPSを利用した均平機の早期実用化	プロジェクト推進室	D,B
6	農産	6	大船渡農業改良普及センター	無人航空機:UAVによる農作物のリモートセンシングに基づく圃場管理	生産環境	B,D
7	農産	7	中央農業改良普及センター 地域普及グループ	本県小麦に対する倒伏軽減剤の効果と使用を前提とした多収栽培法	作物(技術)	A2
8	農産	8	奥州農業改良普及センター	大豆品種「シュウリュウ」の草姿変化の要因解析と対応方法の検討	作物(技術)	C
9	農産	9	奥州農業改良普及センター	大豆品種「シュウリュウ」のべと病耐病性の再確認と対応方法の検討	病理昆虫	C
10	農産	10	二戸農業改良普及センター	雑穀品目別育苗技術の確立	作物(県北)	A1
11	農産	11	(一社)岩手県農業会議	もうかる雇用経営体の育成に向けた技術開発	○研究企画室 農業経営	C,D
12	園芸	1	二戸農業改良普及センター	りんご品種「紅いわて」の樹勢衰弱の原因解明と対策技術の確立	果樹	B
13	園芸	2	二戸農業改良普及センター	おうとう有望品種の選抜	果樹	B
14	園芸	3	二戸農業改良普及センター	ブルーベリーの簡易な剪定方法による果実肥大効果の検証	果樹	C,A2
15	園芸	4	岩手県農業農村指導士協会	マメコバチの生態と活動条件の解明	果樹	C
16	園芸	5	岩手県農業農村指導士協会	紫モンパ病対策の確立	○病理昆虫 果樹	C,A2 C,D
17	園芸	6	岩手県農業農村指導士協会	省力的なりんごの人工授粉技術の確立	果樹	C,D
18	園芸	7	一関農業改良普及センター	りんごの岩手県オリジナル品種及び地域オリジナル品種に対する摘花剤及び摘果剤の効果	果樹	B
19	園芸	8	二戸農業改良普及センター	りんどうの連作を可能にする技術の確立	○野菜花き 生産環境 病理昆虫	C,D
20	園芸	9	八幡平農業改良普及センター	春系キャベツ「いわて春みどり」の生育斉一性向上技術の確立	園芸(県北)	B C,D B,C

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室	措置 区分
21	園芸	10	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	水田転換畑における生産設備の共用による園芸品目導入条件の提示	○野菜花き プロジェクト推進室 農業経営 研究企画室	A2
22	園芸	11	宮古農業改良普及センター	寒玉キャベツ直播栽培における省力生産体系の確立	園芸(県北)	C,A2
23	園芸	12	久慈農業改良普及センター	ホウレンソウケナガコナダニの効果的防除体系の確立	園芸(県北)	A2
24	畜産	1	JA全農いわて	養豚における豚の効率的誘導方法について	家畜育種	D
25	畜産	2	奥州農業改良普及センター	エゾノギンギン(Rumex obtusifolius L.)防除におけるチフェンスルフロンメ チル散布時期及び回数検討	家畜飼養・飼料	D,C
26	畜産	3	宮古農業改良普及センター 中央農業改良普及センター 県域普及グループ	本県に適応性の高い飼料用トウモロコシ極早生品種の選定	家畜飼養・飼料	B

5 共同研究等の推進

(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ・委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
社会実装促進業務委託事業	東北農業研究センター(*)	H30～32	(1)オープンラボの運営及び平成29年度までに得られた成果の情報発信・PR (2)普及目標を定める技術に係る展示圃の設置運営による技術の紹介および導入効果の展示、展示圃を活用した研修会の実施	
復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究	岩手県農業研究センター	H30～32	水田営農における地力・生産力向上技術、輪作・直播体系と組み合わせた難防除雑草の防除技術、ICTを活用した効率的な水管理技術などの導入条件の整理や要素技術の体系化を図る実証研究	プロジェクト推進室 農業経営作物(技術部) 生産環境
きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究	岩手県農業研究センター	H30～32	経営の発展段階に応じたICTを活用したキュウリ栽培の環境制御技術の確立およびキュウリの障害果(フケ果)の発生予測技術及び発生低減技術の確立	野菜花き 南部園芸
原発事故からの復興のための放射性物質対策に関する実証	東北農業研究センター(*)	H30～32	耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立および除染後草地の再更新時における施肥体系の開発	家畜飼養・飼料

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	次世代作物開発研究センター(*)	H26～30	(1)有望系統の晩播密植栽培による大規模現地試験 (2)有望系統の立枯性病害抵抗性評価	作物(技術部)
生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発	中央農業総合研究センター(*)	H27～31	野菜作(夏秋トマト施設栽培)における土壌可給態窒素の簡易測定等に基づく適正施肥技術の開発	生産環境
栄養収量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発	畜産研究部門(*)	H27～31	外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発 トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発	家畜飼養・飼料
多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	中央農業研究センター(*)	H27～31	薬用作物栽培における雑草管理の安定化と軽労化	作物(県北研)
省力的かつ現場で使い易いコメの無機ヒ素低減技術の開発	農業環境変動研究センター(*)	H30～34	水管理・資材施用によるヒ素・カドミウムの同時低減のための現場実行性の高い栽培管理技術の開発	生産環境
品質保持期間延長技術の開発	野菜花き研究部門(*)	H28～31	切り花の採花後低温品質管理技術の開発	生産環境
薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発	西日本農業研究センター(*)	H28～32	トウキの露地育苗苗を用いた栽培における軽労化技術の開発	作物(県北研)
AIを活用した病害虫診断技術の開発	中央農業研究センター(*)	H29～33	岩手県のトマト産地で発生する主要病害虫の発生実態調査と被害進行に応じた電子画像データの取得と人工知能の実証	病理昆虫

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
耐冷性やいもち病を強化した東北オリジナル業務・加工用多収品種の開発	東北農業研究センター(*)	H26～30	有望系統の特性評価と評価手法の開発 (1)「地域適応性検定、岩手県(直播)」育成系統の直播適性を評価 (2)「特性検定」育成系統の障害型耐冷性を評価	作物(技術部)
地域資源を活かし、気候変動に対応したブドウ新品種の早期育成と気候変動影響評価(ブドウ系適)	果樹茶業研究部門(*)	H26～30	(1)新規需要を生み出す優良赤ワイン系統の選抜 (2)醸造用ブドウ新品種「山梨48号」の栽培手引き書作成	果樹
水稻の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とそれを踏まえたゲノム育種による安定・超多収系統の育成	(公財)岩手生物工学研究センター	H30～32	(1)準同質遺伝子系統(NIL)によるエピスタシスの実証 (2)生産現場における組換え近交系(RILs)形質の変動性の解明 (3)収量性関与遺伝子の導入効果の確認および集積による超多収系統の育成	作物(技術部)
新規育種技術を活用した需要拡大のためのリンドウ品種の開発	(公財)岩手生物工学研究センター	H28～31	新奇性の高いリンドウの育成 ・八重咲きリンドウの育成	野菜花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(4) 革新的技術開発・緊急展開事業(地域戦略プロ、先導プロ・委託)

課題名	研究期間	研究期間	研究の内容	担当研究室
【地域戦略】自給飼料を活用した豚肉・鶏肉・鶏卵の差別化および低コスト生産技術の開発	畜産研究部門(*)	H28～30	パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発	家畜育種
【地域戦略】耕畜連携の強化による飼料コスト低減技術の現地実証	東北農業研究センター(*)	H28～30	転作田におけるフェストロリウムの実証と採草・放牧利用技術の確立	家畜飼養・飼料
【地域戦略】種子繁殖型イチゴ品種『よつぼし』の全国展開に向けた省力栽培体系とICTによる生産者ネットワークの確立	三重県農業研究所	H28～30	岩手県における省力栽培体系と生産者ネットワークの確立	南部園芸
【経営体強化】各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証	果樹茶業研究部門(*)	H28～31	わい化密植栽培における生育促進技術の開発と実証	果樹
【経営体強化】寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証	東北農業研究センター(*)	H28～31	(1)岩手県に適する品種・作型と病虫害防除技術の確立 (2)簡易地下水水位制御を利用した水田転換畑での春まきタマネギ生産に適した圃場管理技術の確立 (3)全自動移植機に対応した448穴ポット育苗技術の確立 (4)大規模水田作における春タマネギ現地実証と経営評価	園芸(県北研)プロジェクト推進室 野菜花き 農業経営

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(4) 革新的技術開発・緊急展開事業(地域戦略プロ、先導プロ・委託)

課題名	研究期間	研究期間	研究の内容	担当研究室
【経営体強化】気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発	畜産研究部門(*)	H30～32	(1) 多年生ライグラス追播技術の確立 (2) 二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較	家畜飼養・飼料
【先導】黒毛和種の低コストで良質な牛肉生産のための早期肥育技術の開発	畜産研究部門(*)	H28～32	黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	家畜育種
【AI】泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上	北海道農業研究センター(*)	H28～32	泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	家畜飼養・飼料

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) 研究成果最適展開支援事業((国県)科学技術振興機構、委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(該当なし)				

(6) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	H23～30	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定試験	作物(技術部)
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	H23～30	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹
受託研究	農業技術革新工学研究センター(*)	H26～29	軟弱野菜(ホウレンソウ)の高効率調製機の現地試験	園芸(県北研)
受託研究	農業技術革新工学研究センター(*)	H29～30	高機動畦畔草刈機の適応性拡大	プロジェクト推進室
農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	東北農政局	H27～	農地管理実態調査 ・定点調査:水田21、普通畑1、草地1 ・基準点調査:水田、普通畑	生産環境
新品種・新技術の確立支援事業	東北農政局	H30～31	飼料用米「岩手122号」の栽培法の確立	作物(県北研) 生産環境
輸出植物検疫協議の迅速化委託事業	中央農業研究センター(*) 果樹茶業研究部門(*)	H28～	(1)モモシクイガ、ナシヒメシクイ等検疫措置の確立 (2)病虫害の発生状況調査等のデータ収集及びとりまとめ	病理昆虫 果樹 病虫害防除部
大学委託(科研費)	国立大学法人岩手大学	H30～	イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	作物(技術部)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(7) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農業及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	作物(技術部)、果樹、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、水稲(育苗)、小麦、大豆、りんご、トマト、トマト(育苗)レタス、タマネギ(春まき)、ほうれんそう、リンドウ(育苗)	プロジェクト推進室、果樹、作物(技術部)、野菜花き、生産環境、作物(県北研)、園芸(県北研)
耕起困難草地等利用利用開発技術確立調査	日本草地畜産種子協会	傾斜地等の耕起困難草地の利用再開を図るため、放射性セシウムが自然低下した草地での蹄耕法による植生回復技術を実証する。	外山畜産、家畜飼養・飼料
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病害虫の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
三陸地域の気象特性を活かすいちご2年栽培作型の現地普及に向けた研究	(公財)さんりく基金	四季成り性いちご品種「なつあかり」の2年栽培作型の他品種への応用および夏植え作型導入による省力技術の開発	南部園芸
被災地におけるめん羊の放牧に関する調査研究	日本草地畜産種子協会	放牧しためん羊における畜産物等への放射性物質の移行試験の実施およびめん羊の畜産物等におけるライブモニタリングによる放射物質の濃度の推定	外山畜産
気象変動影響に関する調査(環境省)	日本エヌ・ユー・エス(株)	防霜ファン利用によるリンゴ果実表面温度の上昇抑制技術の実証	果樹
大規模水田営農を支える省力・低コスト技術の確立	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(新稲作研究会)	岩手県における水稲高密度播種苗の育苗及び移植技術の確立	プロジェクト推進室
高品質・高付加価値農産物の生産・供給技術の実証	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(新稲作研究会)	タマネギ大規模機械化体系による省力化の実証	プロジェクト推進室
稲民間育成品種評価	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会	民間が育成した稲品種候補の特性評価	作物(技術部)
全日本野菜品種審査会(ホウレンソウ)	(一社)日本種苗協会	民間が育成したほうれんそう品種候補の特性評価	園芸(県北研)
雑穀水溶性成分の抗老化機能性の解析	(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団	雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発	作物(県北研)

(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稻における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	H26～30	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稻品種の育成	作物(技術部)
リンドウ優良品種育成支援技術の開発 リンドウの安定生産に寄与する生理・生態の解明	園芸資源研究部 (育種栽培技術開発チーム)	H26～30	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 越冬性向上や生育調節に係る技術開発及び難培養性系統の培養増殖法開発	野菜花き
現場ニーズに対応した実践的 植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部 (植物病態分子研究チーム)	H26～30	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)とこぶ症発症との因果関係の解明 分子生物学的な病害虫診断技術を利用した新たな病害虫防除システムの構築	病理昆虫 野菜花き
農林水産物の機能成分分解明と活用	生物資源研究部	H26～30	雑穀の在来系統群から抽出した機能成分の同定と評価及び高付加価値を有する雑穀オリジナル品種の育成	作物(県北研)
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 ※大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	H29～36	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹

(9) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	H7～	作物(技術部)

(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会

ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種談話会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	H10～	作物(技術部)
2 水稻栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	H11～	作物(技術部)
3 イワテヤマナシ研究会	◎神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	H24～	果樹
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	H11～	野菜花き

※平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
30.12.18	岩手大学農学部3号会議室	

(11) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)

開催月日	場所	内容
(なし)		

(12) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*)、(地独)青森県産業技術センター、宮城県農業・園芸総合研究所、山形県	H28～30	選抜初期世代から東北各地域における適応性を検定し、安定生産を可能にする寒冷地向けイチゴ品種の育成の効率化を実現する。	南部園芸
「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	東北農業研究センター(*)	H27～31	「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	作物(技術部)
シードル向きリンゴ品種・系統の選抜と省力・高収量栽培に関する予備研究	果樹茶業研究部門(*)	H27～30	加工向けリンゴ新品種・系統の省力化技術の検討	果樹
農業技術体系データ整備に向けた農作業基本オントロジー、およびそれに基づくサービスの構築と検証	農業技術革新工学研究センター(*)	H29～31	岩手県農業技術体系データ整備に向けた農作業基本オントロジー(AOO)、及びそれに基づくサービスの検証	農業経営
肉用牛における新たな経済形質のゲノミック評価に関する研究	(一社)家畜改良事業団	H30	肉用牛において、肥育時発育パターンの種雄牛ごとの遺伝的能力解析、発育関連形質のゲノミック評価に向けたデータ解析等に取り組み、これらの形質について改良を可能とする手法を明らかにする。	家畜育種
和牛における経済形質のゲノム選抜手法の確立	独立行政法人家畜改良センター	H30	・牛DNAサンプルと形質情報の収集 ・肥育牛、若雄牛、繁殖雌牛のゲノムワイドなSNP情報の解析 ・ゲノム育種価予測式の作成と予測式の精度の検証	家畜育種
野鼠のリンゴ台木嗜好性に関する研究	果樹茶業研究部門(*)	H30～31	冬季の積雪が多くない地域での野鼠被害の対策に資するため、岩手県農業研究センターの野鼠被害が多い圃場に5種類の台木(JM1、JM7、M.26、マルバカイドウ)を定植し、被害の程度を調査し、野鼠被害に台木品種間再の有無を明らかにする。	果樹
ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地及び粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	岩手大学	H30～32	ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地及び粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	外山畜産
長日要求性素材と遺伝子解析を応用した極晩抽性ハクサイ品種の開発	岩手大学(株)サカタのタネ東北農業研究センター(*)	H30～35	長日要求性素材と遺伝子解析を応用した極晩抽性ハクサイ品種の開発	野菜花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(13) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	30.4.17	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	平成29年度活動報告および平成30年度事業計画について	研究企画室
第2回 いわて産学官連携推進協議会会議	30.10.18	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	リエゾンIマッチングフェアについて	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア	30.11.7	盛岡市 (岩手大学復興記念銀河ホール)	基調講演 リエゾンI研究開発事業課育成資金贈呈企業によるプレゼンテーション	研究企画室

※1 平成30年度リエゾン-Iマッチングフェアでパネル等展示およびプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
イブキジャコウソウで法面を被覆して畦畔管理を省力・軽労化	プロジェクト推進室

6 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
委託プロジェクト研究「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」 大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築 県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	奥州市	江刺区	プロジェクト推進室 (県北作物)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 復旧水田における先端技術導入における先端技術導入による水田営農の高度化に向けた実証研究 難防除雑草(コウキヤガラ)の蔓延防止対策実証	陸前高田市	小友	(生産環境) (農業経営) (技術部作物)
施肥合:いわて純情米総合実証展示圃	奥州市 奥州市 北上市 花巻市 花巻市 雫石町 盛岡市 八幡平市 九戸村	水沢 胆沢 宮野目 鍋倉 玉山 平笠	技術部 作物
施肥合:大豆資材の施用効果確認	奥州市	江刺	
水稻奨励品種決定現地調査 (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (飼料米) (飼料米)	雫石町 紫波町 岩手町 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 大船渡市 遠野市 山田町 久慈市 二戸市 花巻市 陸前高田市	長山 星山 土川 鍋倉 沢内前郷 江刺区稲瀬 萩荘 日頃市 上郷町 豊間根 夏井 安比 鍋倉 広田	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺区田原 玉山区	
「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」 ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大	北上市	二子	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
りんご育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 滝沢市 奥州市 一関市	金田一 内の沢 元村 江刺区小倉沢 花泉町金沢	技術部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎町	
「革新技術・緊急展開事業(地域戦略プロ)」 各地域に適したりんご早期成園化技術の実証	紫波町 奥州市	長岡 江刺区愛宕	
岩手ワインヒルズ推進事業に係る現地品種比較試験	野田村	根井	
JM7台木利用樹衰弱症状対策試験	奥州市	江刺区鴨沢	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術大系の実証 研究	陸前高田市 奥州市	竹駒 江刺区田原	技術部 野菜花き
リンドウ育種系統の現地適応性試験	奥州市 雫石町 一戸町	衣川 上野 小友	
リンドウ栽培安定化技術の開発 (県育成極早生品種の株養成技術 の開発) リンドウまだら退色症状発生軽減	奥州市	衣川	
食料生産地域再生のための先端技術展開事業 現地実証研究委託 事業 きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研 究	陸前高田市	米崎町	技術部 南部園芸
雨よけトマトにおける新たな施肥基準の策定	紫波町	赤沢	環境部 生産環境
補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌蓄積養分に及 ぼす影響	滝沢市 花巻市	滝沢 石鳥谷滝田 石鳥谷五大堂	
飼料用米新規肥料の施肥効果確認	花巻市	野田	
大豆・水稲の輪作体系における粗粒てんろ石灰の土壌pH矯正 と土づくり肥料効果の確認	奥州市	江刺	
マンガン資材による水稲ごま葉枯れ症抑制効果の検証	陸前高田市	広田	
「銀河のしずく」に適した緩効性肥料の実証	紫波町 住田町	赤沢 下有住	
「金色の風」に適した緩効性肥料の実証	奥州市 一関市	佐倉河 巖美	
復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に 向けた実証研究 地カムラの解消及び地力向上実証	陸前高田市	小友	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
新農薬の効果試験と防除指針作成	①奥州市 ②岩泉町 ③一関市 ④宮古市 ⑤遠野市 ⑥北上町 ⑦紫波町 ⑧西和賀町 ⑨花巻市 ⑩栗原市 ⑪一関市 ⑫奥州市 ⑬八幡平市 ⑭八幡平市 ⑮北上市 ⑯北上市	①江刺、胆沢 ②安家 ③花泉 ④川井 ⑤青笹 ⑥藤根 ⑦二ツ森 ⑧左草 ⑨石鳥谷 ⑩若柳 ⑪弥栄 ⑫衣川 ⑬安代 ⑭西根 ⑮和賀町 ⑯滑田	病理昆虫
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	①軽米町 ②岩手町	①小軽米 ①奥中山	
りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	①八幡平市	①西根	
パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発	岩泉町		畜産研究所 家畜育種
黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期間を含めた飼料給与体系の確立	盛岡市		
性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立	一戸町 滝沢市		
大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した牛群管理技術の確立	一戸町	奥中山	家畜飼養・飼料
外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	①奥州市 ②金ヶ崎町 ③岩泉町	①胆沢 ②和光 ③大牛内	
転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立	①軽米町 ②奥州市 ③宮古市	①小軽米 ②江刺区玉里 ③田代	
フェストロリウム追播技術の確立	①雫石町	七つ森	
耕起困難草地における蹄耕法を活用した草地更新技術の確立	盛岡市	藪川	外山畜産
大規模水田経営における簡易地下水位制御と良質苗・病害虫防除を核とした春まきたまねぎの安定生産技術の開発と実証	花巻市	太田	県北農業研究所 園芸
中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギ新タイプの開発	二戸市	似鳥	
新農薬の効果検定と防除指針作成(ほうれんそう、ウリハムシモドキ)	野田村	野田	
県北部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	二戸市	金田一	県北農業研究所 作物
薬用作物の機械除草体系の確立	軽米町 九戸村	上館 江刺家	
ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	二戸市 盛岡市玉山 九戸村	夏間木 玉山 江刺家	
水稻有望系統の栽培法 めんこもちの栽培法 たわわっこの栽培法	九戸村 軽米町	江刺家 上館	
水稻有望系統の栽培法 めんこもちの栽培法 岩手122号の栽培法	久慈市	夏井	
水稻奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	二戸市 軽米町 久慈市	安比 上館 宇部町	

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)平成30年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	2	0	0	2
2 水稻	2	2	3	0	7
3 畑作物	0	3	0	0	3
4 作業技術	0	0	0	0	0
5 果樹	1	3	0	2	6
6 野菜	0	1	0	0	1
7 花き	1	3	0	4	8
8 生産環境	0	2	0	0	2
9 土壌作物栄養	0	8	0	0	8
10 病虫害制御	0	3	0	0	3
11 乳用牛	0	1	0	0	1
12 肉用牛	1	1	4	3	9
13 中小家畜(豚・鶏)	0	3	0	0	3
14 草地・飼料作物	1	1	0	1	3
15 畜産環境	0	0	0	0	0
16 県北農業振興	0	4	0	2	6
17 震災復興	0	0	0	0	0
[計]	6	37	7	12	62

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

(2)平成30年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	H30-普-01	早生糯水稲「めんこもち」の栽培法	作物(県北)
水稲	H30-普-02	飼料用粳水稲「たわわっこ」の栽培法	作物(県北)
果樹	H30-普-03	ぶどう「シャインマスカット」の短梢栽培における適正着果量	果樹(技術)
花き	H30-普-04	鉢花向け青色リンドウ品種「Bzc-1」の育成	野菜花き
畜産	H30-普-05	品種 耐湿性及び収量性に優れるフェストロリウム早生品種「那系1号」及び中生品種「東北1号」	家畜飼養・飼料
畜産	H30-普-06	黒毛和種県産種雄牛「菊勝久」の作出(現場後代検定法)	種山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	H30-指-01	大規模水田作経営の存立地区における取組実態からみた水路・農道等の保全管理方策	農業経営
農業構造・経営管理	H30-指-02	集落営農組織の課題と法人化に向けた取組方向	農業経営
水稲	H30-指-03	平成30年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術)
水稲	H30-指-04	水稲品種「金色の風」の収量構成要素等	作物(技術)
作物	H30-指-05	フルチアセットメチル乳剤の除草効果と県大豆奨励品種に対する初期薬害	作物(技術)
作物	H30-指-06	平成30年一関遊水地における小麦の冠水被害の実態	作物(技術)
作物	H30-指-07	小麦の融雪期における全量1回追肥法	作物(技術)
水稲	H30-指-08	水稲品種「金色の風」の栄養診断基準の策定	生産環境
水稲	H30-指-09	「金色の風」に適する肥効調節型肥料の配合	生産環境
水稲	H30-指-10	「銀河のしずく」に適する肥効調節型肥料の配合	生産環境
作物	H30-指-11	ダイズ紫斑病の新規防除薬剤の評価(追補)	病理昆虫
土壌作物栄養	H30-指-12	県内水田土壌35年間の施肥管理と化学性の変化	生産環境
土壌作物栄養	H30-指-13	県内畑土壌35年間の有機物施用と化学性の変化	生産環境
作物	H30-指-14	薬用作物(トウキ・センキュウ)におけるレーキ式条間・株間除草機を用いた除草の省力化	作物(県北)
果樹	H30-指-15	りんご「ふじ」着色系統の果実品質	果樹(技術)

分野	成果番号	成果名	担当研究室
果樹	H30-指-16	りんごポット養成フェザー苗育成時におけるかん水の生育向上効果	果樹(技術)
果樹	H30-指-17	りんご鮮度保持剤「1-MCP剤(スマートフレッシュ™)」を利用した「大夢」の貯蔵期間	果樹(技術)
野菜	H30-指-18	トロ箱養液栽培システムにおける養液栽培用肥料の収量性と導入条件	野菜花き
花き	H30-指-19	リンドウ種子の長期貯蔵技術	野菜花き
花き	H30-指-20	リンドウまだら退色症状の発生における品種間差異	野菜花き
花き	H30-指-21	リンドウの定植後ジベレリン処理による生育促進効果	野菜花き
果樹	H30-指-22	りんごにおける補給型施肥基準の検証	生産環境
果樹	H30-指-23	モモシクイガ多発りんご園周辺園地における交信かく乱剤の追加防除効果	病理昆虫
野菜	H30-指-24	ピーマンPMMoV L ⁴ 打破系統(病原型P _{1,2,3,4})の蔓延と推定される伝搬経路	病理昆虫
花き	H30-指-25	リンドウの適正窒素施肥量	生産環境
花き	H30-指-26	リンドウの補給型施肥による生育への影響	生産環境
花き	H30-指-27	リンドウ切り花の出荷時期調整のための低温管理方法	生産環境
花き	H30-指-28	リンドウ切り花のエチレン感受性と品質保持剤の効果	生産環境
野菜	H30-指-29	加工・業務用途向け寒玉系キャベツの栽培法	園芸(県北)
野菜	H30-指-30	春まきタマネギ栽培におけるネギアザミウマ防除対策	園芸(県北)
野菜	H30-指-31	秋まきタマネギ栽培に適する品種と栽培上の留意点	園芸(県北)
畜産	H30-指-32	ホルスタイン種経産牛への性選別精液深部注入における活動量増加持続時間による人工授精牛の選定と授精適期	家畜育種
畜産	H30-指-33	黒毛和種育成期における高蛋白質飼料が発育等成績に及ぼす影響	家畜育種
畜産	H30-指-34	飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期用配合飼料における収益性	家畜育種
畜産	H30-指-35	パークシャー種肥育後期用配合飼料における栄養バランスによる背脂肪厚及び日増体量の推定	家畜育種
畜産	H30-指-36	飼料用米ソフトグレインサイレージ配合飼料の南部かしわへの給与による低コスト生産と美味しさの向上技術(追補)	家畜育種

分野	成果番号	成果名	担当研究室
畜産	H30-指-37	電気牧柵を用いた蹄耕法による草地更新技術	外山畜産

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	H30-行-01	平成31年度水稲奨励品種決定調査予備調査に新たに供試する「岩手137号」「岩手138号」「岩手139号」「岩手140号」	作物(技術)
水稲	H30-行-02	平成31年度水稲奨励品種決定試験調査本調査・現地調査新規供試系統	作物(技術)
水稲	H30-行-03	平成30年度水稲奨励品種決定調査本調査・現地調査結果	作物(技術)
畜産	H30-行-04	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
畜産	H30-行-05	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
畜産	H30-行-06	黒毛和種産肉能力検定(直接法)	種山畜産
畜産	H30-行-07	黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
作物	H30-研-01	レーキ式条間・株間除草機における使用方法の判断指標作成に向けた「引抜抵抗値」の活用	作物(県北)
作物	H30-研-02	平成30年度アワ育成系統	作物(県北)
果樹	H30-研-03	川砂施用によるりんご苗の初期生育促進効果	果樹(技術)
果樹	H30-研-04	りんご育成系統「岩手15号」、「岩手16号」、「岩手17号」、「岩手18号」の果実特性	果樹(技術)
花き	H30-研-05	リンドウの主茎節位に着目した株の初期形態形成とジベレリン処理の影響	野菜花き
花き	H30-研-06	リンドウの花芽分化と側芽発生には早晩性によって関連がみられる	野菜花き
花き	H30-研-07	リンドウ花卉の着色異常(日焼け花)発生実態と遺伝的素因が及ぼす影響	野菜花き
花き	H30-研-08	リンドウ新栽培法の検討	野菜花き
畜産	H30-研-09	人工哺育を行った日本短角種去勢牛の育成期における飼料給与例	外山畜産
畜産	H30-研-10	日本短角種の双子生産率に関連する遺伝的要因の解析	家畜育種
畜産	H30-研-11	反芻モニタリングと補助飼料を活用したケトosis発症予防技術	家畜飼養・飼料
畜産	H30-研-12	黒毛和種における枝肉形質が価格に及ぼす効果	種山畜産

2 追跡評価

○平成30年度追跡評価の概要

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成27年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1,147成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

A:(現在でも)有効

B:目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)

C:後年度の成果に反映(更新)

D:無効(Bの概念に含まないもの)

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

a 平成27年度に公表した「普及」区分の研究成果(6成果)

b 平成27年度に公表した「指導」区分の研究成果(19成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施

① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)

※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象

② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)

③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

① 評価調書による調査:成果毎に調査対象者*1を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

a 評価調書による調査:成果毎に調査対象者を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

(3) 追跡評価の結果

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	925
B	176
C	41
D	5
合計	1147

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 「普及区分」

a 自己評価

該当なし

※平成27年度に公表した普及区分の6成果のうち、次の2成果は自己評価の対象であるが、普及見込面積の目標が種子供給開始(H29)から5年後の栽培面積に設定されているため、平成33年度に追跡評価を行うこととする。

課題名	農家への普及状況	成果活用による効果
(H27-普-04)8月上中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてEB-2号」の育成	—	—
(H27-普-05)8月中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてMB-2号」の育成	—	—

注1) 農家への普及状況 A(目標の75%)、B(目標の50%から75%)、C(25%から50%)、D(25%未満)、-(目標値なし)

注2) 成果活用による効果 A(大いにあった)、B(あった)、C(あまりなかった)、D(なかった)

b 生産者による評価

課題名	成果の活用
水稲新品種「銀河のしずく」の高品質・良食味米安定栽培法	2.3
りんご「大夢」の収穫適期判断	2.0
アスパラガス伏せ込み促成栽培における高温を利用した休眠打破技術	1.0
生育速度の速い草種を併用した放牧地の春期草地更新技術	1.7

注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。

(イ) 「指導区分」

b 農業改良普及センターによる評価

課題名	指導効果等の向上
中小区画ほ場における小型汎用コンバインの導入条件	2.3
超強力小麦「銀河のちから」の高品質安定栽培法	3.7
平成27年岩手県産水稲の生育経過の特徴と生育・品質に影響した要因の解析	3.0
岩手県の津波被災農地における水田雑草「コウキヤガラ」発生の確認	3.0
大豆の補給型施肥による生育および収量	1.7
津波被災後の復旧水田における水稲の生育及び収量向上事例	3.0
アワ品種「ゆいこがね」の収穫適期	2.3
りんご品種「トキ」の栽培特性	4.0
ヒオモン水溶剤によるりんご「ふじ」の裂果軽減効果と使用上の留意点	3.0
ぶどう短梢栽培用平棚における「エーデルロツソ」の仕立法	2.5
ブルーベリー栽培における有機質資材の利用法(追補)	2.3
りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法(追補)	3.3
ミニマトの露地疎植栽培に適した誘引法(追補)	3.0
地域木質資源を用いた木質製園芸ハウス	3.0
たまねぎ春まき作型におけるアザミウマ被害実態と有効薬剤	3.7
春期牧草播種技術と秋の追播による植生改善技術	3.5
耕起困難及び耕起不能採草地における利用再開後の施肥管理	3.3
希塩酸抽出法によるイネ科主体乾草のミネラル測定	3.5
県内パークシャー種豚能力改良システムの構築	2.5
パーコール濃度15%のPBS溶液による胚の品質評価	0.0

注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	畜産飼料作	野菜花き	果樹	計
研究成果数	1	3	1	5

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
畜産飼料作	「日本短角種」親子牛群を用いた蹄耕法による草地更新技術	研究	外山畜産
野菜花き	リンドウ種子は冷凍貯蔵により10年間発芽率を維持できる	普及	野菜花き
	リンドウ花卉の着色異常の発生には遺伝的素因が大きく関与している	研究	野菜花き
	エゾリンドウにおける越冬芽数と塊茎数との関係	研究	野菜花き
果樹	リンゴポット養成フェザー苗育成時におけるかん水の生育向上効果	研究	果樹

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
企画管理部			
経営 30 No.1	平成30年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	31.3	113
経営 30 No.2	「岩手県における集落営農組織の現状と課題－法人化及び園芸導入についてのアンケート分析から－	31.3	20
技術部			
技術 29 No.2	平成29年度 果樹関係試験成績書(技術部果樹研究室)	31.3	110
技術 30 No.2	平成30年度 水稻関係除草剤試験成績書(技術部作物研究室)	30.10	82
技術 30 No.3	平成27年度 作物研究室試験成績書(栽培・種子チーム)	31.3	203
技術 30 No.4	平成28年度 作物研究室試験成績書(栽培・種子チーム)	31.3	202
技術 30 No.5	平成29年度 作物研究室試験成績書(栽培・種子チーム)	31.3	206
技術 30 No.1	平成26～29年度 花き品種育成試験成績書(野菜花き研究室)	30.6	169
技術 28 No.1	平成28年度 野菜試験成績書(野菜花き研究室)	31.3	73
技術 29 No.1	平成29年度 野菜試験成績書(野菜花き研究室)	31.3	87
技術 30 No.1	平成30年度 野菜試験成績書(野菜花き研究室)	31.3	63
	寒冷地中小規模施設における複合環境制御導入の手引き	31.3	83
環境部			
環境 30 No.1	平成30年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	30.4	300
病害虫防除部			
	平成30年度 植物防疫事業年報	31.3	191
畜産研究所			
畜産 30 No.1	平成30年度試験成績書(畜産研究所)	31.3	120
県北農業研究所			
県北 30 No.1	平成30年度 試験研究成績書(園芸研究室)	31.3	188
県北 30 No.2	平成30年度 試験研究成績書(作物研究室)	31.3	215

2 研究レポート(平成30年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
919	早生糯水稻「めんこもち」の期待生育量と栽培のポイント	作物(県北)
920	飼料用米「たわわっこ」の多収・低コスト栽培のポイント	作物(県北)
921	ぶどう「シャインマスカット」の短梢栽培における適正着果量	果樹(技術)
922	鉢花向け青色リンドウ「Bzc-1」	野菜花き
923	湿害に強い牧草フェストロリウム品種「那系1号」及び「東北1号」	家畜飼養・飼料
924	黒毛和種県産種雄牛「菊勝久」の作出	種山畜産
925	県内の取組事例からみた水路・農道等の保全管理方策	農業経営
926	集落営農組織の課題と法人化に向けた取組方向	農業経営
927	水稻品種「金色の風」の収量構成要素等を明らかにしました	作物(技術)
928	フルチアセットメチル乳剤の除草効果と大豆の初期薬害	作物(技術)
929	平成30年一関遊水地における小麦の浸水・冠水被害の実態	作物(技術)
930	小麦の省力的な追肥技術	作物(技術)
931	水稻品種「金色の風」の栄養診断基準	生産環境
932	「金色の風」に適する肥効調節型肥料	生産環境
933	「銀河のしずく」に適する肥効調節型肥料	生産環境
934	ダイズ紫斑病に効果のある新規薬剤の使用法(追補)	病理昆虫
935	県内水田の施肥管理と土壤養分の変化～35年間の調査結果から～	生産環境
936	県内畑土壤35年間の変化 ～畑土壤の養分含量の実態～	生産環境
937	トウキ・センキュウにおける除草機を用いた除草の省力化	作物(県北)
938	糖度が高く、蜜入りが良好な「ふじ」着色系統	果樹(技術)
939	りんごポット養成フェザー苗+かん水技術で早期成園化!	果樹(技術)
940	りんご鮮度保持剤を使用した「大夢」の貯蔵期間	果樹(技術)
941	「ういずOne」での養液栽培用肥料による夏秋トマトの収量性と肥料選択の基準	野菜花き
942	リンドウ種子は冷凍により長期貯蔵できます	野菜花き
943	リンドウまだら退色症状の発生における品種間差異	野菜花き
944	リンドウの定植後ジベレリン処理による生育促進効果	野菜花き
945	りんごにおける補給型施肥基準の検証	生産環境

No.	試験研究成果名	担当研究室
946	モモシクイガ多発りんご園周辺園地における交信かく乱剤の追加防除の評価	病理昆虫
947	防除法がない新型のピーマンPMMoV (トウガラシマイルドモットルウイルス)に注意	病理昆虫
948	リンドウの適正窒素施肥量	生産環境
949	リンドウの補給型施肥による生育への影響	生産環境
950	リンドウ切り花の出荷時期調整のための低温管理方法	生産環境
951	リンドウ切り花のエチレン感受性と品質保持剤の効果	生産環境
952	加工・業務用途向け寒玉系キャベツの栽培法	園芸(県北)
953	春まきタマネギ栽培におけるネギアザミウマ防除対策	園芸(県北)
954	秋まきタマネギ栽培に適する品種と栽培上の留意点	園芸(県北)
955	ホルスタイン種経産牛への性選別精液深部注入における活動量増加持続時間による人工授精牛の選定と授精適期	家畜育種
956	黒毛和種去勢牛の育成期における高蛋白質飼料給与が発育成績に及ぼす影響	家畜育種
957	飼料用米を活用したバークシャー種肥育後期用配合飼料における収益性	家畜育種
958	バークシャー種肥育後期用配合飼料の穀類全量飼料用米代替における栄養バランスによる日増体量及び背脂肪厚の推定	家畜育種
959	飼料用米ソフトグレインサイレージ配合飼料の南部かしわへの給与による低コスト生産と美味しさの向上技術	家畜育種
960	電気牧柵を用いた蹄耕法による草地更新技術	外山畜産

3 岩手県農業研究センター研究報告

(平成30年度:発行なし)

4 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

東北農業研究

○吉田 徳子 岩手県における集落営農組織の現状と課題-集落営農組織の法人化はなぜ進まないのか- 東北農業研究 71:101-102
○大野 浩1・川守田 真紀2・佐々木 真人1 リンゴJM台木利用‘ふじ’フェザー苗の初期生育の比較 1岩手県農業研究センター、2県北広域振興局農政部 東北農業研究 70:55-56
○仲條眞介1、菅原浩視2、小籾琢磨1、阿部早奈恵3、太田裕貴4、小綿寿志5、佐々木力2、阿部陽6、野々上慈徳7、寺内良平6、高木宏樹7 1岩手県農業研究センター・2奥州農業改良普及センター・3元岩手県農業研究センター、4県南広域振興局花巻農林振興センター、5二戸農業改良普及センター、6岩手生物工学研究センター、7元岩手生物工学研究センター 4種の遺伝子領域を集積した水稻品種「岩手117号」の育成 東北農業研究 71:1-2
○藤岡智明1・佐々木力2・菅原浩視2・小綿寿志5・仲條眞介1・小籾琢磨1・太田裕貴4・阿部陽6・野々上慈徳7・阿部早奈恵3・寺内良平6・神崎洋之6・松村英生7 1岩手県農業研究センター・2奥州農業改良普及センター・3元岩手県農業研究センター、4県南広域振興局花巻農林振興センター、5二戸農業改良普及センター、6岩手生物工学研究センター、7元岩手生物工学研究センター 食味に優れるやや低アミロースの水稻品種「金色の風」の育成 東北農業研究 71:3-4
○小籾琢磨1・佐々木力2・菅原浩視2・小綿寿志5・小田中温美1・仲條眞介1・太田裕貴4・藤岡智明1・野々上慈徳3・阿部早奈恵3・太田久稔6・山口誠之7・福嶋陽8・梶亮太9・中込弘二10 1岩手県農業研究センター・2奥州農業改良普及センター・3元岩手県農業研究センター、4県南広域振興局花巻農林振興センター、5二戸農業改良普及センター、6農研機構東北農業研究センター、7農研機構次世代作物開発研究センター、8農研機構食農ビジネス推進センター、9農研機構北海道農業研究センター、10農研機構西日本農業研究センター “かなり早生” 熟期で耐倒伏性に優れた水稻品種「たわわっこ」の育成 東北農業研究 71:5-6
○吉田 登1・細川 泰子1 1岩手県農業研究センター畜産研究所 国産穀類を主体的に給与した南部かしわの発育及び産肉成績 東北農業研究 71:43-44

日本作物学会東北支部報

○小籾 琢磨1・太田 久稔2・大久保 さゆり3・小田中 温美1 (1岩手県農業研究センター・2農研機構東北農業研究センター大山研究拠点・3農研機構東北農業研究センター) 岩手県沿岸南部地域の半島における水稻の生育特性について 日本作物学会東北支部報61:1-4

日本植物病理学会報(英文誌)

S. Nekoduka, K. Tanaka*1, T. Sano*1(2018) Epidemiology of apple bitter rot caused by <i>Colletotrichum acutatum sensu lato</i> Journal of General Plant Pathology 84:262-271 *1弘前大学
S. Nekoduka, T. Sano*1(2018) Symptom development, in planta distribution, and transmission of <i>Impatiens necrotic spot virus</i> in gentian: evidence for survival in roots and winter buds Journal of General Plant Pathology 84:279-283 *1弘前大学

北日本病害虫研究会報

<p>岩館康哉・佐々木陽菜・菅広和*1・千田裕*2・館田知佳*3・藤崎恒喜*3</p> <p>薬用植物オクトリカプトに発生した白絹病</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:55-59</p> <p>*1 岩手県農林水産部, *2 岩手県八幡平農業改良普及センター岩手町駐在, *3 (公財)岩手生物工学研究センター</p>
<p>中村太紀・薄衣麻里子*1・及川耳呂*1(2017)・菅広和*2</p> <p>岩手県におけるナン黒星病菌によるニホンナシえき花芽りん編への感染時期に関する考察</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:60-62</p> <p>*1 岩手県一関農業改良普及センター, *2 岩手県農林水産部</p>
<p>松橋伊織*1(2018)</p> <p>施設栽培トマトの主要病害に対する赤色防虫ネットの侵入抑制効果</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:140-145</p> <p>*1 県南広域振興局農政部</p>
<p>松橋伊織*1(2018)・大友令史*2(2018)</p> <p>畑ワサビの害虫ワサビリイロサルゾウムシに対する各種粒剤の防除効果</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:154-158</p> <p>*1 岩手県奥州農業改良普及センター, *2 岩手県一関農林振興センター</p>
<p>大友令史*1(2018)・菊地英樹*2・新山徳光*3</p> <p>ホップにおけるアサトビハムシ <i>Psylliodes attenuata</i> の被害と薬剤の防除効果</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:195-198</p> <p>*1 一関農林振興センター, *2 秋田県農業試験場</p>
<p>岩館康哉・佐々木陽菜・細川健*1・山田修*2</p> <p>ナス果実小陥没症の当面の被害防止対策と推定される発生要因</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:209</p> <p>*1 岩手県一関農業改良普及センター, *2 岩手県中央農業改良普及センター</p>
<p>加藤真城・大友令史(2017)、羽田厚*1(2018)</p> <p>リンゴのモモシクイガを対象とした輸出対応型防除体系の実証</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:216</p> <p>*1 岩手県県南広域振興局花巻農林振興センター</p>
<p>猫塚修一・名久井一樹・廣田志紀子*1(2018)</p> <p>リンゴ褐斑病の発生に関するリスク要因分析</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:72-76</p> <p>*1 農業普及技術課</p>
<p>田村恵里佳*1・猫塚修一・高田 真*2(2018)</p> <p>隔年防除の取組地域における水稻初期害虫発生推移</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:95-97</p> <p>*1 盛岡農業改良普及センター, *2 一関農林振興センター</p>
<p>横田 啓・熊谷 初美・佐々木 勝*1</p> <p>ホウレンソウ向け新肥料のホウレンソウケナガコナダニ被害抑制効果</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:173-176</p> <p>*1くみあい肥料</p>
<p>松橋 伊織*1・大友 令史*2・横田 啓・熊谷 初美</p> <p>ジアミド抵抗性のコナガ个体群に対するセルトレイ灌注剤の防除効果</p> <p>北日本病害虫研究会報 69:146-153</p> <p>*1 奥州農業改良普及センター, *2 一関農林振興センター</p>

(2) 学会発表(発表要旨)

日本育種学会(第135回講演会:2019.3.16~3.17)

○仲條 眞介・阿部 陽・藤岡智明・寺内良平(2019) 初期伸長性QTLと半矮性遺伝子の集積が水稻形態に与える影響 育種学研究 21(別1):32
○吉津 祐貴 ¹ , 高草木 雅人 ¹ , 阿部 陽 ² , 高木 宏樹 ^{2,3} , 小林 光智衣 ² , 長谷川 聡 ¹ , 寺内 良平 ^{2,4} QTL-seq解析によるアワ(<i>Setaria italica</i>)の草丈に関する遺伝子領域の同定 育種学研究 21(別1):20 1 岩手農研セ県北研, 2 岩手生工研セ, 3 石川県大, 4 京都大

園芸学会東北支部(平成30年度大会:2018.8.21~22開催・福島県 コラッセ福島 研究発表要旨:2018.8月発行)

○阿部 弘 ¹ ・高橋秀行 ² リンドウまだら退色症状の発症要因 2017.園学研(Hort. Res. (Japan)). 16(別2): 323. 1岩手農研セ, 2(公財)岩手生工研セ, 3琉球大学

園芸学会(平成30年度秋季大会:2018.9.22~24開催・鹿児島大学 園芸学研究. 17(別2):2018.9月発行)

○菊地淑子 宿根草リンドウのリン酸減肥栽培 2018.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 17(別2): 323.
○横田 啓・熊谷 初美・福田 拓斗・荻内 謙吾 岩手県における春まきタマネギ栽培の全自動移植機に適する育苗培土への被覆肥料添加割合 2018.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 17(別2): 231.

東北農業試験研究第61回発表会(2018.7.31 開催・福島市)・東北農業研究(第71号)

○吉田 徳子 岩手県における集落営農組織の現状と課題-集落営農組織の法人化はなぜ進まないのか- 東北農業研究 71:101-102
○大野 浩 ¹ ・川守田 真紀 ² ・佐々木 真人 ¹ リンゴJM台木利用‘ふじ’フェザー苗の初期生育の比較 1岩手県農業研究センター、2県北広域振興局農政部 東北農業研究 71:55-56
○仲條眞介 ¹ 、菅原浩視 ² 、小館琢磨 ¹ 、阿部早奈恵 ³ 、太田裕貴 ⁴ 、小綿寿志 ⁵ 、佐々木力 ² 、阿部陽 ⁶ 、野々上慈徳 ⁷ 、寺内良平 ⁶ 、高木宏樹 ⁷ 1岩手県農業研究センター・2奥州農業改良普及センター・3元岩手県農業研究センター、4県南広域振興局花巻農林振興センター、5二戸農業改良普及センター、6岩手生物工学研究センター、7元岩手生物工学研究センター 4種の遺伝子領域を集積した水稻品種「岩手117号」の育成 東北農業研究 71:1-2
○藤岡智明 ¹ ・佐々木力 ² ・菅原浩視 ² ・小綿寿志 ⁵ ・仲條眞介 ¹ ・小館琢磨 ¹ ・太田裕貴 ⁴ ・阿部陽 ⁶ ・野々上慈徳 ⁷ ・阿部早奈恵 ³ ・寺内良平 ⁶ ・神崎洋之 ⁶ ・松村英生 ⁷ 1岩手県農業研究センター・2奥州農業改良普及センター・3元岩手県農業研究センター、4県南広域振興局花巻農林振興センター、5二戸農業改良普及センター、6岩手生物工学研究センター、7元岩手生物工学研究センター 食味に優れるやや低アミロースの水稻品種「金色の風」の育成 東北農業研究 71:3-4
○小館琢磨 ¹ ・佐々木力 ² ・菅原浩視 ² ・小綿寿志 ⁵ ・小田中温美 ¹ ・仲條眞介 ¹ ・太田裕貴 ⁴ ・藤岡智明 ¹ ・野々上慈徳 ³ ・阿部早奈恵 ³ ・太田久稔 ⁶ ・山口誠之 ⁷ ・福寫陽 ⁸ ・梶亮太 ⁹ ・中込弘二 ¹⁰ 1岩手県農業研究センター・2奥州農業改良普及センター・3元岩手県農業研究センター、4県南広域振興局花巻農林振興センター、5二戸農業改良普及センター、6農研機構東北農業研究センター、7農研機構次世代作物開発研究センター、8農研機構食農ビジネス推進センター、9農研機構北海道農業研究センター、10農研機構西日本農業研究センター “かなり早生”熟期で耐倒伏性に優れた水稻品種「岩手122号」の育成 東北農業研究 71:5-6
○吉田 登・細川 泰子 国産穀類を主体的に給与した南部かしわの発育及び産肉成績 東北農業研究 71:43-44

日本作物学会 第247回講演会(2019.3.28～29 開催・筑波大学)

○藤岡智明1・阿部陽2・仲條真介1 (1岩手県農業研究センター, 2岩手生物工学研究センター) 農業形質に関する遺伝子領域を導入した水稻「ひとめぼれ」準同質遺伝子系統の特性比較 日本作物学会第247回講演会要旨集: 97.
○小館 琢磨 出穂後の気孔コンダクタンスを用いた水稻多収系統の選抜方法の検討 日本作物学会第247回講演会要旨集: 66.
○下川原 智・吉津 祐樹・小館 琢磨・長谷川 聡・高橋 好範 岩手県北部における飼料用水稻品種「たわわっこ」の多収・安定生産のための施肥法及び立毛乾燥技術の適応性の検討 日本作物学会第247回講演会要旨集: 8.

園芸学会(平成31年度春季大会:2019.3.23～24開催・明治大学 園芸学研究. 18(別1): 2019.3月発行)

○浅川知則1・高橋藍1・佐々木真人1 リンゴポット養成フェザー苗育成時におけるかん水の生育向上効果 2019.園学研(Hort. Res. (Japan)). 18(別1): 74. 1岩手農研セ
○大野浩1・佐々木真人1 川砂施用によるリンゴ樹の初期生育促進効果 2019.園学研(Hort. Res. (Japan)). 18(別1): 75. 1岩手農研セ
○阿部 弘1,2・西島隆明2,3 主茎節位に依存したリンドウ1年生株の形態形成 2019.園学研(Hort. Res. (Japan)). 18(別1): 196. 1岩手農研セ, 2筑波大院生命環境科学研究科, 3農研機構・野菜花き研究部門
○吉田 泰1・藤尾拓也1・田代勇樹1・佐藤春菜1・川戸善徳1 キュウリ無加温抑制栽培における換気温度に合わせた炭酸ガス施用による収量への影響 2019.園学研(Hort. Res. (Japan)). 18(別1): 349. 1岩手農研セ
○細越翔太・横田啓 岩手県のタマネギ初冬どり新作型における育苗条件の違いがセット球の大きさならびに収量に及ぼす影響 2019.園学研(Hort. Res. (Japan)). 18(別1): 361.
○熊谷初美・横田 啓・荻内謙吾 岩手県北地域の春まきタマネギ栽培における品種の選定 2019.園学研(Hort. Res. (Japan)). 18(別1): 360.

平成30年度 日本土壌肥料学会東北支部大会(2018.7.3～4開催・青森市・ねぶたの家ワ・ラッセ)

○白木 正俊・数藤慶亮*1 補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌の蓄積養分量に及ぼす影響 *1 大船渡普及セ
--

第72回 北日本病害虫研究発表会 (2019.2.21～22開催・盛岡市 北日本病害虫研究会報. 70:印刷中)

○中野央子 直播水稻におけるイネミズゾウムシ成虫加害の検討
○佐々木陽菜 ダイズ紫斑病に対する各種SDHI剤の防除効果
○岩館 康哉・佐々木陽菜 ナス褐色斑点病に対する各種薬剤の防除効果
○中村太紀 岩手県におけるリンゴ急性衰弱症の発生実態と抑制法の検討
○猫塚修一*1・名久井一樹*1・中村太紀・遠藤歩美*1 岩手県におけるリンゴ黒星病の近年の発生要因 *1 岩手県病害虫防除所
佐藤美和子・羽田 厚*1・鈴木敏男*2 有効積算温度を用いたリンドウホソハマキの防除開始時期の予測 *1 花巻農林振興センター、*2 岩手県植物防疫協会
○横田 啓・熊谷 初美・福田 拓斗・荻内 謙吾 春まきタマネギ栽培におけるネギアザミウマ防除対策 1 一関普及セ
○永坂 厚1・横田 啓・上杉 龍士1・遠 瑞枝1 春まきタマネギ栽培におけるネギアザミウマ防除対策薬剤防除が細菌性のりん茎腐敗症の発生程度に与える影響 1 農研機構東北農研

平成30年度(第54回)日本植物病理学会東北支部会 (2018.9.27～28開催・山形市)

○岩館 康哉・佐々木陽菜 転炉スラグを用いた土壌pH矯正と高接ぎ木の併用によるトマト青枯病の被害軽減 日本植物病理学会報 85(1):40(講要)
○猫塚修一*1・名久井一樹*1・中村太紀・遠藤歩美*1 岩手県内のリンゴ黒星病多発園地における発生特徴 日本植物病理学会報 85(1):42(講要)

平成31年度日本植物病理学会大会 (2019.3.18～20開催・つくば市)

○岩館 康哉・佐々木陽菜 ナス果実の小陥没症とナス褐色斑点病の関係
○中村太紀 キク茎えそ病が発生した輪ギク栽培圃場で確認されたリンドウのCSNVによるえそ輪紋症状
猫塚修一・佐藤美和子(2019) 露地夏秋キュウリに発生する褐斑病のリスク要因分析
○遠 瑞枝1・上杉 龍士1・横田 啓 ネギアザミウマ食害痕がBurkholderia cepacia complexによるタマネギ腐敗病におよぼす影響について 1 農研機構東北農研

第68回東北畜産学会秋田大会 (2018.8.30～31 開催・秋田市にぎわい交流館AU)

○昆野 勝1・細川泰子1 ホルスタイン種経産牛における性選別精液の受胎率向上のための人工授精牛の選定指標(乳蛋白質率およびMUN) 東北畜産学会報 Vol.68.No.2.35 1岩手畜研

第110回日本養豚学会 (2019.3.12～13・麻布大学)

○高杉 亘・細川泰子 パークシャ種肥育後期における粳米および玄米の混合給与が発育、肉質及び収益性に及ぼす影響

農業情報学会2018年大会(2018.5.16~17開催・東京大学弥生講堂)

○前山 薫・佐藤 正衛・高橋 優恵・鈴木 明日香・南石 晃明
経営支援に向けた地域版農業技術体系データベースの構築と評価
1農研機構北海道農研、九州大学

日本植物細胞分子生物学会(第36回大会:2018.8.26~28開催・金沢商工会議所会館、石川県文教会館)

○西原昌宏1・渡辺藍子1・阿部弘2・小田島雅2・小澤傑2・川村浩美3・川戸善徳2
リンドウの八重咲き育種交配集団に見られた斑入り変異体の解析
1岩手生工研、2岩手農研セ、3宮古普及セ

第12回国際植物分子生物会議(IPMB2018)、Montpellier,France,2018.8.5~8

○西原昌宏1・渡辺藍子1・後藤史奈1・根本圭一郎1・高橋秀行1・川戸善徳2・日影孝志3
Application of molecular breeding for development of novel floral traits in Japanese gentians.
1岩手生工研、2岩手農研セ、3八幡平花き開発セ

第6回生態と防除研究会(平成30年12月17~18日、津市)

猫塚修一(2019)
リンゴ黒星病の防除対策の構築

第125回日本畜産学会大会(2019.3.27~30・麻布大学)

○羽田雅紀1・高畑博志1・熊谷光洋1・佐々木修2
岩手県内における黒毛和種の経済的評価に基づく遺伝的改良量の推定
1岩手畜研,2農研機構畜産研究部門

2019年度日本草地学会広島大会(2019.3.25~27・広島大学)

○高村聡美
岩手県の転作田におけるフェストロリウムの適応性

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

畜産技術

吉田 力
硬盤破碎と表層攪拌を組み合わせれば、プラウ耕と同じように草地更新ができる
(公社)畜産技術協会 平成31年2月1日 765号

(2) 月刊「農業普及」(平成30年4月号～平成31年3月号)

4月号	特集 食料生産地域再生のための先端技術(先端プロ)
長澤 睦	「被災地の復興に向けた技術開発の取り組み」
吉田 宏	「中小区画土地利用型営農技術の実証研究 省力・低コスト技術実証と加工品開発」
有馬 宏	「中山間地域における施設園芸の実証研究 木質資源を有効活用した取り組み」
大野 浩他	「ブランド化を促進する果実の生産・加工技術実証研究 リンゴ・ユズ・ブドウの早期成園化と加工品開発で復興をあとおし」
松浦 拓也 他	「ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究 果菜類の省力・増収技術で復興をあとおし」
長嶺 達也	農業研究センター試験研究レポート「生食用露地ほうれんそうの栽培法」
長嶺 達也	話題の雑草講座「ほうれんそうの雑草『ゴウシュウアリタソウ』」
澤田 建	らぼ・れたあ「検定も大詰め！期待の種雄牛は!?～平成28年度開始現場後代検定」
5月号	増田 隆晴 農業研究センター試験研究レポート「硬盤破碎と表層攪拌を組み合わせた草地更新技術の確立」
及川 光史	話題の雑草講座「大豆の難防除雑草『帰化アサガオ類』」
飯村 太一	らぼ・れたあ「TMRを活用して黒毛和種育成牛の発育改善に挑戦」
6月号	前山 薫 他 特集 岩手県農業研究センターで開発された新技術
永富 巨人	農業研究センター試験研究レポート「水稻品種『銀河のしずく』の栄養診断基準の策定」
佐藤 真	話題の雑草講座「飼料用とうもろこしの雑草 イチビ」
小野 直毅	らぼ・れたあ「薬用作物生産技術研修会で活発に意見交換」
7月号	加藤 藍 農業研究センター試験研究レポート「りんご『紅いわて(岩手7号)』の特性と着果基準」
田村 和彦	話題の雑草講座「水田の雑草 イヌホタルイ」
羽田 雅紀	らぼ・れたあ「ナイスなバディのニューフェイス！新規基幹種雄牛『辰美継』選抜」
8月号	高草木 雅人 農業研究センター試験研究レポート「キビ品種『ひめこがね』の収穫適期」
鈴木 朋代	特集 冬春期出荷できる新たな品目「ニュータイプのいちご、種子繁殖型品種『よつぼし』」
小野 直毅	話題の雑草講座「難防除雑草『アレチウリ』」
大野 浩	らぼ・れたあ「育てよ、新たなワイナリー 醸造用ぶどう栽培技術フォローアップ講座」
9月号	千葉 彩香 農業研究センター試験研究レポート「四季成り性いちご品種『なつあかり』を用いた2年栽培作型」
関村 真梨歩	話題の雑草講座「ネズミムギ」
佐藤 真	らぼ・れたあ「外来雑草の拡散を防げ！ワルナスビの防除試験を始めました」
10月号	大野 浩 農業研究センター試験研究レポート「ぶどう醸造用品種への垣根仕立て法の導入効果」
高橋 昭喜	特集 排水対策の重要性「春まきたまねぎにおける地下かんがい導入実証試験 土地利用型野菜の転換畑導入の切り札となるか」
高草木 雅人	話題の雑草講座「雑穀の防除技術」
熊谷 初美	らぼ・れたあ「主流は秋から春へ！春まきたまねぎの収穫が始まりました」
11月号	吉田 登 農業研究センター試験研究レポート「トウモロコシ子実・飼料用米SGSを多給した南部かしわの発育及び産肉性」
横田 啓	話題の雑草講座「たまねぎ春まき作型における雑草防除法」
安田 潤平	らぼ・れたあ「黒毛和種肥育期間短縮技術の開発に向けて 3回目試験が始まりました」
12月号	金森 靖 農業研究センター試験研究レポート「乗用型管理機を用いたほうれんそう軽労生産技術体系と大規模経営モデル」
佐藤 真	話題の雑草講座「牧草地の雑草『ワルナスビ』」
佐々木 康仁	らぼ・れたあ「『牛の・牛による・牛のための』放牧地再生へ 蹄耕法による草地更新の様子を紹介します」

月刊農業普及(続き)

1月号	寺田 道一	農業研究センター試験研究レポート「鉄コーティング湛水直播栽培の倒伏を軽減する水管理」
	高草木 雅人	らぼ・れたあ「アワを自脱型コンバインで収穫できるか? 機械収穫に適したアワ新品種開発への挑戦」
2月号	佐藤 真	農業研究センター試験研究レポート「飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立」
	佐々木 陽菜	らぼ・れたあ「岩館康哉主査専門研究員が『若手農林水産研究者表彰』を受賞しました！」
3月号	佐々木 陽菜	農業研究センター試験研究レポート「水稻鉄コーティング湛水直播栽培の病害虫防除」
	高橋 良学	特集 土壌の化学性の改善と土壌診断の活用「本県農地土壌の養分実態と傾向」
	羽田 雅紀	らぼ・れたあ「新規基幹種雄牛『菊勝久』&『平栄福』デビュー！」

(3) 岩手の畜産(平成30年5月号～平成31年3月号)

5月号	増田 隆晴	蹄耕法を取り入れた耕起困難草地における更新技術
	佐藤 真	飼料用トウモロコシ不耕起栽培を活用したアレチウリ防除技術
7月号	熊谷祐宏	SNP情報を利用した黒毛和種の牛ゲノム育種価計算とその精度
9月号	飯村太一	生育速度の速い草種などを用いた放牧地の春期更新・早期利用技術体系の確立
11月号	高村 聡美	除染草地におけるカリ施肥による放射性セシウム低減対策技術の開発
1月号	吉田 登	国産穀類を主体的に給与した南部かしわの発育及び産肉成績
3月号	佐々木 康仁	電気牧柵を用いた蹄耕法による草地更新技術

(4) その他の雑誌等

月刊 現代農業

浅川 知則
庭先ユズの樹高を低くして、ラクラク収穫・収量アップ
2018年12月号

農耕と園芸

大野 浩
鮮度保持剤「1-MCP剤」を利用したリンゴ「シナノゴールド」の長期貯蔵法
農耕と園芸 74(2), 33-36, 誠文堂新光社
長谷川聡、高草木雅人
育種+機械化+商品化 雑穀最前線 岩手県軽米町の取り組み
農耕と園芸, 誠文堂新光社, 第73巻12号36-41

施設と園芸

長澤 睦
「スマート園芸技術研究開発拠点」を開所
施設と園芸, (一社)日本施設園芸協会, 184号(2019冬)

大日本農会会誌 農業

高城 保志
東日本大震災復興に向け研究成果を活かした地域づくり(1)
東日本大震災津波被災地農業の復興に向けた技術開発の取り組み①
農業, (公社)大日本農会, 平成30年12月号
高城 保志
東日本大震災復興に向け研究成果を活かした地域づくり(4)
東日本大震災津波被災地農業の復興に向けた技術開発の取り組み②
農業, (公社)大日本農会, 平成31年3月号

トランヴェール

長谷川聡、高草木雅人
“食”再発見、岩手の旅 「もち」と「雑穀」2つの食の物語
トランヴェール, JR東日本, 2019-3月号

肉牛ジャーナル

種山畜産研究室
全国種雄牛紹介ポスター「菊勝久」「花安勝」「花金幸」
平成31年1月号

農業日誌

高村 聡美
転作田を活用した粗飼料増産に向けて フェストロリウムの適応性実証試験
農林統計協会 平成30年11月発行

家畜人工授精

細川 泰子
正常胚率・受胎率向上のための飼料給与プログラムと血液検査指標値
(一社)日本家畜人工授精師協会 2018年7月号

デーリージャパン

昆野 勝
乳蛋白質%・MUNとX精液受胎率
デーリージャパン社 2019年2月号

(5) ホームページ掲載

農業のポータルサイト/みんなの農業広場 <https://www.jeinou.com/benri/others/index.html>

長谷川 聡
みんなの農業広場/農作業便利帖/雑穀・山菜・その他編
(一社)全国農業改良普及支援協会、(株)クボタ

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
プロジェクト推進室			
	のり面にイブキジャコウソウ 30ha経営 管理3割減	日本農業新聞	30.4.18
	穂ばらみ期 落水 水稲鉄コーティング直播 倒伏防止に効果	日本農業新聞	31.1.11
企画管理部			
研究企画室			
○農業科学博物館			
	昔の肥やしと使い方 農業科学博物館	週刊きたかみ	30.5.17
	昔ながらの施肥法紹介 農業科学博物館企画展 おけなど用具40点	岩手日日新聞	30.5.17
	そばを作って食べてみよう！募集情報掲載	週刊きたかみ	30.7.12
	「絹を生む虫“おカイコさん”」企画展案内	岩手日日新聞	30.8.2
	そばを作って食べてみよう！募集情報掲載	週刊きたかみ	30.8.2
	「絹を生む虫“おカイコさん”」展 繭作りの様子も紹介	岩手日日新聞	30.8.10
	“おカイコさん”再び脚光 北上で企画展	朝日新聞	30.8.15
	親子がそばの収穫体験	岩手日日新聞	30.10.17
	そば打ち学習仕上げ 農業科学博物館親子体験	岩手日日新聞	30.11.5
	搾油、蠟作り照会 農業科学博物館で企画展	岩手日日新聞	30.11.10
	しめ飾り親子で作ろう 16日、体験学習 農業科学博物館	岩手日日新聞	30.12.4
	親子でしめ飾り作り	岩手日日新聞	30.12.17
	自らそば打ち 感謝していただきます	週刊きたかみ	30.12.20
	「まゆ」から「糸を繰る」	週刊きたかみ	31.1.31
	養蚕・製糸にスポット 農業科学博物館	岩手日日新聞	31.2.22
	博物館特集に掲載	あんふあん東北版	31.3月号
技術部			
作物研究室			
	岩手122号名称「たわわっこ」本県独自の飼料用米	岩手日報	30.8.25
	気候変動時代 対応する技術 耐冷性の水稲 岩手発の独自育成種 良食味、作業分散向き多収	日本農業新聞(地方版)	31.1.18
果樹研究室			
	ブドウ生産 いろは学ぶ(醸造用栽培県講座開講)	岩手日報	30.4.18
	岩手ワインで勝負(県、担い手育成に本腰 ブドウ栽培、経営、講座で指南)	河北新報	30.4.26
	地元で栽培→醸造 岩手で醸造所急増(「釜石ワイン」お目見え)	日本農業新聞(地方版)	30.5.2
	リンゴ輸出に弾み(JAいわて中央予冷施設完成 鮮度保持の処理能力増強 今年度4カ国へ40トン)	日本農業新聞(地方版)	30.7.25
	ブドウ 津波からの再生(「ザ・リアス・ワイン」[陸前高田市] 再び出た芽、百年企業に勇気)	朝日新聞(地方版)	30.8.23
	紅いわて最高9万円(県オリジナルリンゴ盛岡で初競り)	岩手日報	30.9.21
	ニュースフラッシュ(北上で純情りんごコンテスト)	岩手日報	30.10.19
	ブドウ農家 じわり増加(花巻・大迫 栽培面積に復調の兆し 市が土地取得用件を緩和 就農者ワイン醸造も計画)	河北新報	30.10.30
	「北限のゆず」立冬に色づく(陸前高田で収穫)	朝日新聞(地方版)	30.11.8
	県産リンゴ カナダへ出荷(岩手中央農協 来月末から本格化)	岩手日報	30.11.23
	リンゴ 2年生フェザー苗定植(初年度収穫が可能 4年で慣行4倍、1.6トン 岩手県)	日本農業新聞(地方版)	30.11.23
	早期成園、省力化、雪害対策にも(果実高品質化、多収も リンゴジョイント栽培 各県の動き)	日本農業新聞(全国版)	30.12.28
	活況 日本ワイン(岩手県ワイン生産アカデミー 20年に生産量753キロリットルへ 新規者基礎から支援)	日本農業新聞(地方版)	31.1.3
	知名度抜群 注目的(岩手県陸前高田市神田葡萄園「シャインマスカット」使用 高価格設定も販売好調)	日本農業新聞(地方版)	31.1.3

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
野菜花き研究室			
	可販果収量24トン 環境制御で養液栽培 夏秋ミニトマト 岩手県が普及へ	日本農業新聞(地方版)	30.4.20
	転作田の野菜栽培へ理解 花巻で県 農業者に研修会	岩手日報	30.8.8
	色鮮やかリンドウ 需要期を控え出荷ピーク 新品種で生産維持へ(胆江産)	胆江日日	30.8.9
	灌水同時施肥システム 岩手県農業研究センターと茨城大が開発 自作で収量増に効果	農業共済新聞(全国版)	30.9.5
	スマート園芸へ拠点 北上の県農業研究センター内	岩手日報	30.9.7
	通年雇用のモデル構築へ 県農研センター スマート園芸の拠点整備	岩手日日新聞	30.9.7
	県産花 美しさ満開 力作そろい会場彩る 北上・いわてコンテスト	岩手日報	30.9.9
	達人列伝66 二子さといも 300年の伝統・種芋、守る 栽培、貯蔵、後進につなぐ	日本農業新聞(地方版)	30.10.15
	スマートにトマト収穫5倍 CO ₂ や湿度も制御 通年栽培 北上・県農業研究センター 最適な環境に導入に補助も	朝日新聞(地方版)	30.11.20
	リンドウの育成法解説 県いわき農林事務所 栽培セミナー 取り組み状況報告	福島民報	30.12.24
	リンドウ生産力強化へ いわき 栽培農家らセミナー	福島民友	30.12.27
	特産 北上 二子さといも GI登録でアピール「新時代」 ルーツ	岩手日日新聞	31.1.1
南部園芸研究室			
	気仙 イチゴの里に 新潟出身の太田さん 陸前高田で周年栽培 気候と被災跡地を利用	岩手日報	30.8.9
	夏イチゴの周年栽培に取り組む太田祐樹さん	岩手日報	30.8.27
	甘〜い実味わって 大規模園芸施設一般向け開放 パネル展示	東海新報	31.1.28
	消費拡大へフェスタ陸前高田で初開催 多彩なイベント満喫	東海新報	31.2.13
環境部			
病理昆虫研究室			
	キュウリ防除で功績 岩館さん(県農業研究センター)に若手研究者賞	岩手日日新聞	30.12.13
病害虫防除部			
病害虫防除課			
	農薬の正しい知識を 販売・使用研修会 危害防止策学ぶ	岩手日日	30.6.22
	防除対策で徹底促す リンゴ褐斑病発生増加で県	岩手日日	30.8.9
	リンゴ主産地”びりびり” 黒星病厳戒	日本農業新聞	30.8.16
	猫塚氏地域貢献賞 日本植物病理学会東北部会 県内2人目の受賞	岩手日日	30.10.5
	人ひとPERSON 県病害虫防除所 主任主査 猫塚修一さん(花巻市)	岩手日日	30.10.24
	水稲箱施用剤の効果的な使い方 発生予察に基づき効率的な薬剤の使用を	日本農業新聞	31.2.1
畜産研究所			
家畜育種研究室			
	性選別精液 経産牛への乳成分、授精牛選定に牛群検定成績で受胎率に差	開拓情報	30.11.15
種山畜産研究室			
	「菊勝久」県種雄牛に 検定成績、過去最高	岩手日日新聞	30.10.16
	BMS,上物率最高 「菊勝久」を選抜	日本農業新聞(全国版)	30.10.19
	歴代最高 待望の種牛 県が選抜「菊勝久」	岩手日報	30.10.29
県北農業研究所			
作物研究室			
	今さら聞けない+ 雑穀	朝日新聞be	31.1.12
	二戸地域雑穀推進大会	岩手日報	31.1.23
	二戸地域雑穀推進大会	農業共済新聞	31.2.6

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
技術部 野菜花き研究室	—	ニュース 転作田の野菜栽培へ理解 花巻で県 農業者に研修会	NHK総合	30.8.8	有
県北農業研究所	—	地元保育園児によるサツモイモの収穫体験	岩手朝日テレビ、 NHK総合、軽米 ケーブルテレビ	30.10.19	有
技術部 野菜花き研究室	主査専門研究員 藤尾 拓也	おぼんです いわて 環境制御ハウスにおける冬期のトマト栽培	NHK総合	31.2.14	無
技術部 野菜花き研究室	野菜花き研究室長 川戸 善徳	ニュースプラス1いわて 「なまなまりポート」 ITでトマト栽培	テレビ岩手	31.2.26	無

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
畜産研究所	—	全国食べ物うまいもの	NHKラジオ第一	30.6.9	無

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
プロジェクト推進室	吉田 宏	水稻プール育苗、収穫、乾燥調製	2019年度稲作指導指針	31.3
	寺田 道一	水稻直播栽培技術について	2019年度稲作指導指針	31.3
技術部				
果樹研究室	浅川 知則	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
作物研究室	田村 和彦	雑草防除(水稻)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	齋藤 智子 関村 真梨歩	雑草防除(畑作物)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	永富 巨人	「金色の風」栽培マニュアルver.3.0	「金色の風」栽培マニュアルver.3.0	31.3
	永富 巨人	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.4.0	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.4.0	31.3
野菜花き研究室	佐藤 春菜	雑草防除及び成長調整剤使用指針(野菜)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	小澤 傑	雑草防除及び成長調整剤使用指針(花き)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	藤尾 拓也	寒冷地中小規模施設における複合環境制御導入の手引き	寒冷地中小規模施設における複合環境制御導入の手引き	31.3
環境部				
生産環境研究室	島 輝夫	植物の栄養と土、岩手県における環境にやさしい土壌施肥管理技術	平成30年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	30.6
	島 輝夫	土づくり・施肥改善研修会資料	平成30年度土づくり・施肥改善研修会資料	30.11
	菊地 淑子 高橋 良学	野菜栽培技術指針	2019年度野菜栽培技術指針	31.3
	葉上 恒寿	稲作指導指針	2019年度稲作指導指針	31.3
	小田島 芽里	「金色の風」栽培マニュアルver.3.0	「金色の風」栽培マニュアルver.3.0	31.3
	小田島 芽里	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.4.0	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.4.0	31.3
病理昆虫研究室	熊谷 拓哉	病害虫管理(防除・農薬)～岩手県における環境に優しい病害虫管理技術～	平成30年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	30.6
	中村 太紀	防除指導資料(果樹・花き病害)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	加藤 真城	防除指導資料(果樹・花き害虫)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	岩舘 康哉	防除指導資料(畑作、土壌病害)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	佐々木 陽菜	防除指導資料(水稻病害、資材消毒、展着剤の利用)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室 (続き)	中野 央子	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	岩館 康哉	防除指導資料(野菜病害)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	武田 純子	防除指導資料(野菜害虫)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	中野 央子 佐々木 陽菜	基本技術(主要病害虫の防除)	2019年度稲作指導指針	31.3
	岩館 康哉 武田 純子	近年問題となっている病害虫 分析・診断基本技術(培地診断他)	2019年度野菜栽培技術指針	31.3
	岩館 康哉 佐々木 陽菜	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(病害防除)	2019年度度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	31.3
	中野 央子	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(虫害防除)	2019年度度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	31.3
	中村 太紀	リンゴ黒星病対策	りんごセミナー	31.3
	中村 太紀	リンゴ黒星病・褐斑病対策	JA江刺りんご研修会(褐斑・黒星勉強会)	31.3
岩館 康哉 佐々木 陽菜	ホップ病害虫防除要領	2019年度 ホップ栽培暦	31.3	
病害虫防除部				
病害虫防除課	遠藤 歩美	農薬安全使用指針	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	佐藤 美和子	農薬の残留と飛散防止対策	平成31年度野菜栽培技術指針	31.3
畜産研究所				
家畜飼養・飼料研究室	高村 聡美	雑草防除(飼料作物)	2019年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	31.3
	佐藤 真 高村 聡美	牧草、飼料作物栽培技術指導資料	牧草飼料作物生産利用指針	31.3
	佐藤 真	コントラクターの作業連携実証	いわてコントラクター等利用推進協議会会報	31.3
外山畜産研究室	佐々木 康仁	蹄耕法を取り入れた耕起困難草地の草地更新技術マニュアル	蹄耕法を取り入れた耕起困難草地の草地更新技術マニュアル	31.3
県北農業研究所				
園芸研究室	荻内 謙吾 他	春まきタマネギの指導資料	春まきタマネギ栽培マニュアル(暫定版); 改訂版	31.1
	横田 啓 熊谷 初美	たまねぎ春まき作型における今後の管理(病害虫・雑草防除)と収穫・乾燥調製	二戸春まきたまねぎ指導会	30.5
	熊谷 初美 横田 啓	品目別栽培技術指針 たまねぎ	平成31年度野菜栽培技術指針	31.3
	横田 啓	共通項目 近年問題となっている病害虫(害虫)	平成31年度野菜栽培技術指針	31.3

9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	73,250 冊
平成30年度収集図書数	412 冊
学会誌	23 冊
資料	52 冊
研究報告	98 冊
気象	6 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	0 冊
社団法人	2 冊
財団法人	14 冊
図鑑	5 冊
総記	0 冊
単行本	44 冊
定期	2 冊
統計	4 冊
図書	4 冊
洋雑誌	4 冊
CD-ROM	6 冊
雑誌	148 冊
図書室利用者数(延べ)	118 名
同貸し出し冊数	277 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2019/3/31現在)

10 ホームページ

項目		件数	内訳
入力件数	研究レポート	43	平成30年度発行分(No.876~918)
	試験研究成果	43	平成30年度試験研究成果書
	研究報告類	6	農業研究センター研究報告 第17号
	らぼ・れたあ	70	No. 1~70(研究トピックス)
	行事予定	2	参観デー、いわて次世代施設園芸セミナー
	各種資料	59	平成29年度業務年報、先端プロ成果マニュアル、機関評価結果
	農業科学博物館	5	企画展第76~79回開催案内、農業ふれあい公園だより 第25号
	その他	13	月別アクセス状況、平成30年度組織体制
アクセス件数	トップページ	28,779	平成30年度分
	総ページビュー	4,446,751	平成30年度分

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農業研究センター主催 企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 病害虫防除部 病害虫防除課 県北農業研究所 園芸研究室	30.8.7	北上市 (農業研究センター) 花巻市太田 (現地実証圃場)	平成30年度第1回「水田への土地利用型野菜導入推進に係る研修会」(経営体強化プロ) 農業研究センターにおける土地利用型野菜(「春まきタマネギ」および「加工・業務用寒玉キャベツ」)の研究取組状況について	78名
【新技術・普及活動検討会】(中央農業改良普及センター主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室 種山畜産研究室	31.1.31	滝沢市 (畜産研究所)	平成30年度新技術・普及活動検討会(畜産)	31名
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 作物研究室 環境部 生産環境研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 作物研究室	31.1.22	北上市 (農業研究センター)	平成30年度新技術・普及活動検討会(作物)	31名
技術部 野菜花き研究室 環境部 生産環境研究室	31.1.28	北上市 (農業研究センター)	平成30年度新技術・普及活動検討会(花き)	26名
技術部 果樹研究室 環境部 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課	30.1.23～24	北上市 (農業研究センター)	平成30年度新技術・普及活動検討会(果樹)	30名
技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	31.1.28	北上市 (農業研究センター)	平成30年度新技術・普及活動検討会(野菜)	35名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
【普及指導員専門技術研修】(中央農業改良普及センター主催)				
プロジェクト推進室	30.6.11	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(水稲Ⅰ期)	3名
	30.6.21	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ) 水稲直播栽培・ドローンによる生育センシング技術について	4名
企画管理部 農業経営研究室	30.5.30	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(作物)	1名
	30.6.11		スペシャリスト養成研修(水稲)	3名
技術部				
果樹研究室	30.5.21～24 30.6.11～14 30.9.26～29 30.10.17～20 30.12.12～15	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	1名
	30.5.22 30.6.15 30.9.18 31.2.12	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(醸造用ぶどう)	1名
	30.6.12 31.3.4～5	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(地域特産果樹)	2名
作物研究室	30.6.19～21	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	4名
	30.8.22	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	4名
	30.10.11～12	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	4名
	30.11.15～16	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	4名
	30.6.8 30.7.18 30.8.6	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(種子生産)	1名
野菜花き研究室	30.5.28 30.6.27 30.7.30 30.8.2 30.10.3	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(環境モニタリング) ・生育調査と環境値の関係	10名
	30.5.31～6.1	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅠ期)	1名
	30.8.22～23	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅡ期)	1名
	30.10.18～19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅢ期)	1名
南部園芸研究室	30.9.12	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅳ)	2名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
【普及指導員専門技術研修】(続き)				
環境部 生産環境研究室	30.10.17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	1名
	30.10.17	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹)	1名
	30.10.18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き)	1名
病理昆虫研究室	30.6.20	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	4名
	30.5.24	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	3名
	30.9.20	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	2名
病害虫防除部 病害虫防除課	30.5.11	北上市 (農業研究センター)	普及職員新任者研修Ⅰ 及び普及活動基本研修Ⅰ	12名
	30.5.24	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	3名
	30.8.22	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き)	2名
	30.9.20	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基礎研修(果樹)、 スペシャリスト研修(果樹)	2名
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	30.7.23～27	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ)	2名
	30.10.3	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所)	普及員基本研修2期・スペシャリスト養成研修(飼料作物)	5名
	30.10.4	住田町 (種山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ)	2名
県北農業研究所 園芸研究室	30.5.8	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(春植えたまねぎⅠ期)	4名
	30.7.5	軽米町 (県北農業研究所)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	4名
	30.7.18	軽米町 (県北農業研究所)	スペシャリスト養成研修(春植えたまねぎⅡ期)	4名
	30.8.23	軽米町 (県北農業研究所)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	4名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
プロジェクト推進室				
寺田 道一	JAいわて中央水稲直播研究会総会 講師「水稲直播栽培における近年の動向について」	30.4.10	JAいわて中央	JAいわて中央紫波 地域営農センター
吉田 宏	イブキジャコウソウ栽培技術研修会	30.6.30	福島県喜多方市 赤星環境保全会	福島県喜多方市
寺田 道一	平成30年度花巻地域稲作コスト低減研修会 講師「ICTを活用した遠隔自動給排水制御システム」	30.7.6	花巻市農業振興対策本部米 穀振興部会	花巻市西宮野目
吉田 宏	イブキジャコウソウで畦畔法面を被覆して畦畔管理を省力・軽労化	30.7.24	全国中山間地域振興対策協 議会 東北支部協議会	八幡平市
寺田 道一	平成30年度第1回稲作コスト低減研修会 講師「ドローンを活用した省力・低コスト技術について」	30.7.31	農産園芸課	農研センター
吉田 宏	平成30年度第1回稲作コスト低減研修会 講師「水稲高密度播種苗移植栽培技術について」	30.7.31	農産園芸課	農研センター
寺田 道一	岩手県銀河のしずく栽培研究会 第3回役員会 講師「銀河のしずくの鉄コーティング湛水直播栽培について」	30.8.27	県産米戦略室	JAいわて花巻二子 支店他
寺田 道一	JAいわて中央水稲直播研究会 現地指導「ほ場巡回」(助言者)	30.8.30	JAいわて中央	JAいわて中央紫波 地域営農センター 他
寺田 道一	JAいわて中央水稲直播研究会 講師「水田雑草の発生傾向と対策」	30.12.4	JAいわて中央	JAいわて中央紫波 地域営農センター
吉田 宏	一関地方農林業振興協議会 営農大学講座「スマート農業ってナニ？」	30.12.10	一関地方農林業振興協議会	一関合庁
寺田 道一	平成30年度第3回稲作技術対策会議 講師「直播栽培の技術対策について」	31.2.7	県産米戦略室	農研センター
寺田 道一	平成30年度第2回稲作コスト低減研修会 講師「水稲直播栽培における近年の動向について」	31.2.13	農産園芸課	農研センター
吉田 宏	平成30年度第2回稲作コスト低減研修会 講師「水稲高密度播種苗移植栽培技術について」	31.2.13	農産園芸課	農研センター
吉田 宏	岩手町豊かな農村づくりシンポジウム2019 講師「イブキジャコウソウによる畦畔管理の取組」	31.2.21	岩手町	岩手広域交流セン ター(岩手町)
寺田 道一	平成30年度 胆江地域水稲生産コスト低減研修会 講師①「水稲直播栽培における近年の動向について」 講師②「高密度播種苗移植栽培について」	31.2.26	胆江地方農林業振興協 議会、いわて直播栽培米研究会 奥州支部	奥州市役所江刺総 合支所
寺田 道一 菅野 輝彦	現地指導「水稲直播用溝装置の取付レク チャー」	31.3.22	一関農業改良普及センター、 (農)おくたま農産	(農)おくたま農産
吉田 宏	志和水田高度利用協議会 講師「スマート農業について」	31.3.25	志和水田高度利用協議会 岩手中央農業協同組合	花巻市
企画管理部				
農業経営研究室				
及川 浩一	平成30年度岩手GAP推進チーム会議(第1回)	30.5.17	農業普及技術課	矢巾町
及川 浩一	平成30年度GAP普及・拡大に係る担当者会議(第1回)	30.5.18	農業普及技術課	農研センター
及川 浩一	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会 (第2回)	30.7.10	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	平成30年度土地改良事業営農推進対策委員会・ 幹事会合同現地検討会	30.8.30	農村計画課	一関市

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
農業経営研究室				
及川 浩一	岩手県版農業生産工程管理(GAP) 審査委員会 (第3回)	30.9.12	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	平成30年度第1回いわての野菜産地戦略企画部 会	30.9.12	農産園芸課	農研センター
及川 浩一	平成30年度第2回いわての野菜産地戦略企画部 会	30.10.24	農産園芸課	農研センター
及川 浩一	平成30年度いわて型野菜トップモデル産地創造 事業に係る部門検討会	30.11.14	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	平成30年度第1回いわてリーディング経営体育成 支援事業経営発展計画審査会	30.11.22	農業振興課	盛岡市
及川 浩一	岩手県版農業生産工程管理(GAP) 審査委員会 (第4回)	30.12.13	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門) 審査委 員会	30.12.25	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	平成30年度第3回いわての野菜産地戦略企画部 会	31.1.23	農産園芸課	農研センター
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)表彰式	31.2.5	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	平成30年度土地改良事業営農推進対策委員会 中央幹事会	31.2.6	農村計画課	盛岡市
及川 浩一	平成30年度岩手GAP推進チーム会議(第2回)	31.3.7	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会	31.3.20	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(タバコ部門) 審査委 員会	31.3.27	農産園芸課	盛岡市
前山 薫	平成30年度園芸産地づくり推進会議	30.4.24	農産園芸課	農研センター
前山 薫	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第2回 WG会議	30.4.23	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
前山 薫	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第3回 WG会議	30.6.27	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
前山 薫	胆江地方集落営農塾(法人化・生産性向上講座)	30.7.18	奥州普及センター	奥州市
前山 薫	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第4回 WG会議	30.8.27	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
前山 薫	花巻地方農業法人協議会経営者研修会	30.9.5	花巻地方農業法人協議会	花巻市
前山 薫	平成30年度岩手県農業農村整備事業地区担い 手育成協議会	30.10.30	農村建設課	盛岡市
前山 薫	平成30年度生産技術体系・営農類型策定ワーキ ングチーム会議	30.12.26	農業振興課	農研センター
前山 薫	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第4回 WG会議	31.1.25	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
前山 薫	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会幹事会	31.3.18	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
吉田 徳子	平成30年度第1回担い手対策担当者会議	30.5.8	農業振興課	農研センター
吉田 徳子	盛岡地方集落営農経営力向上講座(第1回)	30.11.13	盛岡地方農業農村振興協議 会	盛岡市
吉田 徳子	平成30年度集落営農組織法人化支援研修会	30.12.20	農業振興課	花巻市
吉田 徳子	平成30年度生産技術体系・営農類型策定ワーキ ングチーム会議	30.12.26	農業振興課	農研センター
吉田 徳子	北上市認定農業者協議会研修会	31.3.22	北上市認定農業者協議会	北上市

担当部署 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
技術部				
果樹研究室				
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則 高橋 藍	純情りんごコンテスト審査(1部)	30.10.18	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則 高橋 藍	純情りんごコンテスト審査(2部)	30.11.20～ 21	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
浅川 知則	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	30.10.23	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町
大野 浩 浅川 知則 高橋 藍	りんごセミナー 研究成果:ぶどう「シャインマスカット」の適正着果 量、りんごポット養成フェザー苗に対するかん水効 果 等	31.2.25	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐々木 真人	いわて気候講演会	30.11.8	盛岡地方気象台	盛岡市 (水産会館)
佐々木 真人	いわてワイン生産アカデミー	30.6.15	農林水産部農産園芸課	盛岡市 (サンセール盛岡)
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則 高橋 藍	いわてワイン生産アカデミー栽培技術フォローアッ プ講座	30.4.8 30.5.22 30.6.19 30.7.10 30.8.7 30.9.4 30.10.16 31.2.12	農林水産部農産園芸課	北上市 (農研センター)
作物研究室				
小田中 温美	第1回銀河のしずく栽培研究会役員会	30.6.12	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
小田中 温美 永富 巨人	第1回銀河のしずく栽培研究会	30.6.12	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
小田中 温美	第1回金色の風栽培研究会役員会	30.6.13	県産米戦略室	奥州市 (奥州合庁)
関村 真梨歩 小田中 温美 扇 良明	小麦新品種候補「東北232号」現地検討会	30.6.15	農研機構東北農業研究セン ター	奥州市 (姉体)
小田中 温美 永富 巨人	第1回金色の風栽培研究会	30.6.18	県産米戦略室	奥州市 (奥州市文化会館Z ホール)
小田中 温美	第2回銀河のしずく栽培研究会役員会	30.7.13	県産米戦略室	北上市 (岩手県農業共済 組合中部地域セン ター)
小田中 温美 永富 巨人	第2回銀河のしずく栽培研究会	30.7.13	県産米戦略室	北上市 (岩手県農業共済 組合中部地域セン ター)
小田中 温美 永富 巨人	第2回金色の風栽培研究会	30.7.17	県産米戦略室	奥州市 (奥州市江刺総合 支所)
田村 和彦	平成30年度東北六県主要農作物原種・原原種生 産に係わる情報交換会	30.7.19～20	—	青森県弘前市、黒 石市
小田中 温美	いわての美味しいお米生産・販売戦略推進会議P Jチーム会議	30.4.24	県産米戦略室	盛岡市 (県公会堂)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
作物研究室				
小田中 温美	いわての美味しいお米生産・販売戦略推進会議PJチーム会議	30.7.12	県産米戦略室	盛岡市 (産ビル)
関村 真梨歩	平成30年度第1回岩手県麦民間流通地方連絡協議会	30.7.26	全農岩手県本部	盛岡市 (産ビル)
関村 真梨歩	小麦生産部会全体研修会	30.8.20	JAいわて中央	紫波町(ラ・フランス)
小田中 温美	第3回岩手県金色の風栽培研究会役員会	30.8.27	県産米戦略室	奥州市 (奥州合庁)
小田中 温美	第3回岩手県銀河のしずく栽培研究会役員会	30.8.27	県産米戦略室	北上市 (JAいわて花巻二子支店)
関村 真梨歩	平成30年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会 東北地域麦・なたね品種・系統検討会	30.8.30	農研機構	盛岡市(農研機構東北農業研究センター)
小田中 温美	国内産農産物銘柄設定等に係る意見聴取会	30.12.10	東北農政局	盛岡市 (東北農政局岩手県拠点)
扇 良明 小田中 温美 永富 巨人	第4回岩手県銀河のしずく栽培研究会	30.11.19	県産米戦略室	北上市 (農業研究センター)
小田中 温美 永富 巨人	第4回岩手県金色の風栽培研究会	30.12.17	県産米戦略室	奥州市 (奥州市江刺総合支所)
小田中 温美 永富 巨人	第4回岩手県金色の風・銀河のしずく栽培研究会役員会	31.1.15	県産米戦略室	金ケ崎町 (岩手県立農業大学校)
小田中 温美 永富 巨人	第5回岩手県金色の風栽培研究会役員会	31.3.8	県産米戦略室	奥州市 (奥州合庁)
小田中 温美	いわての美味しいお米生産・販売戦略推進会議PJチーム会議	31.1.10	県産米戦略室	盛岡市 (盛岡合庁)
田村 和彦	平成30年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	31.1.23	岩手県	滝沢市 (産業文化センター)
田村 和彦	農薬適正販売研修会	31.1.25	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮参集殿
関村 真梨歩	種子生産者全体研修会	31.2.5	岩手県種子生産部会協議会 岩手県農産物改良種苗センター	花巻市 (志度平温泉)
小田中 温美 永富 巨人	「金色の風」「銀河のしずく」栽培適地実証ほ場等成績検討会	30.11.20	県産米戦略室	北上市 (農業研究センター)
永富 巨人	盛岡地域銀河のしずく栽培研修会	31.2.12	県産米戦略室	盛岡市 (ふれあいらんど岩手)
齋藤 智子	大豆晩播狭畦密植現地試験報告会	30.12.21	東北農業研究センター	紫波町
齋藤 智子	平成30年度岩手県大豆栽培研修会	31.2.8	岩手県農業再生協議会	北上市 (農業研究センター)
関村 真梨歩 小田中 温美 扇 良明	小麦新品種「東北232号」(ナンブキラリ) 試食検討会	31.3.6	農研機構東北農業研究センター	盛岡市(農研機構東北農業研究センター)
関村 真梨歩	平成30年度東北地域麦振興協議会	31.3.20	東北農政局	仙台市(仙台合庁)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
野菜花き研究室 (野菜チーム)				
田代 勇樹	第4回園芸産地改革ネットワークきゅうり部会	30.10.30	JA全農いわて	矢巾町
田代 勇樹	第5回園芸産地改革ネットワークきゅうり部会	31.2.26	JA全農いわて	矢巾町
田代 勇樹	平成30年度雲南省農業シンポジウム	30.9.30	農業普及技術課	盛岡市
吉田 泰	技術対策部会果菜3品実績検討会 ハウスキュウリ栽培における環境制御技術について	30.12.20	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
藤尾 拓也	気象測器研究会	31.1.25	気象測器研究会	東京都
藤尾 拓也	かながわスマート農業推進会議	31.2.7	かながわスマート農業推進研 究会	神奈川県
藤尾 拓也	福島県養液栽培技術研修会	31.3.08	福島県養液栽培研究会	福島県
(花きチーム)				
輪達 公重	りんどう育苗状況調査	30.4.12	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	二戸市、一戸町 九戸村
川戸 善徳 輪達 公重 阿部 弘 小田島 雅	りんどう採種技術検討会	30.7.10	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	金ケ崎町 (採種ほ場)
阿部 弘 小田島 雅 小澤 傑	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク合同りんどう検討会	30.7.27	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
扇 良明 川戸 善徳	いわてフラワーコンテスト2018審査会	30.9.7	全農岩手県本部、農産園芸 課	北上市 (農研センター)
阿部 弘 小澤 傑	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク合同りんどう・小ぎく 実績検討会	31.1.28	中央農業改良普及センター 県域普及グループ JA全農いわて	北上市 (農研センター)
川戸 善徳 輪達 公重	園芸作物種子種苗価格設定会議(花き・野菜)	30.11.1	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	北上市 (農研センター)
阿部 弘 小田島 雅	JA花巻鉢物部会研修会	30.10.16	JA花巻鉢物部会	北上市 (農研センター)
川戸 善徳 輪達 公重 小田島 雅 小澤 傑	岩手県園芸育種研究会りんどう部会	30.10.12	農産園芸課	北上市 (農研センター)
小田島 雅	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	30.11.12	農業大学校	金ケ崎町
輪達 公重 阿部 弘 小田島 雅	平成30年度普及指導員調査研究計画検討会	30.5.15	中央農業改良普及センター 県域普及グループ JA全農いわて	北上市 (農研センター)
輪達 公重 阿部 弘 小田島 雅 小澤 傑	平成30年度普及指導員調査研究中間検討会	30.10.23	中央農業改良普及センター 県域普及グループ JA全農いわて	北上市 (農研センター)
川戸 善徳 輪達 公重	新たな花き振興計画策定に係るワーキンググル ープ会議	30.9.12	農産園芸課	北上市 (農研センター)
川戸 善徳 輪達 公重	新たな花き振興計画策定に係るワーキンググル ープ会議	30.10.25	農産園芸課	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
(花きチーム) つづき				
川戸 善徳 輪達 公重 小田島 雅	新たな花き振興計画策定に係るワーキンググループ会議	31.1.23	農産園芸課	北上市 (農研センター)
阿部 弘	総合的な学習の時間(5年生) 「二子いも」のルーツを考えてみよう	30.6.20	二子小学校	北上市
阿部 弘	いもっこフェスティバル	30.10.19	二子小学校	北上市
阿部 弘	いわき地方りんどう栽培セミナー 「塊茎からみたリンドウの多年生ライフ ～栽培管理を考えるヒント」	30.12.21	福島県いわき農林事務所	福島県いわき市 (川前活性化センター)
南部園芸研究室				
千葉 彩香	JAおおふなときゅうり部会視察研修	30.7.6	大船渡市農業協同組合	紫波町
千葉 彩香	いわて木質バイオマスエネルギーフォーラム	30.11.7	林業振興課	盛岡市
千葉 彩香	きゅうり部会実績検討会	31.1.28	大船渡市農業協同組合	住田町・花巻市
千葉 彩香	気仙トマト・いちごフェスティバル	31.2.11	大船渡地方農林振興協議会	陸前高田市
鈴木 朋代	夏あかり株分け研修会	31.2.12	なつあかり研究会	青森県八戸市
千葉 彩香 鈴木 朋代	夏イチゴ「2018年の作柄」検討会	31.2.27	なつあかり研究会	盛岡市
環境部				
生産環境研究室				
島 輝夫	いわてアグリフロンティアスクール	30.6.6	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
島 輝夫	平成30年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	30.11.7 30.11.13	農業普及技術課	奥州市江刺総合支所 滝沢市(畜産研究所)
島 輝夫	平成30年度土づくり施肥改善研修会(専門)	30.11.19	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
島 輝夫	平成30年度土壌診断処方箋作成研修会	30.11.29	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
高橋 良学	雲南省農業シンポジウム	30.9.5	農業普及技術課	盛岡市 (ホテルニューウイング)
白木 正俊	りんごセミナー	31.2.25	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
病理昆虫研究室				
熊谷 拓哉	平成30年度病害虫防除員等指導者研修会	31.2.1	病害虫防除所	農研センター会議室
加藤 真城 中村 太紀	平成30年度第1回りんご病害虫防除研修会	30.6.13	全農岩手県本部	農研センター会議室
熊谷 拓哉	平成30年度いわてアグリフロンティアスクール	30.6.13	岩手大学農学部地域連携推進室	盛岡市 岩手大学
加藤 真城	農業農村指導士果樹部会研修	30.6.27	農業農村指導士果樹部会	リンゴ研究拠点 滝沢市井上美津男氏
加藤 真城 中村 太紀	平成30年度第2回りんご病害虫防除研修会	30.7.13	全農岩手県本部	農研センター会議室
熊谷 拓哉 中野 央子 白木 正俊	生き物調査隊	30.7.14	(有)ピース	江刺区現地圃場

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室(つづき)				
加藤 真城	一関りんご研究会視察研修	30.8.24	一関りんご研究会	農研センター
加藤 真城	平成30年度ダニ剤さらば視察研修	30.9.19	滝沢市研究グループダニ剤さらば	農研センター
中村 太紀	平成30年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会・園芸産地改革ネットワーク合同小 ぎく検討会	30.10.5	中央農業改良普及センター	農研センター会議 室
加藤 真城	純情りんごコンテスト審査(1期)	30.10.18	全農岩手県本部	農研センター会議 室
佐々木 陽菜	防除実績検討会(水稻・畑作)	30.12.11,20	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
岩館 康哉 武田 純子	防除実績検討会(野菜)	30.10.25	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
中野 央子 岩館 康哉 武田 純子 佐々木 陽菜	平成30年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	30.11.15	岩手県植物防疫協会	花巻市 ホテル志戸平
中村 太紀	純情りんごコンテスト審査(2期)	30.11.20～ 21	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
加藤 真城 中村 太紀	防除実績検討会(果樹)	30.12.14	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
加藤 真城 中村 太紀	平成31年度一関地方りんご病害虫防除暦編集会 議	31.1.16	一関地方農林振興協議会	一関市 千厩分庁舎
中村 太紀	新技術・普及活動検討会(花き部門)／技術対策 部会・ネットワーク合同実績検討会	31.1.28	中央農業改良普及センター	農研センター会議 室
武田 純子 中村 太紀 佐々木 陽菜	平成30年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	31.1.17	農業普及技術課	農研センター会議 室
武田 純子 中村 太紀 佐々木 陽菜	平成30年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	31.1.23	農業普及技術課	滝沢市 アピオ
岩館 康哉 佐々木 陽菜	ホップ栽培歴検討会	31.1.22～23	岩手県農業共済組合	盛岡市 繫温泉
岩館 康哉	ホップ生産者研修会	31.2.5	岩手県ホップ連合会	盛岡市 サンセール盛岡
中村 太紀	農薬適正販売使用研修会	31.1.25	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市 八幡宮参集殿
中村 太紀	JA江刺りんご研修会(褐斑・黒星勉強会)	31.2.18	JA江刺	奥州市
加藤 真城 中村 太紀	平成30年度りんごセミナー	30.2.25	全農いわて	農研センター会議 室

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病害虫防除部				
病害虫防除課				
名久井 一樹 佐藤 美和子 石川 菜津美	岩手県植物防疫関係者技術研修会	30.11.15	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
佐藤 千穂子	農薬適正販売使用研修会	30.6.20	岩手県農業卸商業協同組 合、(一社)岩手県植物防疫 協会	北上市
吉田 雅紀	第2回病害虫防除員等指導者研修会	31.2.1	岩手県病害虫防除員協議会	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	いわてワイン生産アカデミー	30.5.22 30.6.15 30.6.19	農産園芸課	北上市(農研セ) 盛岡市 北上市(農研セ)
名久井 一樹 遠藤 歩美	りんご病害虫防除研修会	30.6.13 30.7.13	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹 遠藤 歩美	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	30.12.25	盛岡地方農業農村振興協 議会	盛岡市
名久井 一樹 遠藤 歩美	JA江刺りんご農薬選定会議	31.1.18	JA江刺	奥州市
名久井 一樹	JA江刺りんご冬期講習会	31.2.18	JA江刺	奥州市
名久井 一樹	りんごセミナー	31.2.25	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	ウイルス病及びイムノストリップ勉強会	30.5.31	中央農業改良普及センター	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	JA平泉花き部会防除研修会	31.2.13	JA平泉	一関市
猫塚 修一	岩手ブルーベリーの会冬期講習会	31.3.23	岩手ブルーベリーの会	岩手県立大学
畜産研究所				
家畜育種研究室				
細川 泰子	いわてまら紅娘会研修会	30.5.10	JA新岩手東部営農経済セン ター	岩手町
吉田 登	食品ビジネス学演習Ⅱ	30.6.4～5 30.11.5～6	日本大学生物資源科学部食 品ビジネス科	神奈川県藤沢市
細川 泰子 熊谷 祐宏	肉用牛指導者養成研修会	30.7.31	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
昆野 勝	家畜受精卵移植講習会	30.9.7 30.9.11～14 30.9.19～21	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
細川 泰子	家畜受精卵移植講習会	30.9.5～6 30.9.11～14 30.9.19～21	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
熊谷 祐宏	家畜人工授精講習会	30.11.6	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
昆野 勝	家畜人工授精講習会	30.11.15	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
熊谷 祐宏	現場後代検定枝肉調査会研修会	30.11.22	全農岩手県本部	花巻市
吉田 登	食と農を起点とした地域づくり研修会	30.11.28	久慈地方農業農村活性化推 進協議会・県北広域振興局	久慈市
吉田 登	花巻国産飼料研修会	31.2.5	花巻子実コーン組合	花巻市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
家畜育種研究室(つづき)				
安田 潤平	家畜商講習会	30.12.18	流通課	盛岡市
細川 泰子	岩手県家畜人工授精師協会研修会	31.1.25	岩手県家畜人工授精師協会	滝沢市 (畜産研究所)
安田 潤平	雫石牛肥育部会総会研修会	31.1.28	新岩手農業協同組合 雫石牛肥育部会	雫石町
家畜飼養・飼料研究室				
越川 志津	家畜人工授精講習会	30.11.5	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	農業大学校講義(家畜飼養管理 I (酪農):カウコンフォートのための飼養管理技術)	31.1.30	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
越川 志津	農業大学校講義(家畜飼養管理 I (酪農):牛群検定成績見方)	30.10.22	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	家畜人工授精講習会	30.11.20	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	家畜商協講習会	30.12.17	流通課	盛岡市
及川 修 佐藤 真	飼料増産研修会	31.1.25	いわてコントラクター等利用推進協議会	滝沢市
佐藤 真	子牛市場ワンポイント講習会	30.12.12～ 14	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
高村 聡美	子牛市場ワンポイント講習会	30.12.5～6	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
外山畜産研究室				
大宮 元	家畜人工授精講習会	30.11.21	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
佐々木 康仁	農業大学校講義(本県の肉用牛放牧管理について)	30.12.13	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
種山畜産研究室				
高畑 博志	第1回いわて肉用牛指導者養成研修会	30.7.31	畜産課	滝沢市
篠崎 創 高畑 博志	子牛市場ワンポイント講習会	30.9.5～6	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
羽田 雅紀 篠崎 創 小澤 さち	子牛市場ワンポイント講習会	30.9.12～14	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
羽田 雅紀	平成30年度宮古地方肉用牛研修会	30.12.6	宮古農林振興センター	岩泉町
篠崎 創	新岩手東部和牛改良組合岩手支部研修会	30.12.20	新岩手農業協同組合 東部営農経済センター	八幡平市
熊谷 光洋	平成30年度獣医畜産業績発表会	30.1.23	畜産課	盛岡市
羽田 雅紀	平成30年度和牛女性研修会	31.1.31～2.1	いわて和牛中央育種組合 県南和牛育種組合	花巻市
羽田 雅紀 篠崎 創	家畜人工授精講習会	30.11.13 30.11.15	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高畑 博志	家畜人工授精講習会	30.11.9 30.11.30	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高畑 博志 羽田 雅紀	家畜人工授精講習会	30.11.27	畜産課	住田町(種山)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
種山畜産研究室(つづき)				
高畑 博志	農業大学校講義	30.8.27	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
羽田 雅紀	農業大学校講義	30.8.27	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
羽田 雅紀	家畜人工授精担当者会議	31.3.7	岩手県畜産協会	盛岡市
県北農業研究所				
作物研究室				
小野 直毅	薬用作物栽培研修会	30.8.27	岩手町	岩手町
小野 直毅	雲南省農業シンポジウム	30.9.5	中国雲南省、岩手県	盛岡市
小野 直毅	薬用作物産地支援栽培技術研修会	30.10.5	(一社)全国農業改良普及支援協会	盛岡市
小野 直毅	雲南省訪問団視察対応	30.11.1	県北農業研究所、中国雲南省農業科学院	軽米町
高草木 雅人	二戸地域雑穀推進大会	31.1.22	二戸地域雑穀ブランド推進委員会、二戸地方農林水産振興協議会	二戸市
高草木 雅人 吉津 祐樹	京都大学農学研究課ゼミ	31.1.24	京都大学農学研究課栽培起源学研究室	京都府向日市
小野 直毅	平成30年度薬用作物生産技術研修会	31.3.6	岩手町	岩手町
園芸研究室				
横田 啓 熊谷 初美	春まきたまねぎ栽培指導会	30.5.25	二戸農業改良普及センター	二戸市 (二戸青果市場)
横田 啓	東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会 病害虫研究会(夏期) 研究会 (内容 ホウレンソウを加害する多様な害虫と防除対策)	30.8.23～24	東北農業試験研究推進会議	北上市(岩手県農業研究センター)
横田 啓	園芸学会平成30年度秋季大会 第23回ネギ類研究小集会 (内容 春まきたまねぎ栽培におけるネギアザミウマ被害と防除対策の確立に向けて)	30.9.21	ネギ類研究小集会	鹿児島市 (鹿児島大学)
横田 啓 熊谷 初美	平成30年度春まきたまねぎ実績検討会	30.11.30	二戸農業改良普及センター	二戸市 (二戸青果市場)
横田 啓	春まきたまねぎ現地指導	31.1.16	大船渡農業改良普及センター	陸前高田市 (サンファーム小友)
横田 啓	佐藤政行種苗 2019年農業問題研究会 (内容 岩手県でのたまねぎ栽培技術確立に向けて)	31.1.17	佐藤政行種苗	花巻市 (ホテル志戸平)
横田 啓	東北ハイテク研セミナー 八幡平市の農業を拓く 新品種および新技術の紹介 (内容 岩手県で面積拡大中！春まきたまねぎ栽培)	31.2.28	東北地域農林水産・食品ハイテク研究会	八幡平市 (松尾コミュニティセンター)
横田 啓 細越 翔太	平成30年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同 「ほうれんそう計画検討会・現地研修会」	30.6.5	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	JA新いわて八幡平 営農経済センター
横田 啓 細越 翔太	平成30年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同 「ほうれんそう実績検討会」	30.12.4	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	全農いわて県北園芸センター
高橋 好範	平成30年度第2回園芸産地づくり推進セミナー	31.1.23	久慈地方農業農村活性化推進協議会	JA新岩手久慈営農 経済センター会議室

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	907 人	1,500 人	2,407 人	平成30年4月～平成31年3月
南部園芸研究室	343 人	- 人	343 人	
畜産研究所	270 人	600 人	870 人	
種山畜産研究室	451 人	- 人	451 人	
県北農業研究所	75 人	- 人	75 人	
計	2,046 人	2,100 人	4,146 人	

4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開催期日	開催場所	参集人員
春季一般公開	30.4.17～22	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	162 名
参観デー(本部)	30.9.8	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	1,500 名
参観デー(畜産研究所)	30.8.23～25	岩手産業文化センター(アピオ)	600 名

5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
30.9.6	北上市(本部)	いわて次世代施設園芸セミナー	60名	野菜花き
31.2.22	北上市(本部)	いわてキュウリセミナー	60名	野菜花き
31.3.5	北上市(本部)	シミュレーションモデル習得セミナー	12名	野菜花き
30.12.25	久慈市	久慈地方園芸産地推進セミナー土作り講演会	25名	作物(県北)
31.1.22	二戸市	平成30年度二戸地方雑穀推進大会	80名	作物(県北)

6 一日子供農業研究員

名 称	開催期日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み農業 研究体験～	30.8.7	小学5年生を対象とした研究体験 身近な自然にはどんな昆虫がいるかな？昆虫標 本を作ってみよう！ ・昆虫採集 ・標本づくり 講師：環境部病理昆虫研究室 職員 病虫害防除部 職員	20名

7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項 目	主 な 内 容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	7,231名	
		農業研究センター春季一般公開	30.4.17～22 (162名)	
		農業研究センター参観デー	30.9.8 (707名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		—
		第76回「昔の肥やしと使い方」	30.4.8～6.28	
		第77回「絹を生む虫“おカイコさん”」	30.7.6～9.29	
		第78回「しぼって採った油と蠟(ろう)」	30.10.10～12.27	
	イベント	「しめ飾り作り体験」	30.12.16	13名(6組)
		「そばを作って食べてみよう！」	3回	10名(4組)
	その他	学校教育支援活動 31校(社会科実習、校外学習等の受入)	—	1,164名(31校)
在宅高齢者支援活動(北上市在宅高齢者ふれあいデイサービス事業ほか)		—	325名(11団体)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	8,043名 (320件)	
農業ふれあい公園 加工工房	そば打ち体験	30.11.4	10名	

8 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
北上市立飯豊中学校 2年生	職場体験学習	1	研究企画室 作物研究室	30.9.27～28
滝沢市立滝沢第二中学校2年	職場体験学習	4	家畜飼養・飼料研究室	30.7.5
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(苗定植)	40	県北農業研究所	30.5.31
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(収穫)	40	県北農業研究所	30.10.18

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手大学農学部農業生命科学課程 3年	農業研究センターの研究概要(耐冷性 検定圃場など)	41	作物研究室 果樹研究室 野菜花き研究室	30.7.12
岩谷堂高等学校 1年生	職場見学	40	研究企画室 農業科学博物館	30.8.28
一関工業高等専門学校 5年生	職場体験研修	1	研究企画室・プロジェクト推 進室・農業経営研究室・作 物研究室	30.9.18～28
一関工業高等専門学校 4年生	職場体験研修	1	野菜花き研究室	30.9.18
県立農業大学校農産園芸学科花 き経営科1・2年生	農業研究センター内の花きに関する試 験実施内容について	15	野菜花き研究室	30.6.29

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
盛岡農業高等学校	職場見学	6	家畜育種研究室	30.5.25
JA網走	視察	15	家畜育種研究室	H30.6.14
青森県行政視察	視察	12	家畜育種研究室	30.7.11
岩手大学農学部動物科学科生物産業科学コース 3年	畜産研究所における研究概要	36	家畜飼養・飼料研究室	30.10.10
県立農業大学校畜産学科 1年 事例視察研修	畜産研究所の牛に係る研究概要	12	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	30.7.11
日本大学生物資源科学部動物資源科学科 3年	畜産研究所における研究概要	11	外山畜産研究室 家畜育種研究室	30.10.3
岩手大学農学部動物科学科 2年	畜産研究所における研究概要と乳牛・肉牛管理の見学	31	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	30.10.10
岩手大学農学部共同獣医学科 5年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	35	種山畜産研究室	30.5.23
岩手大学農学部動物科学課程 4年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	8	種山畜産研究室	30.7.17
岩手県立農業大学校畜産学科 1年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	18	種山畜産研究室	30.8.24

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
(新規就農者12名)	農業大学校	新規就農者研修	果樹研究室 作物研究室 野菜花き研究室 他	30.6.28
(新採用職員28名)	岩手県農林水産部	農林水産部新採用職員研修	果樹研究室 作物研究室 他	30.5.29
及川 優介	岩手県 (岩手県職員採用内定者)	採用内定者職場実習	病理昆虫研究室 病害虫防除部	30.11.16
高橋 美咲	一関工業高等専門学校	・農業研究センターの業務概要 ・水稲や花き、果樹の育種について ・土壌の分析方法について 他	野菜花き研究室 果樹研究室 病理昆虫研究室 生産環境研究室 作物研究室 プロジェクト推進室	30.9.18～9.21 30.9.25～9.28
吉岡 望	岩手大学農学部植物生命科学科	・水稲の育種について ・水稲の生育調査について ・大豆の生育調査法について ・イベント出展対応(スマート農業NEO)	作物研究室 研究企画室	30.8.21～24
坂戸 明夫 チヨ	新岩手農業協同組合 奥中山花き生産部会 一戸支部	・リンドウの播種及び育苗について	野菜花き研究室	31.2.27
長谷川 暢久	北里大学 5年	黒毛和種改良機関における業務	種山畜産研究室	30.8.23
渡邊 塁	宮城県立農業大学校	・黒毛和種種雄牛管理と凍結精液生産 ・黒毛和種産肉能力検定 ・黒毛和種繁殖・育成管理	種山畜産研究室	30.8.7～13

9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	政策地域部科学ILC推進室
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	技術部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 環境部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	環境部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	プロジェクト推進室長 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 次長兼園芸研究室長(県 北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	技術部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	技術部長	県産米戦略室
いわての大豆普及推進協議会	委員	技術部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 技術部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農村計画課

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営 チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 技能検定員	プロジェクト推進室長 主任技能員、技能員 (プロジェクト推進室、 技術部、環境部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局	委員 事務局員	技術部長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県版GAP審査委員会	委員	農業経営研究室長	農業普及技術課
いわてリーディング経営体育成支援事業等経営発 展計画選定委員会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	副チーム長 チーム員	農業経営研究室長 農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
農業担い手対策等課題解決チーム	チーム員	農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
岩手県農業経営力向上支援連絡会議	構成員	農業経営研究室長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農林水産振興連絡協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
気仙地域木質バイオマスエネルギー利用促進会議	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
久慈地方農業農村活性化推進協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 次長兼園芸研究室長	久慈市
二戸地方農林水産振興協議会	幹事	作物研究室長(県北研)	二戸市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
園芸学会東北支部	評議員	野菜花き研究室長	岩手大学農学部
北日本病害虫研究会	評議員	主査専門研究員(県北研)	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会 (AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 技術部長	岩手大学農学部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	環境部長 畜産研究所長 プロジェクト推進室長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	技術部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	技術部長 野菜花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (大豆・ホップ・そば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委員	主任主査 (病害虫防除課) 上席専門研究員 (技術部作物研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病害虫防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 主査 (病害虫防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 主査 (病害虫防除課) 野菜花き研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	作物研究室長(技術部)	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(一社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	技術部長 環境部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 作物研究室長(技術部) 果樹研究室長 野菜花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(一社)岩手県植物防疫協会

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県病害虫防除連絡協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
種子価格設定委員会	委員	作物研究室長(技術部)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
国産牛肉新需要創出緊急対策事業地方特定品種牛肉検討部会	委員	家畜育種研究室長	(社)全国肉用牛振興基金協会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
土壌医の会全国協議会	幹事	県北農業研究所長	(一財)日本土壌協会
農業機械等緊急開発事業推進プロジェクトチーム	委員	上席専門研究員 (県北研園芸研究室)	農研機構 農業技術革新工学研究センター
かるまいシリアルブランド化女性推進協議会	委員	作物研究室長(県北研)	かるまいシリアルブランド化女性推進協議会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	リンドウにおける塊茎の初期形成 および発達過程の解明	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 先端農業技術科学 専攻(筑波大学)	30.4.1～
主査専門研究員 小舘 琢磨	技術部 作物研究室	タンパク質含有率を制御した低アミロース米の加工特性及び理化学特性に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	30.10.1～

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	第2回南アジア東南アジア農業科学創新連盟シンポジウム	中華人民共和国雲 南省保山市	30.7.14～22
病虫害防除課長 勝部 和則	病虫害防除部 (病虫害防除所)	第2回南アジア東南アジア農業科学創新連盟シンポジウム	中華人民共和国雲 南省保山市	30.7.14～22
果樹研究室長 佐々木 真人	技術部 果樹研究室	雲南省との連携に係る果樹分野における共同研究の可能性調査	中華人民共和国雲 南省昆明市	30.10.21～28

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	家畜生産性向上のための育種改良技術に関する研究	つくば市(農研機構 畜産研究部門)	30.5.7～8.3

(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(3) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
所長 高橋 好範	県北農業研究所	平成30年度農林水産関係研究リーダー研修	東京都(中央合同庁 舎)	30.5.31～

(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(5) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(6) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
企画管理部長 竹澤 利和 農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子 技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	平成30年度「農業経済研究ネットワークい わて」研究会	滝沢市	30.12.2
農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫 技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	2019年度日本農業経済学会大会	東京都	31.3.29～31
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	スマートアグリソリューション、GPEC施設 園芸・植物工場展	東京都	30.7.11～13
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	「農匠稲作経営技術パッケージを活用した スマート水田農業モデルの全国実証と農匠 プラットフォーム構築」技術展・シンポジ ウム	茨城県つくば市	30.8.7
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	第2回いわてスマート農業祭	滝沢市	30.8.25
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	平成30年度日本農業経営学会	茨城県つくば市	30.8.31～9.2
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	アグリビジネス創出フェア、アグロ・イノ ベーション	東京都	30.11.21
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	第54回東北農業経済学会秋田大会	秋田県秋田市	30.8.24～25
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	「儲かる農業を実現する」農業ICTセミナー	三重県津市	31.2.13
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	スマート農業を目指す先端技術フェア	栃木県宇都宮市	31.2.21
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	農業現場における新たなイノベーションの 創出及びその現場をすすめるためのマッ チングミーティング	東京都	31.3.25
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	岩手大学生産技術研究センターシンポジウ ム	花巻市(グランシェール 花巻)	31.2.13
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	三陸の園芸振興と小口物流に関する研究会	盛岡市(岩手大学)	31.2.27
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITサポート研修会	花巻市(花巻地区合 合同庁舎)	30.6.8
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	平成30年度ITマスタ技術研修会	盛岡市	30.6.15
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	Webアクセス講習会	盛岡市	31.1.22
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	第72回北日本病虫害研究発表会	盛岡市	31.2.21
主査専門研究員 浅川 知則 主任専門研究員 高橋 藍	技術部 果樹研究室	平成30年度園芸学会秋季大会	鹿児島県鹿児島市 (鹿児島大学)	30.9.22～23
主査専門研究員 大野 浩 主査専門研究員 浅川 知則	技術部 果樹研究室	平成31年度園芸学会春季大会	神奈川県川崎市(明 治大学)	31.3.23～24

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 浅川 知則 主任専門研究員 高橋 藍	技術部 果樹研究室	アグリビジネス創出フェア2018	東京都	30.11.21～22
主査専門研究員 大野 浩	技術部 果樹研究室	第59回東北農業試験研究発表会	福島市	30.7.31
主任専門研究員 高橋 藍	技術部 果樹研究室	革新工学センター研究報告会	さいたま市	31.3.14～15
上席専門研究員 仲條 眞介 主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	第61回東北農業試験研究発表会	福島市	30.7.31
作物研究室長 小田中 温美 主査専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	日本作物学会東北支部第61回講演会	山形県鶴岡市(山形大学農学部)	30.8.21～22
専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	第42回酒米研究会	東京都北区(滝野川会館)	30.9.3
主査専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	平成30年度「知」の集積による産学連携支援事業 事業化可能性調査「チルド寿司向け低アミロース米のグローバルコールドチェーン確立のための可能性調査および本年度の試験的な研究成果検討会議」	沖縄県名護市(沖縄県農業研究センター名護支所)	30.11.26～27
主査専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	国立研究開発法人農研機構生物系特定産業技術研究支援センター「平成30年度応募前研修」	神奈川県川崎市(川崎市教育文化会館)	30.12.7
専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	次世代育種技術研究開発プラットフォームセミナー「ゲノム関係研究の新展開」	東京都港区(日本消防会館)	30.12.10
主査専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	平成30年度「知」の集積による産学連携支援事業 競争的研究資金への応募に向けた個別相談会(平成30年度第1回)	盛岡市(東北農業研究センター内東北ハイテク研究会)	30.12.18
技術部長 扇 良明 上席専門研究員 仲條 眞介 専門研究員 藤岡 智明 技師 高橋 祐也	技術部 作物研究室	イノベーション創出強化研究開発推進事業「水稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成」平成30年度第1回研究推進会議	北上市(岩手生工研)	30.7.12
技術部長 扇 良明 作物研究室長 小田中 温美 上席専門研究員 仲條 眞介 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	イノベーション創出強化研究開発推進事業「水稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成」平成30年度第2回研究推進会議	北上市(岩手生工研)	31.1.8
主査専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	SIPシンポジウム2018	東京都(東京ドームシティホール)	31.2.20～21
主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	日本作物学会第247回講演会	茨城県つくば市(筑波大学)	31.3.28～29

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	園芸学会東北支部平成30年度大会	福島県福島市	30.8.22
技師 佐藤 春菜	技術部 野菜花き研究室	園芸学会平成30年度秋季大会	鹿児島県	30.9.22～24
主査専門研究員 阿部 弘 主査専門研究員 藤尾 拓也 主査専門研究員 吉田 泰 専門研究員 小澤 傑 技師 佐藤 春菜	技術部 野菜花き研究室	園芸学会平成31年度春季大会	神奈川県川崎市	31.3.23～24
主査専門研究員 藤尾 拓也 主査専門研究員 吉田 泰 技師 佐藤 春菜	技術部 野菜花き研究室	アグリビジネス創出フェア	東京都	30.11.19～21
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	いわていわてスマート農業推進シンポジウム	北上市	31.1.21
専門研究員 小澤 傑	技術部 野菜花き研究室	Wild Cup 2018プレゼンテーション	盛岡市	30.8.9～10
主査専門研究員 小田島 雅 専門研究員 小澤 傑	技術部 野菜花き研究室	リンドウ共同研究に係る意見交換会	山形県寒河江市	31.3.5
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	環境制御セミナー	北上市	30.6.27
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	第63回全国野菜園芸技術研究会群馬大会	群馬県高崎市	30.7.19～20
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第3回環境制御セミナー	北上市	30.7.30
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸学会東北支部平成30年度大会	福島県福島市	30.8.22
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	いわて次世代施設園芸セミナー	北上市	30.9.6
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	施設園芸新技術セミナー・機器資材展in宮城	宮城県大崎市	30.9.19～20
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	園芸学会平成30年度秋季大会・小集会	鹿児島県鹿児島市	30.9.21～23
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第4回環境制御セミナー	北上市	30.10.3
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	東北ハイテック研「外部資金獲得セミナー」	山形県山形市	30.11.5
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	被覆資材セミナー	愛知県豊橋市	30.12.3

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	アグリビジネス創出フェア	東京都	30.11.20～22
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	宮城先端プロ「イチゴ局所温度管理及びイチゴIPM防除体系の確立」成果伝達会	宮城県名取市	30.11.27
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	イチゴの利用拡大セミナー	福島県郡山市	30.12.5
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	ICT活用勉強会	北上市	30.12.14
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	果菜3品実績検討会	北上市	30.12.20
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	トマト・キュウリサミット	埼玉県大宮市	31.1.31～2.1
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	未来を担う園芸産地一番星育成事業成果発表会	盛岡市	31.2.6
南部園芸研究室長 漆原 昌二	技術部 南部園芸研究室	先端プロ運営委員会	東京都	31.2.12
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	栽培指導者のための植物生理生態セミナー	愛知県豊橋市	31.2.13
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	施設園芸セミナー・機器資材展	東京都	31.2.14～15
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	いわてキュウリセミナー	北上市	31.2.22
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	野菜関係調査研究検討会	盛岡市	31.3.1
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	施設園芸研究者のためのシミュレーションモデル習得セミナー	北上市	31.3.5
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸学会平成31年度春季大会	神奈川県川崎市	31.3.22～24
生産環境研究室長 島 輝夫 上席専門研究員 高橋 良学 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	東北土壤肥料研究会(夏季)	青森市	30.7.4～5
環境部長 佐々木 裕二 生産環境研究室長 島 輝夫 上席専門研究員 菊地 淑子 上席専門研究員 高橋 良学 主任専門研究員 葉上 恒寿 専門研究員 小田島 芽里 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	東北土壤肥料研究会・生産環境推進部会	盛岡市	31.1.24～25
上席専門研究員 高橋 良学 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	日本土壤肥料学会東北支部会	青森市	30.7.3

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 高橋 良学 専門研究員 小田島 芽里	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会神奈川大会	神奈川県藤沢市	30.8.28～31
主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	土壌炭素調査法検討会	北海道岩見沢市・札幌市	30.10.3～5
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	土・水研究会	茨城県つくば市	31.3.13～14
技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	土づくり研究会(JA全農主催)	大阪市	30.11.21～22
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	土づくり推進シンポジウム	東京都	30.12.14
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	園芸学会・平成30年度秋季大会	鹿児島市	30.9.21～24
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	園芸学会・平成31年度春季大会	神奈川県川崎市	31.3.22～24
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	花き技術セミナー	金ヶ崎町(農大)	30.6.4
上席専門研究員 高橋 良学	環境部 生産環境研究室	生化学・食品分野イノベーション喚起交流会	盛岡市	31.3.5
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	東北直播研究会・稲栽培研究会	盛岡市	31.1.29
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	日本作物学会第247回講演会	茨城県つくば市	31.3.27～29
専門研究員 小田島 芽里	環境部 生産環境研究室	東北稲栽培研究会	盛岡市	31.1.29
専門研究員 小田島芽里	環境部 生産環境研究室	東北農業研究試験研究発表会	福島市	30.8.1
技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	いわてスマート農業祭	滝沢市	30.8.24
上席専門研究員 菊地 淑子 上席専門研究員 高橋 良学 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 白木 正俊 主任技能員 佐藤 広昭 主任技能員 猪澤 哲哉	環境部 生産環境研究室	スマート農業シンポジウム	北上市	31.1.21
専門研究員 小田島 芽里	環境部 生産環境研究室	農業環境インベントリー研究会	茨城県つくば市	31.2.28～3.1
技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	寒冷地果樹研究会	盛岡市	31.2.7～8
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	統計ソフト研修	滝沢市	30.6.22 30.6.29
技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	研究力向上セミナー	盛岡市	30.6.29
環境部長 佐々木 裕二	環境部	第72回北日本病害虫研究発表会	盛岡市	31.2.21～22

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「転換期に立つ植物防疫」	東京都	30.9.20
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「スマート農業時代の植物防疫を考える」	東京都	31. 1. 22
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉	環境部 病理昆虫研究室	第72回北日本病害虫研究発表会	盛岡市	31.2.21～22
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	30.11.15
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	農食事業「w天敵を用いた果樹の持続的ハダニ防除体系の確立」平成30年度第1回推進会議現地視察	秋田県横手市	30.9.14
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	30.11.15
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度 寒冷地果樹研究会 発表	盛岡市	31.2.7～8
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	第72回北日本病害虫研究発表会	盛岡市	31.2.20～22
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	第63回日本応用動物昆虫学会大会	つくば市	31.3.25～27
上席専門研究員 中野 央子	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	30.11.15
上席専門研究員 中野 央子	環境部 病理昆虫研究室	第72回北日本病害虫研究発表会	盛岡市	31.2.20～22
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2018	東京都	30.9.19
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度日本植物病理学会東北支部会 発表	山形市	30.9.27～28
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第29回土壌伝染病談話会	札幌市	30.10.18
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第12回植物病害診断研究会	宮崎市	30.11.9
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	30.11.15
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成31年度日本植物病理学会大会 発表	つくば市	31.3.18～20
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第72回北日本病害虫研究発表会 発表	盛岡市	31.2.21～22
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成31年度日本植物病理学会大会 発表	つくば市	31.3.18～20
専門研究員 武田 純子	環境部 病理昆虫研究室	植物病害診断教育プログラム	札幌市	30.8.27～31
専門研究員 武田 純子	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	30.11.15
専門研究員 武田 純子	環境部 病理昆虫研究室	Altマト病害虫診断研修	広島市	31.1.31～2.1
専門研究員 武田 純子	環境部 病理昆虫研究室	第72回北日本病害虫研究発表会	盛岡市	31.2.20～22
専門研究員 武田 純子	環境部 病理昆虫研究室	第63回日本応用動物昆虫学会大会	鹿児島市	31.3.25～27
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	日本土壌微生物学会2018年度	広島市	30.6.17
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2018	東京都	30.9.19

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度日本植物病理学会東北支部会 発表	山形市	30.9.27～28
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	30.11.15
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第6回生態と防除研究会	津市	30.12.17～18
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	果樹急性枯死症状ミーティング 発表	つくば市	31.2.4
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度 落葉果樹果樹研究会 発表	つくば市	31.2.5～6
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度 寒冷地果樹研究会 発表	盛岡市	31.2.7～8
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第72回北日本病害虫研究発表会 発表	盛岡市	31.2.21～22
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成31年度日本植物病理学会大会 発表	つくば市	31.3.18～20
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第12回植物病害診断研究会	つくば市	31.3.20
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第29回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	東京都	31.3.21
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度日本植物病理学会東北支部会	山形市	30.9.27～28
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第12回植物病害診断研究会	宮崎市	30.11.9
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第72回北日本病害虫研究発表会 発表	盛岡市	31.2.21～22
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第66回日本生態学会	神戸市	31.3.15～19
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第29回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	東京都	31.3.21
主査 遠藤 歩美	病害虫防除部 病害虫防除課	平成30年度「輸出植物検疫協議の迅速化委託事業」に関わる害虫種の種類・同定研修会	つくば市	30.8.2～3
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主査 佐藤美和子 主査 佐藤千穂子 主任 石川菜津美	病害虫防除部 病害虫防除課	東北農業試験研究推進会議 病害虫研究会（夏季）	北上市、一関市	30.8.23～24
課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一	病害虫防除部 病害虫防除課	日本植物病理学会東北部会	山形市	30.9.27～28
主任主査 猫塚 修一	病害虫防除部 病害虫防除課	生態と防除研究会	三重県	30.12.17～18
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一 主任主査 名久井一樹 主査 吉田 雅紀 主査 遠藤 歩美 主査 佐藤美和子 主査 佐藤千穂子 主任 石川菜津美	病害虫防除部 病害虫防除課	岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	30.11.15
主査 吉田 雅紀 主任 石川菜津美	病害虫防除部 病害虫防除課	植物病害診断研究会	宮崎市	30.11.6
主任 石川菜津美	病害虫防除部 病害虫防除課	イネ縞葉枯ウイルスを保毒するヒメトビウソカノ簡易検定法に関する研修会	つくば市	30.12.13
主査 佐藤千穂子	病害虫防除部 病害虫防除課	病害虫防除所職員等中央研修	横浜市	30.12.4～7

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査 佐藤千穂子	病虫害防除部 病虫害防除課	東北地区病虫害同定識別技術研修会	塩釜市	31.2.28～3.1
主任主査 猫塚 修一 主査 遠藤 歩美	病虫害防除部 病虫害防除課	東北地区病虫害防除所職員技術研修会	仙台市	31.1.24
主任主査 名久井一樹	病虫害防除部 病虫害防除課	日植防シンポジウム「転換期にたつ植物防疫」	東京都	30.9.20
主査 佐藤美和子	病虫害防除部 病虫害防除課	農業レギュラトリーサイエンス研究会	東京都	30.11.27
主任主査 名久井一樹 主査 遠藤 歩美	病虫害防除部 病虫害防除課	落葉果樹研究会	つくば市	31.2.5～6
主任主査 名久井一樹 主査 遠藤 歩美	病虫害防除部 病虫害防除課	寒冷地果樹研究会	盛岡市	31.2.7～8
課長 勝部 和則 主査 吉田 雅紀 主査 佐藤美和子 主査 佐藤千穂子	病虫害防除部 病虫害防除課	東北農業試験研究推進会議 病虫害研究会	盛岡市	31.1.24～25
主査 吉田 雅紀	病虫害防除部 病虫害防除課	北陸病虫害研究会	福井市	31.2.19～20
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一 主任主査 名久井一樹 主査 吉田 雅紀 主査 遠藤 歩美 主査 佐藤美和子 主査 佐藤千穂子	病虫害防除部 病虫害防除課	北日本病虫害研究会	盛岡市	31.2.21～22
課長 勝部 和則	病虫害防除部 病虫害防除課	農薬の空中散布等に係る技術検討会	東京都	31.2.25
主任主査 猫塚 修一	病虫害防除部 病虫害防除課	発生子察事業検討会	東京都	31.3.5
課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一 主任主査 名久井一樹	病虫害防除部 病虫害防除課	日本植物病理学会大会	つくば市	31.3.18～20
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修会・肉用牛生産技術指導者養成(1)	福島県西郷村	30.6.25～29
技師 土谷 のぞみ	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会・肉用牛生産技術指導者養成(1)	福島県白河市	30.10.15～19
主任専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	福島県白河市	30.6.11～15
主任専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	福島県白河市	30.10.1～12
主査専門研究員 高杉 亘 技師 土谷 のぞみ	畜産研究所 家畜育種研究室	食肉の官能評価ワークショップ	茨城県つくば市	30.10.24～25
主査専門研究員 高杉 亘	畜産研究所 家畜育種研究室	種豚登録講習会		30.10.15～16
家畜育種研究室長 細川 泰子 上席専門研究員 昆野 勝 主査専門研究員 安田 潤平	畜産研究所 家畜育種研究室	肉用牛繁殖技術シンポジウム	盛岡市	31.2.19

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 高橋 優希	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	中央畜産技術研修会(酪農)	福島県白河市	31.11.6～9
専門研究員 高村 聡美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	第65回日本草地学会広島大会 ポスター発表	広島県	31.3.25～27
次長兼室長 熊谷 光洋	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度部課長研修	盛岡市	30.9.11
次長兼室長 熊谷 光洋	畜産研究所 種山畜産研究室	FAMS第15回全体研修会	盛岡市	30.9.20
次長兼室長 熊谷 光洋	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度第3回管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	盛岡市	30.10.19
主査専門研究員 高畑 博志	畜産研究所 種山畜産研究室	出納員研修	盛岡市	30.5.18
主査専門研究員 高畑 博志	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度県南広域振興局管内の担当課長、総括主査等会計事務研修	奥州市	30.7.18
主査専門研究員 高畑 博志	畜産研究所 種山畜産研究室	安全運転管理者講習	大船渡市	30.10.12
専門研究員 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	日本畜産学会第125回大会	東京都	31.3.28～29
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度会計事務基本研修(第1期)	奥州市	30.6.25,26
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度女性職員リーダー研修	盛岡市	30.7.18
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度奥州審査指導管内会計事務担当職員及び若手職員等研修	奥州市	30.10.31
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度会計事務基本研修(第2期)	盛岡市	30.11.22
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度奥州審査指導管内会計事務研修	奥州市	31.2.7
専門研究員 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度人工授精担当者特別講演会	盛岡市	31.3.7
技師 篠崎 創	畜産研究所 種山畜産研究室	ITサポート研修会	奥州市	30.6.15
技師 篠崎 創	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成(2))	福島県西郷村	30.10.15～19
技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度中央畜産技術研修会(新任畜産技術職員(2))	福島県西郷村	30.9.4～6
技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度人工授精担当者特別講演会	盛岡市	31.3.7
主査専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	日植防シンポジウム 「スマート農業時代の植物防疫を考える」	東京都	31.1.22
主査専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	第73回北日本病害虫研究発表会	盛岡市	31.2.21～22
総務課長 柴田 博之	県北農業研究所 総務課	平成30年度安全衛生担当者研修会	盛岡市	30.4.20
総務課長 柴田 博之 主任行政専門員 向駒木 幸悦	県北農業研究所 総務課	平成30年度第1回会計事務研修会	二戸市	30.4.24
総務課長 柴田 博之	県北農業研究所 総務課	平成30年度出納員研修	盛岡市	30.5.18
上席専門研究員 金森 靖	県北農業研究所 園芸研究室	ITサポート研修会	久慈市	30.6.7
所長 高橋 好範他	県北農業研究所 総務課	平成30年度第2回会計事務研修会	二戸市	30.11.19
所長 高橋 好範	県北農業研究所	スマート農業に関する関係団体職員向け勉強会	花巻市	30.12.26
総務課長 柴田 博之	県北農業研究所 総務課	平成30年度第3回会計事務研修会	二戸市	31.1.22

4 所内研修等

(1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
研究企画室長 高城 保志	企画管理部 研究企画室	新任担当課長等研修	人事課主催	30.4.11～13
研究企画室長 高城 保志	企画管理部 研究企画室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.6.15
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	30.4.26
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	30.7.1～ 12.31
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	30.7.1～ 12.31
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	新採用職員研修	人事課主催	30.4.16～20 30.6.18～21 30.10.2～5
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	30.7.1～ 12.31
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	30.7.1～ 12.31
主査 熊谷 和泉	企画管理部 総務課	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.7.13
主任 坂田 真樹子	企画管理部 総務課	安全衛生担当者研修会	総務事務センター 主催	30.4.20
技術部長 扇 良明	技術部	ダイバーシティマネジメント研修	人事課主催	30.6.5
技術部長 扇 良明	技術部	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.7.13
上席専門研究員 仲條 眞介	技術部 作物研究室	プレイング・マネージャー研修	人事課主催	30.5.29～30
主査専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	新任主査研修	人事課主催	30.9.10～12
主査専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
主査専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座 問題発見解決力向上講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
技師 関村 真梨歩	技術部 作物研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	30.6.20～22
技師 高橋 祐也	技術部 作物研究室	平成30年度 新採用職員研修	人事課主催	30.4.16～20 30.6.18～21 30.10.16～19
作物研究室長 小田中 温美	技術部 作物研究室	女性管理監督者マネジメント力向上研修	人事課主催	30.12.13
作物研究室長 小田中 温美	技術部 作物研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	人事課主催	30.8.3
野菜花き研究室長 川戸 善徳	技術部 野菜花き研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	30.4.23
野菜花き研究室長 川戸 善徳	技術部 野菜花き研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	30.5.14～16
野菜花き研究室長 川戸 善徳	技術部 野菜花き研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	人事課主催	30.8.3
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	30.4.26

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 田代 勇樹	技術部 野菜花き研究室	新任主査研修	人事課主催	30.9.10～12
主査専門研究員 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	新任主査研修	人事課主催	30.8.22～24
主査専門研究員 小田島 雅	技術部 野菜花き研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	30.8.25～ 12.31
技師 佐藤 春菜	技術部 野菜花き研究室	新採用職員研修	人事課主催	30.4.16～20 30.6.18～21 30.10.9～12
南部園芸研究室長 漆原 昌二	技術部 南部園芸研究室	コンプライアンス推進員研修	盛岡市	30.4.23
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園研研究室	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.7.13
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.10.19
主任技能員 佐藤 広昭	環境部 生産環境研究室	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.7.13
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉	環境部 病理昆虫研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	30.4.23
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉	環境部 病理昆虫研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	30.5.23～25
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	30.7.2～4
病虫害防除部長 一守 貴志	病虫害防除部	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.6.15
病虫害防除部長 一守 貴志	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕 企業会計講座〔応用編〕	人事課主催	30.9.1～ 12.31
病虫害防除課長 勝部 和則	病虫害防除部 病虫害防除課	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	30.8.3
病虫害防除課長 勝部 和則	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
主任主査 猫塚 修一	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
主査 吉田 雅紀	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座 プレゼンテーション講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
主査 遠藤 歩美	病虫害防除部 病虫害防除課	女性職員リーダー研修	人事課主催	30.7.18
主査 佐藤 美和子	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
主査 佐藤 美和子	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
主任 石川 菜津美	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	30.9.1～ 12.31
主任 石川 菜津美	病虫害防除部 病虫害防除課	女性職員キャリアデザイン研修	人事課主催	30.9.3～4
技能員 日下 貴行	畜産研究所	新採用職員研修	人事課主催	30.4.16～20 6.18～21 10.2～5
技能員 廣田 裕誠	畜産研究所	新採用職員研修	人事課主催	30.4.16～20 6.18～21 10.9～12

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
外山畜産研究室長 大宮 元	畜産研究所 外山畜産研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	人事課主催	30.6.15
家畜育種研究室長 細川 泰子	畜産研究所	女性管理監督者マネジメント力向上研修	総務部主催	30.12.13
家畜飼養・飼料研究室 及川 修	畜産研究所	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	人事課主催	30.8.3
主任技能員 工藤 明彦	畜産研究所	新採用職員指導担当者研修	人事課主催	30.4.26
主任技能員 荒屋 康之	畜産研究所	新採用職員指導担当者研修	人事課主催	30.4.26
技能員 千葉 弘和	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度 採用3年目職員研修	人事課主催	30.7.11～13
所長 高橋 好範	県北農業研究所	新任総括課長等研修	人事課主催	30.4.9～10
作物研究室長 長谷川 聡	県北農業研究所 作物研究室	平成30年度新任担当課長研修	人事課主催	30.4.11～13
技師 吉津 祐貴	県北農業研究所 作物研究室	平成30年度新採用職員研修(前期)	人事課主催	30.4.16～20
技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	平成30年度採用3年目職員研修	人事課主催	30.8.1～3
技師 吉津 祐貴	県北農業研究所 作物研究室	平成30年度新採用職員研修(後期)	人事課主催	30.10.16～19

(2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	平成30年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.5.28～29
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	平成30年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.8.20～27
技師 高橋 祐也	技術部 作物研究室	平成30年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.5.28～29
技師 高橋 祐也	技術部 作物研究室	平成30年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.7.17～23
技師 佐藤 春菜	技術部 野菜花き研究室	平成30年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.5.28～29
技師 佐藤 春菜	技術部 野菜花き研究室	平成30年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.8.20～27
技能員 日下 貴行	畜産研究所	平成30年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.5.28～29
技能員 廣田 裕誠	畜産研究所	平成30年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.5.28～29
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	平成30年度農林水産部会計事務担当職員研修会	盛岡市	30.12.7
技師 吉津 祐貴	県北農業研究所 作物研究室	平成30年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.5.28～29
技師 吉津 祐貴	県北農業研究所 作物研究室	平成30年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	30.8.4～10

(3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師：研究企画室員	研究企画室	30.4.6
スキルアップセミナー	本部	プレゼンテーション・資料作成編 ・プレゼンが上手になる方法 ・身近なソフトウェアでできる！ちょっと気の利いた資料の作り方 講師：(農研機構)東北農業研究センター 主任研究員	研究企画室	30.7.3
会計事務等研修会①	本部	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法等 講師：総務課員	総務課	30.5.10
会計事務等研修会②	本部	年度末及び年度当初の会計事務等 講師：総務課員	総務課	31.2.15
交通安全研修会①	本部	交通安全講話・DVD視聴 講師：北上警察署交通課職員	総務課	30.7.18
交通安全研修会②	本部	交通安全講話・DVD視聴 講師：北上警察署交通課職員	総務課	30.11.30
管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	本部	職場における健康管理 講師：中部保健所長	総務課	30.8.7
救急救命・AED操作講習会	本部	基本的心肺蘇生法及びAEDの操作について 講師：北上消防署員	総務課	30.8.29
健康推進研修	本部	健康はつらつウォーキング 講師：(公財)岩手県予防医学協会職員	総務課	30.11.6
交通安全研修会	南部園芸研究室	交通安全の啓発、交通安全教育教材の視聴	南部園芸研究室	30.8.27
健康推進事業研修会	畜産研究所	働き盛りから始める高血圧対策について 講師：(公財)予防医学協会保健師	総務課	30.8.24
交通安全研修会	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識講話 講師：盛岡西警察署交通課交通企画係長	総務課	30.8.24
農作業安全研修会	畜産研究所	農作業対策のポイント及び農業機械等の点検箇所について 講師：(株)みちのくクボタサービス本部第3ブロック長	総務課	30.9.6
健康管理研修会	畜産研究所	働き盛りのメンタルヘルス対策について 講師：県央保健所職員	総務課	30.9.28
セクハラ・パワハラ研修会	畜産研究所	セクハラ・パワハラの防止について 講師：総務担当次長	総務課	30.9.28
第1回会計事務処理研修会	畜産研究所	物品購入事務等に係る事務処理の留意点について、会計事務の適正な事務処理について 講師：盛岡広域振興局盛岡審査指導監職員	総務課	30.10.26
文書作成事務研修会	畜産研究所	公用文作成の基礎について 講師：総務担当次長	総務課	30.10.26
心肺蘇生等・AED操作研修会	畜産研究所	心肺蘇生等・AED講習会 講師：滝沢消防署滝沢北出張所署員	総務課	30.11.29
第2回会計事務研修会	畜産研究所	収入・支出事務の留意事項について、物品購入事務の留意事項について 講師：盛岡広域振興局盛岡審査指導監職員	総務課	31.1.30
第1回安全衛生研修	県北農業研究所	熱中症予防と応急手当 講師：二戸消防署軽米分署員 夏場の健康管理 講師：二戸保健所職員	総務課	30.6.21
交通安全研修会	県北農業研究所	交通安全の啓発、講話、DVD視聴 講師：二戸警察署員	総務課	30.9.12
第2回安全衛生研修	県北農業研究所	心肺蘇生法及びAEDによる緊急蘇生対応 講師：二戸消防署軽米分署員	総務課	30.11.19

5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
【本部】 [プロジェクト推進室] (なし)			
【企画管理部】 農業研究センター全体研修会	30.7.3	第1回スキルアップセミナー ～ プレゼンテーション・資料作成編 (1) 農家向けプレゼンテーションの内容とその解説 プレゼンが上手になる方法 ～未来への提言＝スーパープレゼンテーションということ～ 講師: 農研機構 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 技術評価グループ 主任研究員 安江 紘幸 氏 (2) 身近なソフトウェアでできる! ちょっと気の利いた資料の作り方 講師: 農研機構 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 農業気象グループ 主任研究員 大久保さゆり	26 名
【技術部】 技術部ゼミ	30.5.8	岩手農研のコンテンツあれこれ 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員)	11 名
	30.7.26	東北農業試験研究発表会の発表予行(1F小会議室) 大野 浩(果樹研究室 主査専門研究員) 仲條 眞介(作物研究室 上席専門研究員) 小館 琢磨(作物研究室 主査専門研究員) 藤岡 智明(作物研究室 専門研究員)	12 名
		技術部試験圃場見学会 田代 勇樹((野菜花き研究室 主査専門研究員) 高規格温室 大野 浩(果樹研究室 主査専門研究員) 醸造ぶどう垣根仕立て 齋藤 智子(作物研究室 主査専門研究員) 緑肥ひまわり 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員) りんどう育種圃場 高橋 祐也(作物研究室 技師) 立毛検討会指示系統	12 名
	30.11.8	研究不正について 扇 良明(技術部長) 研究成果の書き方を考える 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員)	14 名
	30.12.14	農家体験研修を振り返って 高橋 祐也(作物研究室 技師) 佐藤 春菜(野菜花き研究室 技師)	11 名
	31.3.26	中国語講座 高橋 祐也(作物研究室 技師)	8 名
【環境部】 環境部ゼミ	30.6.21	土壌肥料学会東北支部会発表練習 白木正俊(生産環境研究室 技師)	7 名
環境部・防除部合同ゼミ	31.2.15	北日本病害虫研究発表会(2019.2.21～22開催・盛岡市)の講演予行 演習	12 名
【病害虫防除部】 (なし)			

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[畜産研究所] 第1回セミナー	30.7.13	(1)第61回東北農業試験研究発表会(7/31開催) 予演会 演題:国産穀類を主体に給与した南部かしわの発育及び産肉成績 発表者:家畜育種研究室 吉田登 上席専門研究員 (2)「Rで学ぶデータ処理概論(第2回)」講習会 伝達研修 伝達者:家畜育種研究室 土谷のぞみ 技師	13 名
第2回セミナー	30.8.7	(1) 第68回東北畜産学会秋田大会(8/31開催) 予演会 演題:ホルスタイン種経産牛における性判別精液の受胎率向上のための人工授精牛の選定指標(乳蛋白質率およびMUN) 発表者:家畜育種研究室 昆野勝 上席専門研究員 (2) Wild Cup講習会(8/9-10開催) 予演会 演題:日本短角種肥育素牛1頭からもう一頭の肥育牛を生産!! ～日本短角種肥育農家の所得向上に向けて～ 発表者:家畜育種研究室 土谷のぞみ 技師	11 名
第3回セミナー	31.3.5	(1)第125回日本畜産学会 予演会 「パークシャー種肥育後期における粳米及び玄米の混合給与が発育、肉質及び収益性に及ぼす影響」 演者:家畜育種研究室 高杉亘 主査専門研究員 (2)日本草地学会 予演会(ポスター発表) 「岩手県の転作田におけるフェストロリウムの適応性」 演者:家畜飼養・飼料研究室 高村聡美 専門研究員	15 名
[県北農業研究所] 第1回所内ゼミ	30.4.23	・吉津祐貴 技師 「イネ科植物の開花分子メカニズムの解析」 ・横田 啓 主査専門研究員 「春まきタマネギにおける殺虫剤の散布頻度がネギアザミウマの発生と	12 名
第2回所内ゼミ	30.5.24	・荻内謙吾 次長兼園芸研究室長 「研究成果発表における統計解析」 ・高草木雅人 主任専門研究員 「ゲノム情報を活用した水田および中山間畑作地域で高収益を可能にする	14 名
第3回所内ゼミ	30.6.27	・長谷川聡 作物研究室長 「統計資料から見た雑穀栽培と今後の方向」	11 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[県北農業研究所] 第4回所内ゼミ (圃場巡回)	30.7.12	<ul style="list-style-type: none"> ・高草木雅人 主任専門研究員 「作業能率の高い雑穀機械移植栽培法の確立」 ・横田 啓 主査専門研究員 「コナガを中心としたアブラナ科害虫防除体系の確立」 ・小野直毅 技師 「ミヤマトウキ苗安定生産技術の確立」 ・荻内謙吾 次長兼園芸研究室長 「水田転換畑における加工業務用寒玉キャベツの栽培適性予備試 ・吉津祐貴 技師 「水稻奨励品種決定調査」 ・下川原 智 専門研究員 「飼料米『岩手122号』施肥法の確立 ・熊谷初美 専門研究員 「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と 現地導入実証 地域に適應する栽培技術の確立」 ・金森 靖 上席専門研究員 「加工・業務用途向けの寒玉キャベツ栽培法の確立」 ・細越翔太 技師 「中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギの新 作型の開発～タマネギ初冬どり新作型の開発～」 	14 名
第5回所内ゼミ	30.9.13	<ul style="list-style-type: none"> ・金森 靖 上席専門研究員 「農地転用許可制度について」 ・下川原 智 専門研究員 「飼料米『たわわっこ(岩手122号)』栽培法 中間報告」 ・横田 啓 主査専門研究員 「岩手県における春まきタマネギ栽培の全自動機械移植機に適する 育苗培土への被覆肥料添加割合」 	11 名
第6回所内ゼミ	31.1.18	<ul style="list-style-type: none"> ・熊谷初美 専門研究員 「岩手県北地域の春まきタマネギ栽培における品種の選定」 ・細越翔太 技師 「岩手県のタマネギ初冬どり新作型における育苗条件の違いが セット球の大きさならびに収量に及ぼす影響」 	12 名
第7回所内ゼミ	31.2.15	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋好範 所長 「県北地域で実施した施肥窒素の挙動に関する試験について」 ・横田 啓 主査専門研究員 「春まきタマネギにおけるネギアザミウマ防除対策」 	10 名
第8回所内ゼミ	31.3.12	<ul style="list-style-type: none"> ・下川原 智 専門研究員 「岩手県北部における飼料用水稲品種「たわわっこ」の 多収・安定生産のための施肥法及び立毛乾燥技術の適應性の検討」 ・吉津祐貴 技師 「QTL-seq解析によるアワ(Setaria italic)の草丈に関する 遺伝子領域の同定」 	11 名

VII 試験研究以外の業務概要

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種

(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	あきたこまち	5	82	農業研究センター
	どんぴしゃり	2	40	〃
水稻(酒米)	吟ぎんが	1	32	〃
水稻(もち)	めんこもち	1	5	〃
水稻(飼料用米)	つぶゆたか	2	14	〃
小麦	ナンブコムギ	30	420	〃
大豆	—	—	—	—

(2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(単位)	備考(採種場所等)
りんどう	(平成30年度:無し)	—	—	—

2 作物の原種の採種

(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	金色の風	28	480	農業研究センター
	銀河のしずく	110	2,500	〃
	あきたこまち	85	2,100	〃
	どんびしやり	24	1,160	〃
	かけはし	20	360	
	ひとめぼれ	351	12,030	〃
水稻(酒米)	吟ぎんが	5	113	農業研究センター
水稻(飼料用米)	たわわっこ	25	540	農業研究センター
水稻(飼料用米)	つぶゆたか	25	620	農業研究センター
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
	めんこもち	15	220	農業研究センター
小麦	ナンブコムギ	177	1,560	農業研究センター
	ゆきちから	213	5,460	〃
	銀河のちから	80	990	〃
大豆	リュウホウ	150	2200 (調整中。見込数量)	農業研究センター

(2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	岩手大納言	9	53	農業研究センター
そば	-	-	-	-
ヒエ	軽米在来(白)	0.1	0.23	県北農業研究所
キビ	-	-	-	-
アワ	ゆいこがね	0.5	0.7	-

3 種苗等の配布

(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種類	品種	数量(kg)	配布先
水稲うるち原種 (平成31年採種圃播種用)	ひとめぼれ	11,200	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	2,040	〃
	いわてっこ	1,340	〃
	どんびしゃり	440	〃
	かけはし	160	〃
	銀河のしずく	580	〃
	金色の風	300	〃
酒造好適米原種 (平成31年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	30	〃
	結の香	20	〃
水稲非主食用米原種 (平成31年採種圃播種用)	つぶゆたか	500	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	たわわっこ	480	〃
水稲もち原種 (平成31年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,200	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	75	〃
小麦原種 (30年採種圃播種用)	ナンブコムギ	3,443	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	4,320	〃
	銀河のちから	480	〃
大豆原種 (30年採種圃播種用)	ナンブシロメ	264	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	1,460	〃
	シュウリュウ	460	〃
	ユキホマレ	25	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

(2) その他種苗の配布

種類	品種・系統	数量(単位)	配布先
水稲(新形質米等) (平成31年一般播種用)	きらほ	20(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
小豆原種	岩手大納言	3(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	1(kg)	〃
ヒエ原種	達磨 (H24産)	1.0(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
アワ原種	ゆいこがね (H25産)	0.2(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
キビ原種	-	-	-
そば原種	-	-	-
りんどう	採種用母株(実生苗)		
	Ho(16-55)	400株	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	Ha(14-15)	400株	〃
	Ha(17-102)	400株	〃
	ENg(17-2)	200株	〃
	ITc(16-18)	400株	〃
	NgI(17-35)	200株	〃
	Ba(07-535)	200株	〃
Ba(07-553)	200株	〃	
りんご	苗木生産用穂木 雪いわて(岩手4号)	2.0(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター

4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成31年3月22日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊勝久	200	255	115	225	171	210	901	1,005	983	710	532		5,307
菊福秀	257	257	185	185	167	130	144	97	130	113	60		1,725
辰美継	15	12	44	25	20	2	100	50	110	50	120		548
花金幸	8	87	35	52	54	0	68	25	42	30	30		431
花安勝	20	30	33	38	26	30	28	15	25	23	8		276
月山桜	35	3	50	15	35	38	0	30	0	10	0		216
雪乃花	0	0	30	30	30	0	0	30	0	0	0		120
安久勝晃	0	0	0	0	0	10	0	3	10	20	75		118
美津福勝	0	0	0	45	20	3	10	10	25	0	0		113
百合茂勝	30	13	20	0	30	5	0	10	0	0	0		108
山根雲	13	11	5	10	10	14	19	10	5	10	0		107
岩洋永克	0	0	20	15	23	15	0	10	15	0	0		98
暁雲	0	0	0	10	25	15	5	18	10	10	0		93
金菊徳	0	30	0	0	0	0	0	0	30	5	0		65
緑乃大地	12	10	0	0	30	0	0	0	0	10	0		62
その他	50	5	25	15	20	12	10	10	12	35	5		199
計	640	713	562	665	661	484	1,285	1,323	1,397	1,026	830		9,586

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉誉	15	0	30	0	0	2	0	20	0	5	27		99
川春	0	10	10	0	0	10	0	0	10	0	0		40
立美	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0		32
辰藤	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0		30
松福	0	0	0	0	0	2	0	20	2	5	0		29
民姫	0	0	0	0	0	0	0	10	12	0	0		22
琴国宝	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0		20
その他	0	0	0	0	0	0	0	10	15	0	0		25
計	15	10	40	0	0	14	0	142	39	10	27		297

5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成31年3月31日現在)

(1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(頭)	雄(頭)	去勢(頭)	
L	-	-		県内養豚農場
B	-	1	70	県内養豚農場
LW	-	-	-	県内養豚農場
その他	-	-	6	県内養豚農場
計	0	1	76	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	2,078	870	2,788	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成30年5~10月)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	42	1	31	74

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	8	1	4	13

VIII 人事、予算、財産

Ⅷ 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算 (H30年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
【農業費】		
人件費(本部)		647,752
人件費(県北)		107,653
庁舎管理費(本部)		120,141
庁舎管理費(県北)		22,052
ほ場管理費(本部)		48,058
ほ場管理費(県北)		3,403
ふれあい公園管理運営費		13,670
試験研究費(国庫、委託試験等)		202,769
(1)植物防疫研究費	12,823	
(2)土壌対策研究費	3,722	
(3)外部資金等農業試験研究費	186,224	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		12,761
主要農作物採種管理費		23,010
令達事業(本部)		27,146
令達事業(県北)		396
合 計		1,228,811
【畜産業費】		
人件費(畜産)		392,770
庁舎管理費		67,729
飼育管理費		150,990
管理運営費(種山畜産研究室分)		137,177
試験研究費(国庫、委託試験等)		33,130
農業関係試験研究委託事業	33,130	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		17,933
令達事業		48,826
合 計		848,555
全 体 計		2,077,366

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H31.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m ²)		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,596	1,695	297	35	2,028	150	37,671
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				112	112	108	0.4	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	16	1,596	1,786	313	85	2,183	247	76,079

(2) 飼養家畜頭数 (H31.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		39	39	ホルスタイン種 67
	育成牛(子牛含む)		28	28	
肉用牛	(滝沢)	104 (雄58, 去勢46)	45	149	黒毛和種 57、日本短角種 87 (子牛除く) 黒毛和種 69、日本短角種 49 (育成牛・子牛を含む) 黒毛和種 126 (育成牛を含む)
	(外山)	12 (子牛12)	118 (子牛19)	130	
	(種山)	94 (雄49, 去勢45)	36	130	
	牛 計	210	266	476	
豚	種豚	16	32	48	【種豚の内訳】 バークシャー種 125、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 11、デュロック種 1、雑種 70
	その他	-	-	159	
	計	16	32	207	
鶏	種鶏	-	-	1,915	岩手地鶏261、岩手大型ロード144、新ロード525、基礎鶏344、ホワイトロックロード581、ホワイトロック60

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	〃
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	〃
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	〃
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	〃
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	〃
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	〃
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	〃
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権消滅
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	〃
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	育成者権消滅
大豆	ぶっくらこ	第11,100号	H15.3.17	〃
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	〃
きく	アイمامアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	育成者権消滅
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	〃
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	〃

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	育成者権消滅
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	〃
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	〃
稲	どんびしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	育成者権消滅
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	〃
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	〃
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	育成者権消滅
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	〃
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	〃
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	育成者権消滅
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	〃
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	〃
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	育成者権消滅
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	育成者権消滅
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	第23,454号	H26. 6.30	
りんどう	いわて夢みつき	第24,342号	H27. 6. 9	
稲	きらほ	第24,582号	H27.11.19	
あわ	ゆいこがね	第25,234号	H28. 6.10	
きび	ひめこがね	第26,971号	H30. 8.13	
りんどう	いわてLB-3号	第25,770号	H29. 3. 1	
りんどう	いわてLB-4号	第25,771号	H29. 3. 1	
稲	岩手117号	第26,436号	H30. 1.24	
稲	銀河のしずく	第26,561号	H30. 3.29	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわてVEB-7号	第26,414号	H30. 1.24	
りんどう	いわてEB-1号	第26,415号	H30. 1.24	
りんご	雪いわて	第26,691号	H30. 5.16	
稲	金色の風	出願番号第31,551号	出願(H28.11. 1)	
りんどう	いわてEB-2号	第27,159号	H30. 1.23	
りんどう	いわてMB-2号	第27,160号	H30. 1.23	
稲	たわわっこ	出願番号第32,947号	出願(H30. 3.16)	
いちご	そよかの	出願番号第33,721号	出願(H31. 2.19)	

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の成育状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1.13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558(H24. 6.15)
切断器具	特開2014-204881(H26.10.30)	6120275(H29. 4. 7)
植物の栽培方法及び植物の栽培装置	特開2015-173612(H27.10. 5)	6369827(H30. 7.20)

(3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

※開発者の所属・職名は、公開当時のもの。

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(外部表彰) 「若手農林水産研究者表彰」 農林水産省農林水産技術会議事務局	環境部	病理昆虫研究室	主査専門研究員	岩館 康哉	キュウリホモブシス根腐病の総合防除対策の確立	30.11.21
(内部表彰) 平成30年度岩手県職員表彰(業績顕著者表彰)	環境部 (一関農林振興センター (農業普及技術課 (宮古農業改良普及センター	病理昆虫研究室	主査専門研究員 農政推進課長 主任 主任	岩館 康哉 大友 令史) 菅 広和) 村上 太郎)	ホップの安定生産に向けた農薬登録を推進し、効率的な病害虫の防除体系の確立及び普及	30.11.2
(内部表彰) 平成30年度第1回農林水産部長表彰	環境部	病理昆虫研究室	主査専門研究員	岩館 康哉	ナス果実小陥没症の被害防止対策の早期提示	30.11.16
	企画管理部	総務課	主任主査 非常勤職員 非常勤職員 非常勤職員 元非常勤職員	小原 正輝 藤原 勝栄 伊藤 義晴 八重樫 武見 佐々木きし子	農業科学博物館入館者数の回復と試験研究機関の認知度向上に向けた取組	
	畜産研究所		首席専門研究員 兼家畜育種研究室長 専門研究員	細川 泰子 佐々木 康仁	飼料用米を活用したパークシャー種のブランド化に向けた黒豚生産者との連携強化	
(内部表彰) 平成30年度第2回農林水産部長表彰	畜産研究所	種山畜産研究室			(機関表彰) 基幹種雄牛「菊勝久(きくかつひさ)」号の作出	31.3.28
(内部表彰) 平成30年度第1回農業研究センター所長表彰(通算32回)	病虫害防除部	病虫害防除課	主査 主任主査	○佐藤美和子 猫塚 修一	トマト黄化えそ病の発生要因に基づく防除対策の徹底指導で被害ゼロに	30.9.18
(内部表彰) 平成30年度第2回農業研究センター所長表彰(通算33回)	プロジェクト推進室		主査専門研究員	寺田 道一	岩手県における鉄コーティング湛水直播の技術普及のための研究	31.2.19
	企画管理部	研究企画室 総務課	(機関表彰)		新規大型外部資金の実施に係る膨大な企画調整及び経理事務の平準化の取組	
	企画管理部	総務課	主任	織田 恭定	「会計注意情報」の発行開始	
	企画管理部	農業経営研究室	主査専門研究員	吉田 徳子	集落営農組織の課題と法人化に向けた取組方向の提示	
	技術部	野菜・花き研究室	専門研究員	小澤 傑	鉢花向け青色リンドウ品種「Bzc1」の育成	
	技術部	作物研究室	上席専門研究員	永富 巨人	水稻品種『金色の風』の収量構成要素 のとりまとめ	
	技術部	果樹研究室	主査専門研究員	大野 浩	「シャインマスカット」の短梢栽培における適正着果量の解明	
	技術部	野菜・花き研究室 研究企画室	主査専門研究員 上席専門研究員 主任専門研究員	阿部 弘 輪達 公重 佐々木 忍	リンドウまだら退色症状の発生における品種間差異の解明	
	環境部	生産環境研究室	上席専門研究員	菊地 淑子	リンドウの施肥管理及び鮮度保持に関する研究成果のとりまとめ	
	環境部	生産環境研究室	専門研究員	小田島 芽里	「金色の風」の栄養診断基準の策定および「金色の風」「銀河のしずく」各品種向けの追肥省略型肥料の開発	
	環境部	生産環境研究室	技師	白木 正俊	りんごにおける補給型施肥基準の検証	
	環境部	生産環境研究室	上席専門研究員 主任専門研究員	高橋 良学 葉上 恒寿	県内水田・畑地土壌35年間の施肥管理と化学性の変化の解明	
	環境部	病理昆虫研究室	上席専門研究員	加藤 真城	「モモンクイガ多発りんご園周辺園地における交信かく乱剤の追加防除の評価」のとりまとめ	
	(次ページに続く)	環境部	病理昆虫研究室	主査専門研究員	岩館 康哉	

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(前ページ続き) 平成30年度第2回	病害虫防除部		主任主査 主査	名久井 一樹 遠藤 歩美	県産りんごのカナダ向け輸出の実現に大きく貢献	31.2.19	
	病害虫防除部		主査	佐藤 美和子	業務量の大幅縮減が可能となるリンドウホソハマキの新たな発生予察技術の開発		
	病害虫防除部		主任主査	猫塚 修一	平成30年度日本植物病理学会東北部会『地域貢献賞』及び第11回北日本病害虫研究会賞(研究報文部門)をW受賞		
(内部表彰) 平成30年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰	畜産研究所	外山畜産研究室	専門研究員	佐々木 康仁	飼料用米を活用したパーク シャール種のブランド化	30.9.5	
		家畜飼養・飼料研究室	主査専門研究員 主任技能員 主任技能員 主任技能員 技能員 非常勤職員 非常勤職員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員	佐藤 真 右京 隆二 谷地 舘 透 葉木 澤 一也 中軽米 徳典 米澤 健治 畠山 健成 佐々木 ミネ子 佐藤 順恵 大畑 綾子	天候不順下での牧草の収穫増の達成		
		家畜育種研究室	上席専門研究員 主任技能員 主任技能員 主任技能員 技能員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員 期限付臨時職員 期限付臨時職員	吉田 登 永洞 俊司 菅原 薫 細野 貴樹 妻神 大己 高橋 多鶴子 土井 尻 ヤス子 中村 真弓 角掛 富夫 布台 真紀子 藤原 愛恵	ぐるぐる玉子による畜産研究所のPR等		
(内部表彰) 平成30年度第2回 農業研究センター 畜産研究所長表彰	畜産研究所	総務課	主任主査	小野 演彦	所内予算編成、施設管理の適性事務及び会計事務の適正化に貢献	31.3.20	
		家畜飼養・飼料研究室	専門研究員	高村 聡美	耐湿性に優れるフェストロリウム新品種の適応性を明らかにし、粗飼料生産の向上に貢献		
		家畜飼養・飼料研究室	主任技能員 主査専門研究員 専門研究員 主任技能員 " " 技能員 臨時職員 " " 非常勤職員 日々雇用職員	荒木田 俊一 越川 志津 高橋 優希 鳴海 茂輝 畠山 博文 荒屋 康之 廣田 裕誠 田澤 淳市 大崎 正則 橋本 沙織 斉藤 健 北田 江美子	乳牛の快適な飼養環境の整備に貢献		
		外山畜産研究室	非常勤専門職員 " 期限付臨時職員 " "	室坂 光榮 藤原 時夫 八重 畑功 小笠原 久男	日本短角種子牛飼養環境の改善に貢献		
		外山畜産研究室	専門研究員 非常勤専門職員 " 期限付臨時職員	飯村 太一 室坂 光榮 藤原 時夫 金崎 智樹	コーンサイレージの狸、クマ等からの被害防止に貢献		

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(内部表彰) 平成30年度第1回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算14回)	(該当なし)					
(内部表彰) 平成30年度第2回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算15回)	県北農業研究所	作物研究室、総務課	主任専門研究員 主任技能員 技能員	高草木 雅人 清水 賢一 日山 将太	雑穀栽培の作付面積の拡大、 作業の効率化による生産物収 入の確保に取組	31.3.1
	県北農業研究所	園芸研究室	上席専門研究員	金森 靖	加工・業務用途向け寒玉系キャ ベツ栽培法の確立	
	県北農業研究所	園芸研究室	主査専門研究員	横田 啓	春まきタマネギの重要害虫「ネ ギアザミウマ」の防除対策対策	
	県北農業研究所	作物研究室	主任専門研究員	高草木 雅人	アワの突然変異系統や交配系 統の中から有望な4系統を選抜	
	県北農業研究所	作物研究室	専門研究員	下川原 智	水稻の多収化やコスト低減に向 けた立毛乾燥に関する研究成 果の取りまとめ	
	県北農業研究所	作物研究室	技師	小野 直毅	薬草栽培における除草労力低 減に向けたレーキ式条間・株間 除草機を用いた栽培体系を検 討	

5 職員名簿

(平成31年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
所長	小野寺 郁 夫	[作物栽培・種子チーム]	
副所長	(欠 員)	上席専門研究員(総括)	田 村 和 彦
所付	高 橋 渉	上席専門研究員	永 富 巨 人
プロジェクト推進室長	高 橋 昭 喜	主査専門研究員	齋 藤 智 子
[水田農業チーム]		技師	関 村 真 梨 歩
上席専門研究員(総括)	吉 田 宏	野菜花き研究室長	川 戸 善 徳
主査専門研究員	寺 田 道 一	[野菜チーム]	
主任専門研究員	及 川 光 史	主査専門研究員(総括)	藤 尾 拓 也
専門研究員	小 原 あ つ 子	主査専門研究員	吉 田 泰
主任技能員	菅 野 輝 彦	主査専門研究員	田 代 勇 樹
企画管理部長	竹 澤 利 和	技師	佐 藤 春 菜
研究企画室長	高 城 保 志	[花きチーム]	
[企画チーム]		上席専門研究員(総括)	輪 達 公 重
上席専門研究員(総括)	佐 藤 美 佳 子	主査専門研究員	阿 部 弘
主査専門研究員	長 澤 睦	主査専門研究員	小 田 島 雅
主任専門研究員	伊 勢 智 宏	専門研究員	小 澤 傑
主任専門研究員	佐々木 忍	南部園芸研究室長	漆 原 昌 二
主任専門研究員	土 屋 淑 子	主任専門研究員	千 葉 彩 香
農業経営研究室長	及 川 浩 一	専門研究員	鈴 木 朋 代
[経営チーム]		環境部長	佐々木 裕 二
上席専門研究員(総括)	前 山 薫	生産環境研究室長	島 輝 夫
主査専門研究員	吉 田 徳 子	[環境チーム]	
技師	坂 口 昌 啓	上席専門研究員(総括)	菊 地 淑 子
総務課長	筒 井 則 裕	上席専門研究員	高 橋 良 学
[総務チーム]		主任専門研究員	葉 上 恒 寿
主査(総括)	熊 谷 和 泉	専門研究員	小 田 島 芽 里
主任	織 田 恭 定	技師	白 木 正 俊
主任	坂 田 真 樹 子	主任技能員	佐 藤 広 昭
[管理チーム]		主任技能員	猪 澤 哲 哉
主任主査(総括)	小 原 正 輝	病理昆虫研究室長	熊 谷 拓 哉
主任主査	金 野 重 夫	[病理チーム]	
技術部長	扇 良 明	主査専門研究員(総括)	岩 舘 康 哉
果樹研究室長	佐々木 真 人	技師	中 村 太 紀
[果樹チーム]		技師	佐々木 陽 菜
主査専門研究員(総括)	大 野 浩	[昆虫チーム]	
主査専門研究員	浅 川 知 則	上席専門研究員(総括)	加 藤 真 城
主任専門研究員	高 橋 藍	上席専門研究員	中 野 央 子
専門研究員	西 田 絵 梨 香	専門研究員	武 田 純 子
主任技能員	佐 藤 洋 貴	病虫害防除部長	一 守 貴 志
主任技能員	菊 地 徳 章	病虫害防除課長	勝 部 和 則
主任技能員	西 野 哲 仁	[予察・防除チーム]	
主任技能員	小 黒 澤 清 人	主任主査(総括)	猫 塚 修 一
作物研究室長	小 田 中 温 美	主任主査	名 久 井 一 樹
[水稻育種チーム]		主任	石 川 菜 津 美
上席専門研究員(総括)	仲 條 眞 介	[農業指導チーム]	
主査専門研究員	小 舘 琢 磨	主査(総括)	吉 田 雅 紀
専門研究員	藤 岡 智 明	主査	遠 藤 歩 美
技師	高 橋 祐 也	主査	佐 藤 美 和 子
		主査	佐 藤 千 穂 子

職名	氏名	職名	氏名
畜産研究所長	小野正隆	首席専門研究員兼外山畜産研究室長	大宮元
次長	菊池修一	主任専門研究員	吉田力
次長	藤原哲雄	主任専門研究員	佐々木康仁
次長	熊谷光洋	専門研究員	飯村太一
主幹兼総務課長	古里清孝	主任技能員	上野由克
主任主査	小野演彦	主任技能員	上澤賢輝
主任	菅原弘史	技能員	武田溪介
主任技能員	右京隆二		
主任技能員	工藤明彦	種山畜産研究室長(次長兼務)	熊谷光洋
主任技能員	荒木田俊一	上席専門研究員	高畑博志
主任技能員	中村健	主査	八重樫恭子
主任技能員	永洞俊司	専門研究員	羽田雅紀
主任技能員	菅原薫	技師	篠崎創
主任技能員	細野貴樹	技師	小澤さち
主任技能員	鳴海茂揮	主任技能員	松本徹
主任技能員	鷺見義信	主任技能員	後藤克明
主任技能員	水澤博征	技能員	千葉弘和
主任技能員	畠山博文		
主任技能員	谷地館透	県北農業研究所長	高橋好範
主任技能員	葉木澤一也	次長	荻内謙吾
主任技能員	荒屋康之	総務課長	柴田博之
技能員	中軽米徳典	[施設管理スタッフ]	
技能員	西野聖	主任行政専門員	向駒木幸悦
技能員	妻神大己	[ほ場管理チーム]	
技能員	日下貴行	主任技能員	清水賢一
技能員	廣田裕誠	技能員	藤根寛道
技能員	小林雄二	技能員	日山将太
首席専門研究員兼家畜育種研究室長	細川泰子	園芸研究室長(次長兼務)	荻内謙吾
上席専門研究員	昆野勝	[野菜研究チーム]	
上席専門研究員	吉田登	上席専門研究員	金森靖
主査専門研究員	高杉亘	主査専門研究員	横田啓
主任専門研究員	安田潤平	専門研究員	熊谷初美
専門研究員	熊谷祐宏	技師	細越翔太
技師	土屋のぞみ	作物研究室長	長谷川聡
		[特産農産物研究チーム]	
家畜飼養・飼料研究室長	及川修	主任専門研究員	高草木雅人
主査専門研究員	佐藤真	技師	小野直毅
主査専門研究員	越川志津	技師	吉津祐貴
主任専門研究員	小梨茂	[水稻研究チーム]	
専門研究員	高村聡美	専門研究員	下川原智
専門研究員	高橋優希	技師	吉津祐貴

IX 東日本大震災津波への対応

Ⅸ 東日本大震災への対応

1 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー・成果展示等	開催日	延べ参加者数
【研修会・セミナー】		
いわて次世代施設園芸セミナー	30.9.6	60
いわてキュウリセミナー(先端プロ・実証研究)	31.2.22	60
シミュレーションモデル習得セミナー(先端プロ・社会実装)	31.3.5	12
【成果展示等】		
農業研究センター参観デー(共通)	30.9.8	1,500
アグリビジネス創出フェア(共通)	30.11.20～22	3,000

2 復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
被災地におけるめん羊の放牧に関する調査	170	67

X 沿革

X 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。
農業試験場畜産部を種畜場と併設。
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。
農業試験場に遠野試験地が国から移管。
農業試験場に農業経営研究部門設置。
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壤改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。
園芸試験場に環境部を設置。
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和48年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和51年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和53年 蚕業試験場六原試験地を廃止。
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和56年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和57年 蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。

平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。

<所 在>

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/ E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

平成 30 年度 岩手県農業研究センター年報

令和 元 年 10 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan